

# 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 [改定版]

令和3年3月

みやき町



## 目 次

### 第1章 計画策定の趣旨

第1節 計画策定のねらい	2
第2節 計画期間	2
第3節 計画対象廃棄物	4
第4節 計画の進行管理	5

### 第2章 地域特性

第1節 自然環境	7
第2節 社会環境	10
第3節 都市環境	13
第4節 総合計画	15

### 第3章 ごみ処理の基本的な方針と目標

第1節 廃棄物処理の現状と課題	17
第2節 ごみ処理の目標	34
第3節 施策の体系	43
第4節 排出抑制計画	44
第5節 再資源化計画	47
第6節 ごみ処理計画	48
第7節 ごみ処理施設整備	51
第8節 その他	52



# 第1章 計画策定の趣旨



## 第1節 計画策定のねらい

一般廃棄物処理基本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）第6条の規定により、市町村の法定計画として位置づけられている。国における廃棄物・リサイクル行政においても、大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会から循環型社会への転換を図るため、法整備や施策を積極的に進めている。

みやき町（以下「本町」という。）では、平成20年3月に一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「既定計画」という。）を策定し、循環型社会の構築に向けたごみ処理行政を推進するための施策に取り組んできた。

また、既定計画策定以降、本町では人口の増加や産業活動が活発化しており、ごみ排出量が大きく変動していることや本町のごみを処理している組合（※）のごみ処理施設は、更新を検討する時期となっていること等の社会的情勢の変動を踏まえて、平成28年3月に改めて一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下「本計画」という。）を策定し、今後15年間のごみ処理の目標を定めると同時に、目標達成に向けた住民・事業者の具体的な取り組み、さらに行政の施策を明らかにした。

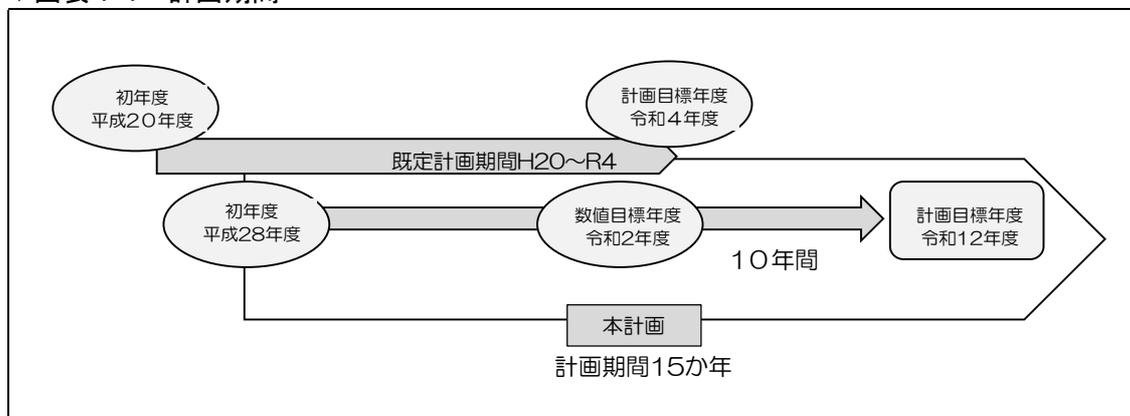
今回の計画の見直しは、本計画の策定から5年を迎えたことに加え、計画策定の前提となっている諸条件に変動があったため見直しを行うものである。

※（既存）鳥栖・三養基西部環境施設組合、（将来）佐賀県東部環境施設組合を以下「組合」という。

## 第2節 計画期間

本計画は、平成28年度から令和12年度の15年間を計画期間としている。今回、計画期間の5年目にあたる令和2年度に見直しを行い、以降の計画期間は令和3年度から令和12年度までの10年間とする。なお、本計画は、概ね5年または計画の前提となる諸条件に大きな変動があった場合に見直しを行う。

▼図表 1-1 計画期間



▼図表 1-2 基本計画の位置づけ

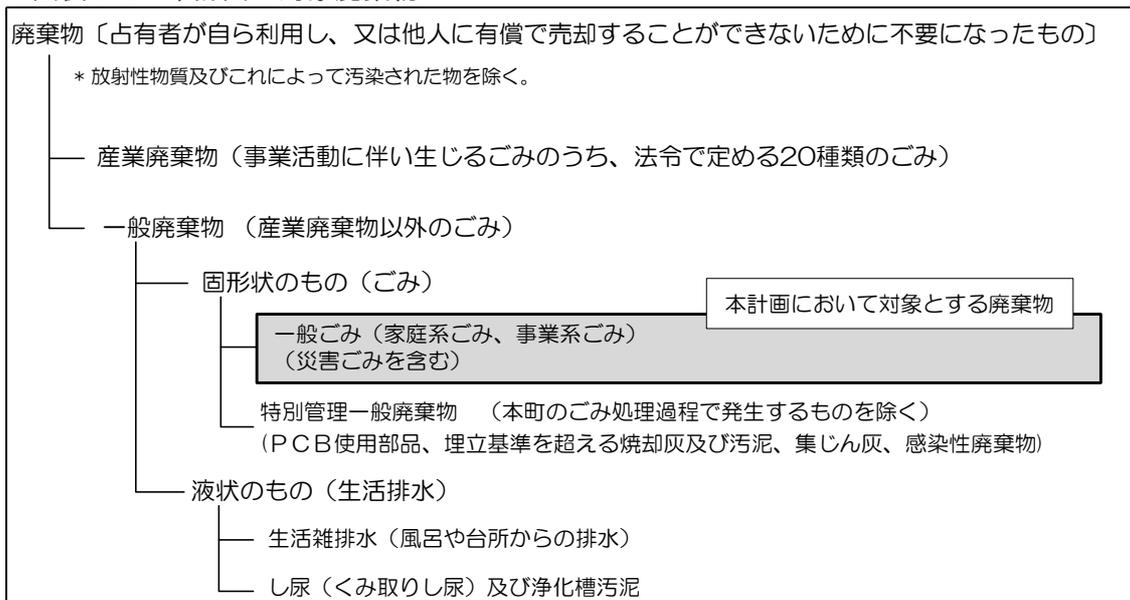


### 第3節 計画対象廃棄物

本計画の対象廃棄物は、図表 1-3 に示す一般廃棄物のうち、固形状の一般廃棄物（ごみ）とする。

なお、本町及び組合で処理・処分が困難な廃棄物や各種リサイクル法に基づいた処理・処分を求められる廃棄物については、図表 1-4 に示す取り扱いとする。

▼図表 1-3 本計画の対象廃棄物



▼図表 1-4 処理困難物等に関する取り扱い

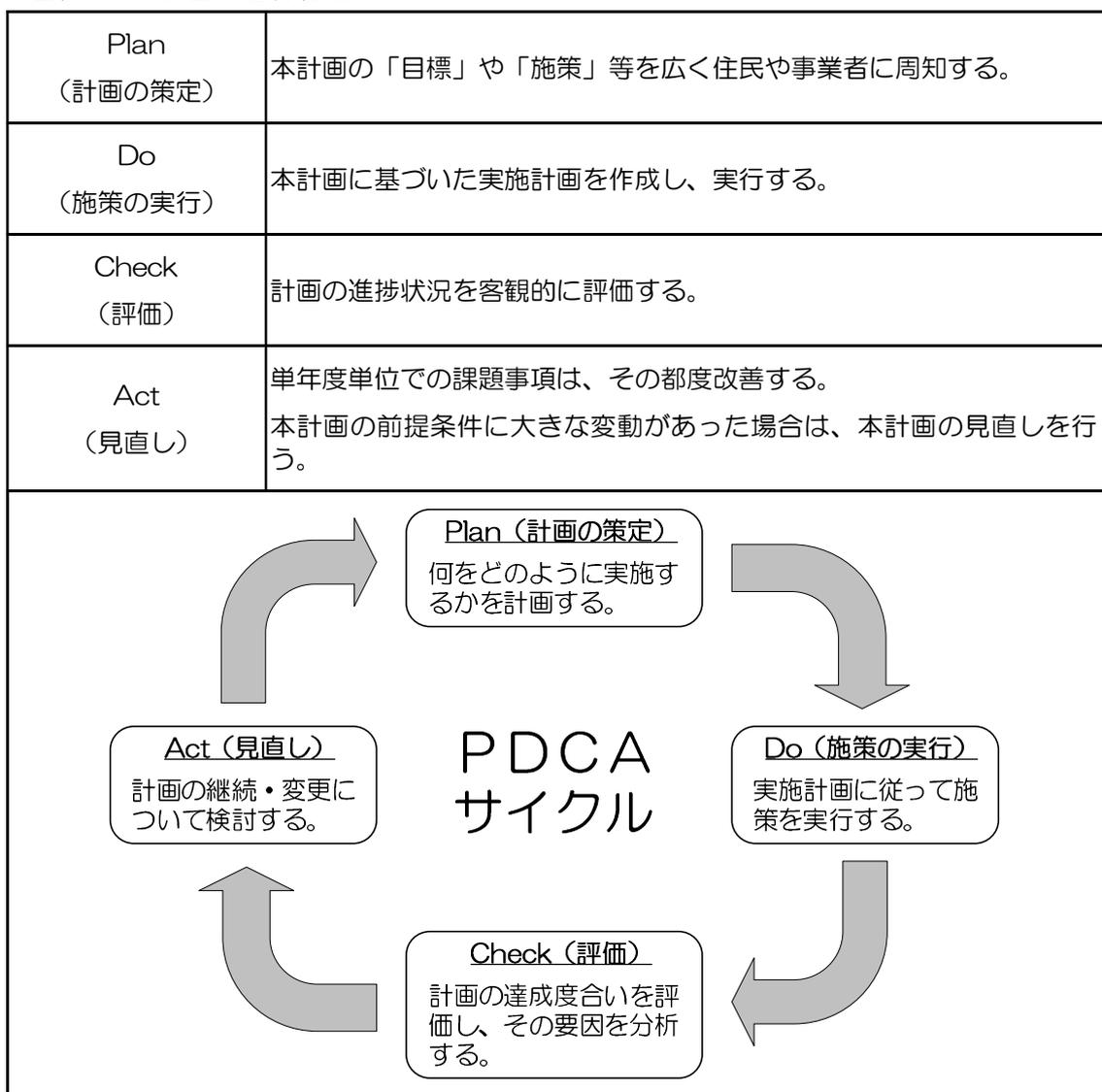
区 分	処理・処分先
家電4品目	・家電リサイクル法に基づき、エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機については、販売店引き取りとする。
パソコン	・メーカーによりリサイクルされるため、メーカーに申し込みして引き取ってもらう。
その他 （主なもの）	・以下に示す品目については、販売店等に引き取ってもらうか、専門の処理業者へ依頼すること。 産業廃棄物（農機具・農業用廃プラスチック類を含む）、バイク・自動車、焼却灰、農薬、塗料、化学薬品等の有害性のあるもの、タイヤ、バッテリー、ガスボンベ、ガソリン、灯油等の危険なもの、消火器、中身の入った缶、ビン等

## 第4節 計画の進行管理

本計画では、Plan（計画の策定）、Do（施策の実行）、Check（評価）、Act（見直し）を行うPDCAサイクルの概念を導入し、計画の進行管理を行うものとする。

計画の進行管理の内容は、図表1-5に示すとおりとする。

▼図表1-5 計画の進行管理



## 第2章 地域特性

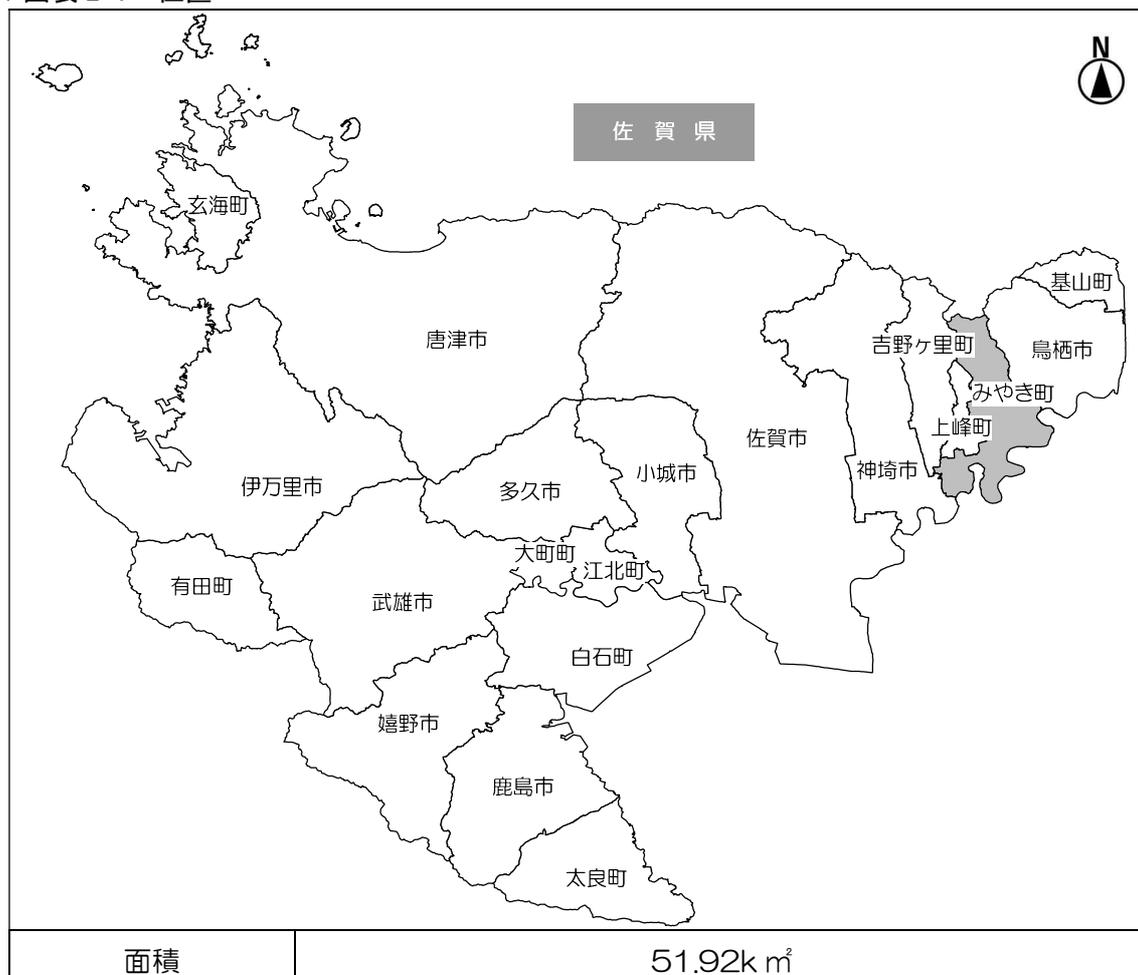


## 第1節 自然環境

### 1 位置

本町は佐賀県の東部に位置し、町北東部は鳥栖市、北部と南部を福岡県に接している。本町の面積は、51.92 km<sup>2</sup>である。

▼図表 2-1 位置



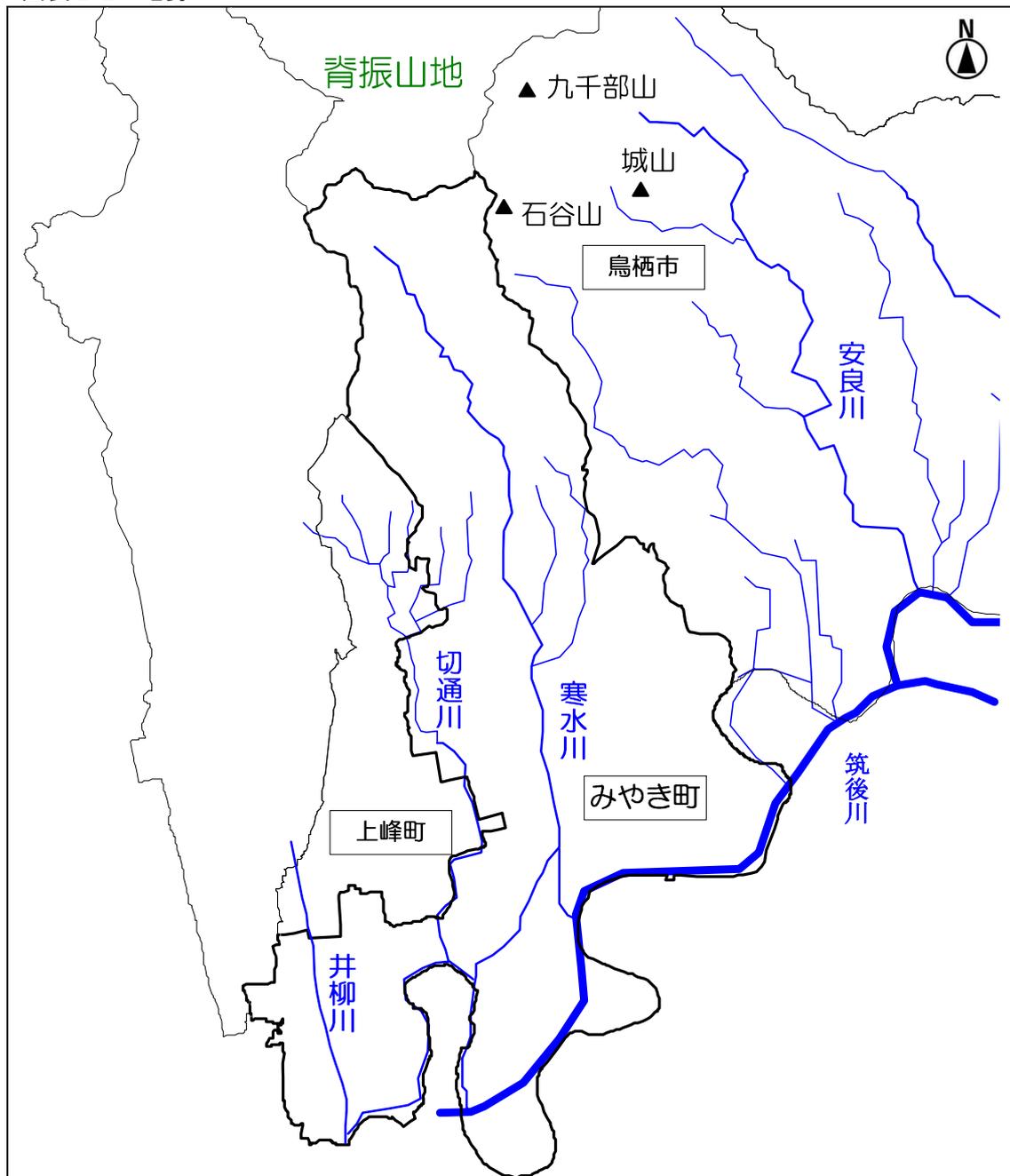
資料：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」（令和2年1月）

## 2 地勢

本町の地形は、北部が脊振山地になっているが、それ以外の地域は佐賀平野の一角をなす平坦地である。

また、南部には、1級河川である筑後川が流れており、水田、飲用水、工業用水等の水資源として利用されている。なお、主要河川は以下のとおりである。

▼図表 2-2 地勢



### 3 気候

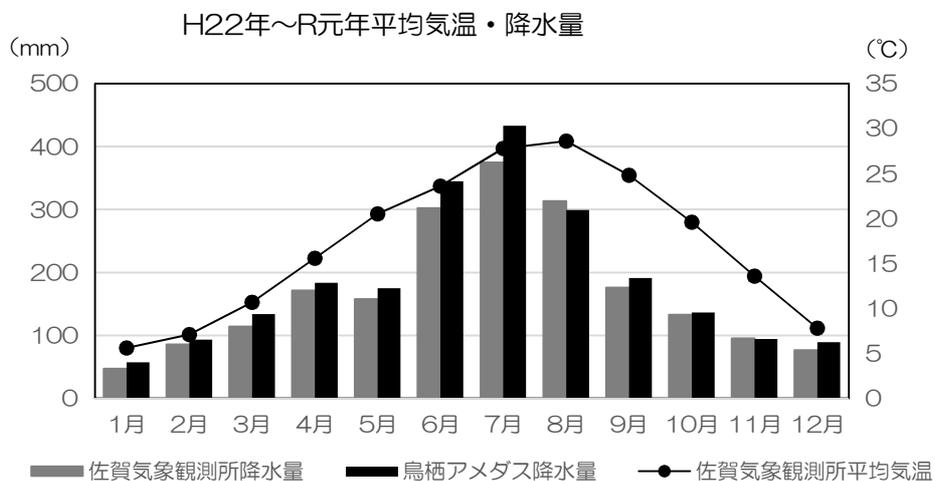
本町では気象観測所として鳥栖アメダスがあるものの、降水量のみの観測所であることから、本町に最も近い佐賀地域気象観測所のデータも参考として示した。

年間を通した平均気温は 17.1℃と比較的温暖であるが、冬には降雪が観測されることもある。平均降水量は 2,046.9mm（鳥栖アメダス：2,230.7mm）と比較的雨がが多い気候である。

▼図表 2-3 降水量及び平均気温

項目	佐賀気象観測所		鳥栖アメダス	
	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	降水量 (mm)	
H22年	17.0	1,941.0	2,119.5	
H23年	16.6	2,005.5	2,267.0	
H24年	16.5	1,999.0	2,285.0	
H25年	17.1	2,012.0	2,276.0	
H26年	16.7	2,252.5	2,246.5	
H27年	17.1	2,083.0	2,126.0	
H28年	17.9	2,586.0	2,715.5	
H29年	17.0	1,634.5	1,826.0	
H30年	17.4	1,877.0	2,186.5	
R元年	17.7	2,078.5	2,259.0	
H22～R元年平均値	17.1	2,046.9	2,230.7	
H22～R元年 月平均値	1月	5.6	47.0	57.3
	2月	7.1	85.7	93.4
	3月	10.7	114.1	133.7
	4月	15.6	171.4	183.6
	5月	20.5	157.6	174.9
	6月	23.6	302.4	345.0
	7月	27.8	374.9	432.8
	8月	28.6	313.6	299.3
	9月	24.8	175.8	191.1
	10月	19.6	132.7	136.3
	11月	13.6	95.3	94.2
	12月	7.8	76.6	89.5

注：鳥栖アメダス観測は平成 22 年 3 月 4 日より開始。



資料：気象庁「気象観測データ」

## 第2節 社会環境

### 1 人口及び世帯数

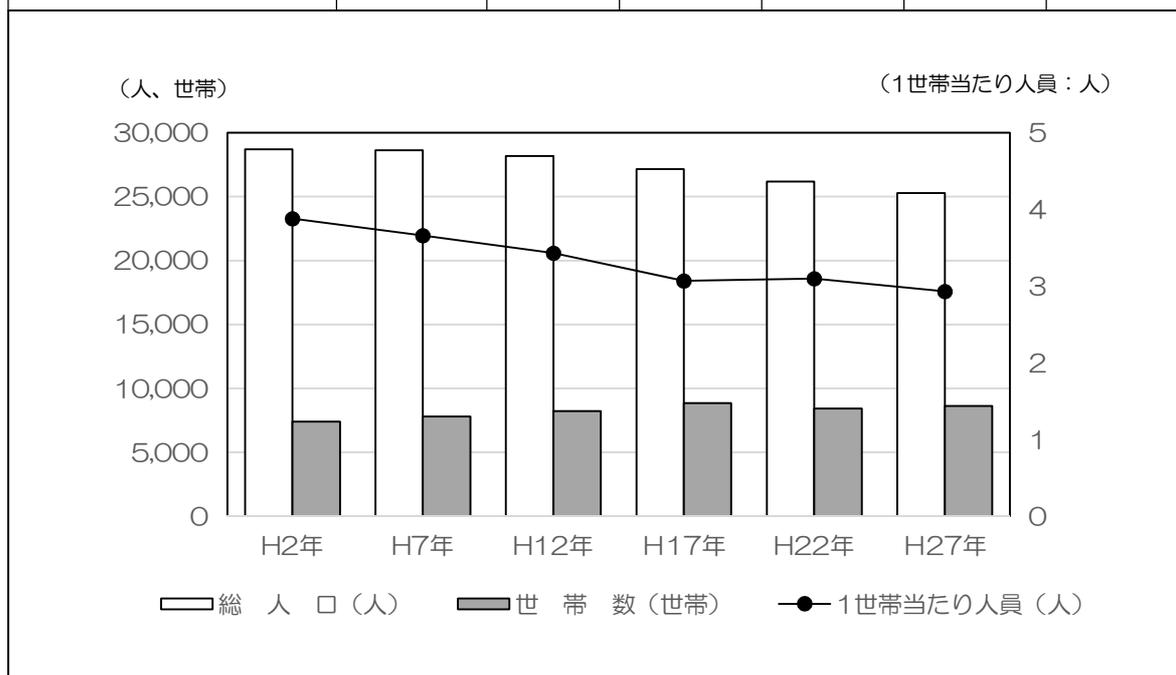
本町の人口は増加傾向にあり、平成2年に28,702人であった人口が、平成27年には25,278人まで増加している。

同様に、世帯数は、平成2年の7,394世帯と比べ、平成27年では8,638世帯と増加しており、1世帯当たり人員は、平成2年の3.88人から平成27年には2.93人に減少している。

このことから、核家族化の進行や単身世帯が増加しているものと推測される。

▼図表2-4 人口及び世帯数の推移

項目	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年
総人口(人)	28,702	28,625	28,176	27,157	26,175	25,278
世帯数(世帯)	7,394	7,814	8,225	8,858	8,437	8,638
1世帯当たり人員(人)	3.88	3.66	3.43	3.07	3.10	2.93



資料：総務省「平成27年度国勢調査」

## 2 産業

本町の産業別就業者割合は、第3次産業の割合が57.6%と最も高く、次いで第2次産業の30.7%、第1次産業の7.0%である。分類別では、製造業(24.1%)、医療、福祉(17.1%)、卸売業、小売業(11.5%)が高い割合を示している。

▼図表 2-5 産業別就業人口（平成27年）

（単位：人，％）

項目	就業者数	人	割合
総数		10,013	100.0
第1次産業		699	7.0
農業		699	7.0
漁業・水産養殖業		0	0.0
第2次産業		3,074	30.7
鉱業		0	0.0
建設業		656	6.6
製造業		2,418	24.1
第3次産業		5,768	57.6
電気・ガス・熱供給・水道業		42	0.4
情報通信業		15	0.1
運輸業、郵便業		519	5.2
卸売業、小売業		1,154	11.5
金融業、保険業		65	0.6
不動産業、物品賃貸業		96	1.0
学術研究、専門・技術サービス業		132	1.3
宿泊業、飲食サービス業		308	3.1
生活関連サービス業、娯楽業		328	3.3
教育、学習支援業		486	4.9
医療、福祉		1,712	17.1
複合サービス事業		135	1.3
サービス業（他に分類されないもの）		496	5.0
公務（他に分類されるものを除く）		280	2.8
分類不能の産業		472	4.7

資料：総務省「国勢調査」（平成27年）

※端数処理のため、合計の数値が合わない箇所がある。

### 3 観光

本町には、四季折々の自然を楽しめる公園・名所が点在している。また、佐賀県史跡に指定された複合遺跡の姫方遺跡や高柳大塚古墳等歴史を感じる場所や、綾部神社をはじめ様々な神様が祀られた神社が多くあり、昔ながらの伝統祭事が行われている。

本町における主な観光地を訪れた観光客数は、増加傾向に推移している。

▼図表 2-6 年度別観光客数

単位：千人



資料：佐賀県「佐賀県観光客動態調査」

### 第3節 都市環境

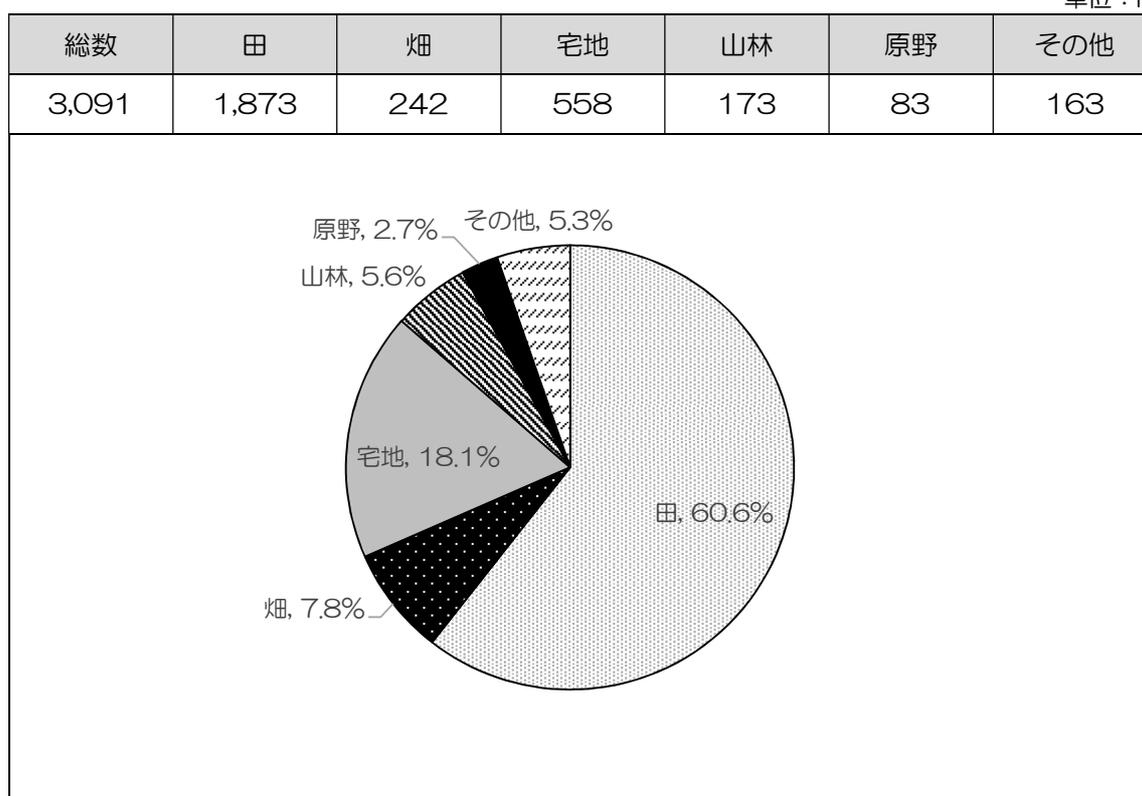
#### 1 土地利用

本町の土地利用状況のうち、田が60.6%を占め最も多く、次いで宅地が18.1%、畑が7.8%と続いている。

農耕地となる田・畑は、約68.4%を占めている。

▼図表 2-7 土地利用（民有地）（平成30年）

単位：ha



資料：佐賀県「統計年鑑」（平成30年版）

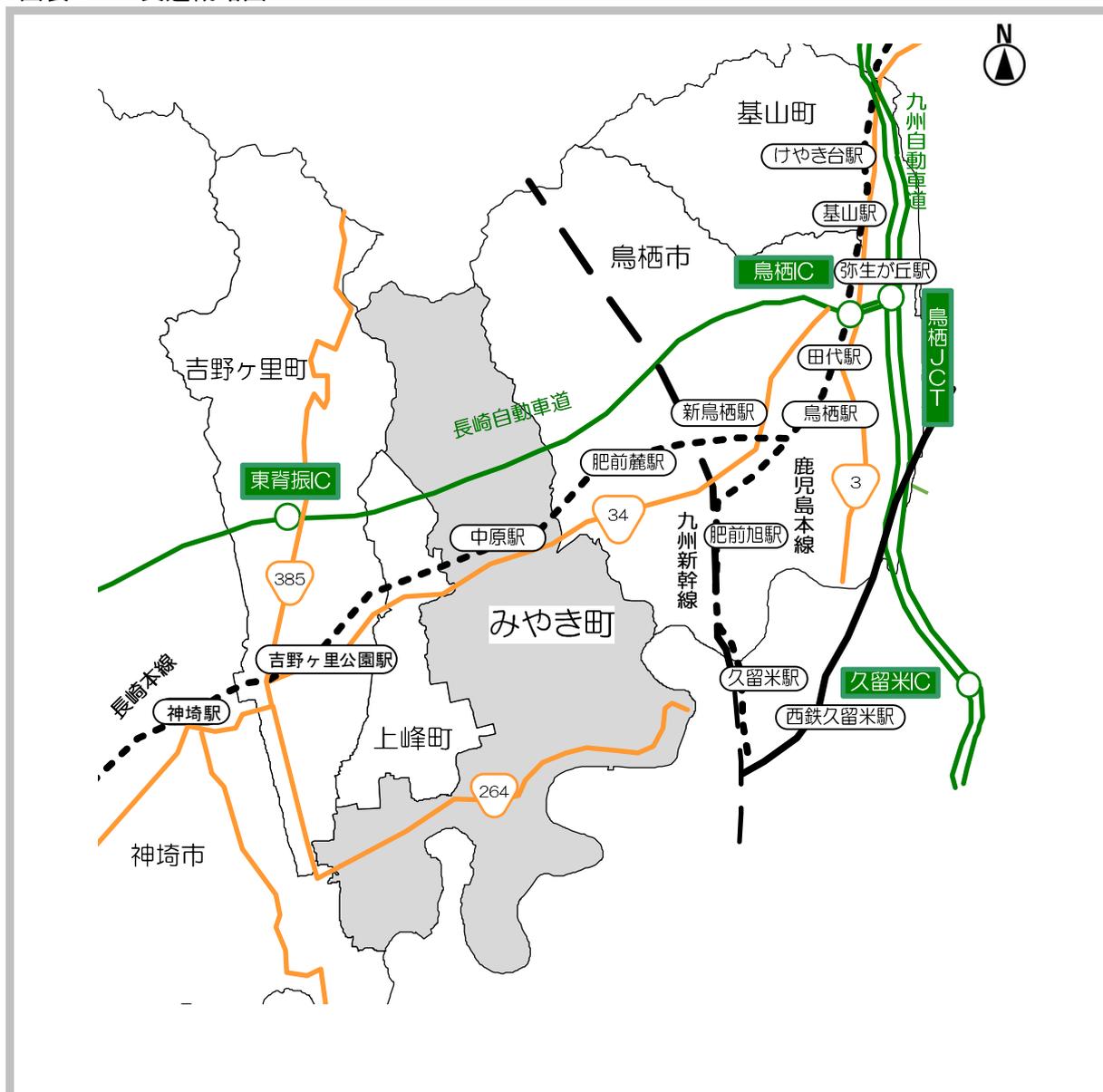
※端数処理のため、合計の数値が合わない箇所がある。

## 2 交通

本町の主要幹線は、北部に国道 34 号、南部に国道 264 号が東西に並行して走っているほか、主要地方道・県道が走り交流機能を持っている。また、町北部に長崎自動車道が横断しており、町西部には、東脊振インターチェンジが最も近くに位置しているほか、九州自動車道鳥栖ジャンクション、久留米インターチェンジへのアクセスも良く、高速道路への利便性は比較的高くなっている。

鉄道は町内に JR 長崎本線が横断したり、JR 鹿児島本線鳥栖駅・久留米駅、西鉄久留米駅等も利用されている。

▼図表 2-8 交通概略図



## 第4節 総合計画

---

本町では、上位計画として総合計画の策定を行っており、計画の概要は以下に示すとおりである。

### ▼図表 2-9 総合計画の概要

【計画名称】	： 第二次みやき町総合計画
【基本計画の期間】	： 平成 29 年度～令和 3 年度
【策定年】	： 平成 29 年度
【人口目標値】	： 25,000 人（令和 8 年目標）
【将来像】	： 話、和、輪 はつらつのびる交流新都
【廃棄物処理に関する施策】	
	○町民が主体となった環境保全活動の推進
	○美しいまちをめざしたごみ処理・リサイクルの推進
	○関係者が一体となり進める公害の防止
	○し尿・浄化槽汚泥の適正処理の推進



## 第3章 ごみ処理の基本的な方針と目標



## 第1節 廃棄物処理の現状と課題

### 1 ごみの分別

本町の分別区分は、大きく①可燃ごみ、②不燃ごみ、③資源ごみ、④有害ごみ、⑤粗大ごみの5種類である。不燃ごみは金属類とガラス類・陶磁器類の2種類に分かれている。資源ごみは、紙・布類、ビン、缶、ペットボトル、白色トレイ、容器包装プラスチック、発泡スチロール、食用廃油に分かれている。

▼図表 3-1 ごみ種類別分別（令和3年度～令和5年度）

ごみ種類		具体例	分別区分名称
可燃ごみ		生ごみ、紙おむつ、プラスチック製品、ゴム製品、皮革製品、ビデオテープなど	燃やせるごみ
不燃ごみ		鍋・やかん、小型家電製品、包丁 など	金属類
		陶磁器、ガラス製品、鏡 など	ガラス類・陶磁器類
資源ごみ	紙・布類	新聞、チラシ	新聞、チラシ
		牛乳パック	牛乳パック、ジュースパック
		段ボール	段ボール
		雑誌	雑誌、カタログ、パンフレット、紙製容器
		布類	衣類、シーツ、タオルケット
	ビン	無色透明ビン、すりガラス	無色ビン
		ジュース、栄養ドリンクなどのビン	茶色ビン
		無色・茶色ビン以外のビン、化粧ビン・整髪料などのビン	その他色ビン
	缶	ジュース缶、ビール缶、缶詰、のり・かつおぶし缶	スチール缶 アルミ缶
		ペットボトル	ジュース、焼酎、しょうゆ等の透明のペットボトル
	白色トレイ	白色トレイ	白色トレイ
	容器包装プラスチック	お菓子の袋、卵パック、レジ袋 等	容器包装プラスチック
	発泡スチロール	発泡スチロール	発泡スチロール
	廃食用油	使用済みのてんぷら油	廃食用油
有害ごみ		蛍光灯・電球・乾電池・水銀体温計・スプレー缶、使い捨てライター	有害ごみ
粗大ごみ		ごみ袋に入らない家具類、家電類、寝具類、自転車、三輪車、ミシン、かさ など	粗大ごみ

## 2 ごみの排出量

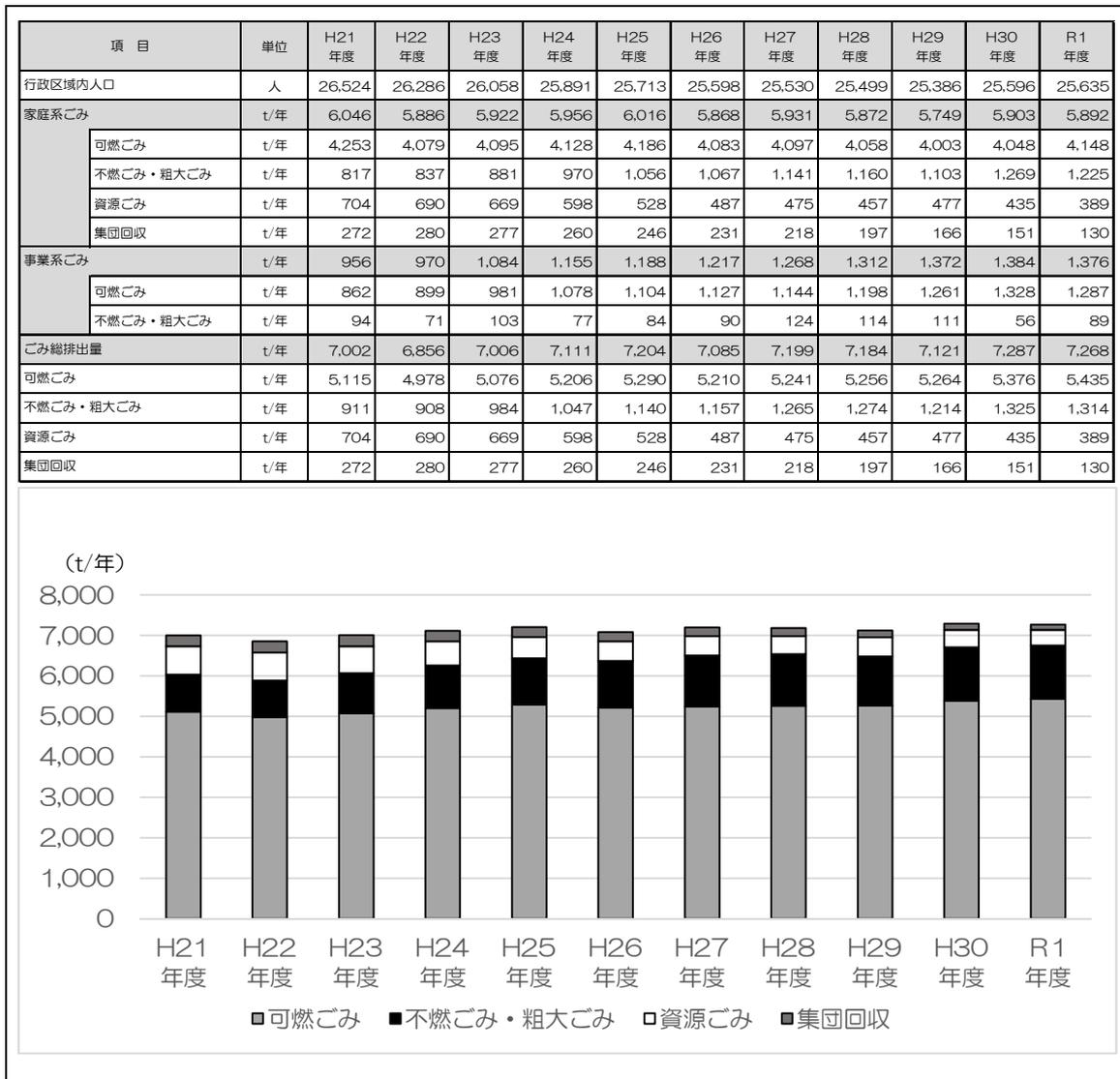
### 2-1 年間排出量

本町におけるごみの年間総排出量は、平成 24 年度までは減少傾向であったが、その後増減しながら推移しており、令和元年度は 7,268t となっている。

ごみ種類別にみると、可燃ごみは概ね横ばい、不燃ごみ・粗大ごみは増加傾向で、資源ごみは減少傾向である。

家庭系、事業系別にみると、家庭系ごみは概ね横ばい傾向であるが、事業系ごみは、増加傾向となっている。

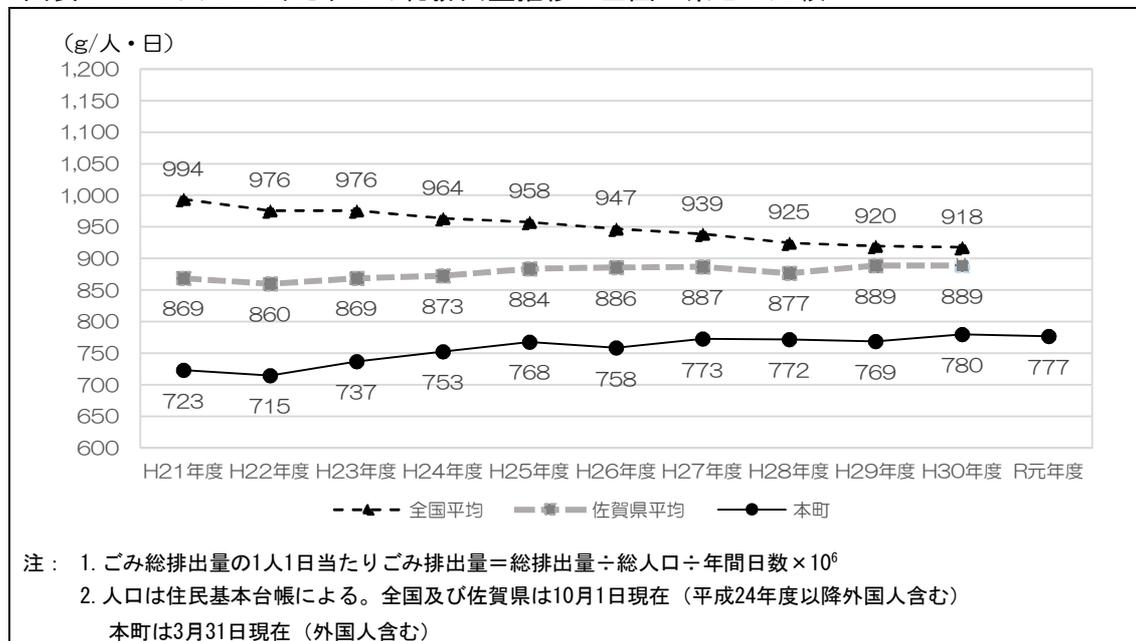
▼図表 3-2 ごみ排出量の推移



## 2-2 1人1日当たりごみ排出量

本町の1人1日当たりのごみ総排出量は、平成25年以後横ばい傾向となっている。平成30年度では780gと、佐賀県平均や全国平均と比較すると低い値で推移している。

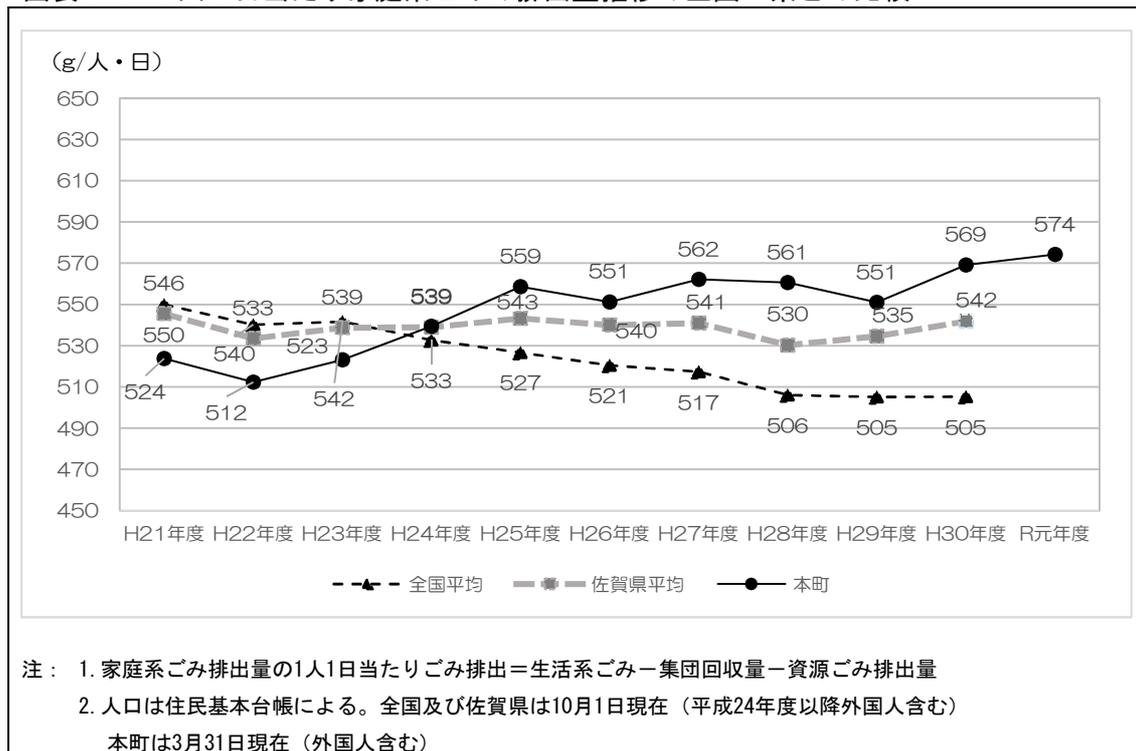
▼図表 3-3 1人1日当たりごみ総排出量推移の全国・県との比較



資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」（全国及び佐賀県）

家庭系ごみの1人1日当たりのごみ排出量は、増加傾向にある。また、佐賀県平均や全国平均と比較すると高い値で推移している。

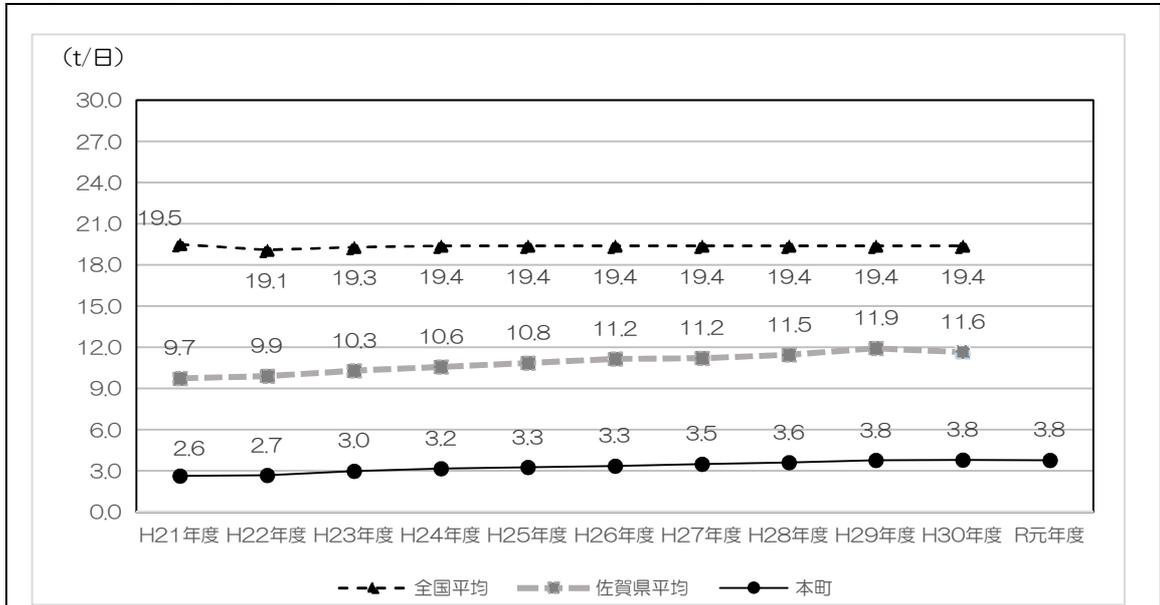
▼図表 3-4 1人1日当たり家庭系ごみの排出量推移の全国・県との比較



資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」（全国及び佐賀県）

事業系ごみの1日当たりごみ排出量は、平成21年度からは概ね増加傾向となっており、佐賀県平均や全国平均より低い値で推移している。

▼図表 3-5 事業系ごみの排出量推移の全国・県との比較



注： 1. 全国平均には東京23区と東日本震災により南三陸町（H22）と避難地域の自治体（H23～H25）は除く。

2. 全国・県の事業系ごみ排出量の1日当たりごみ排出量＝事業系ごみ排出量

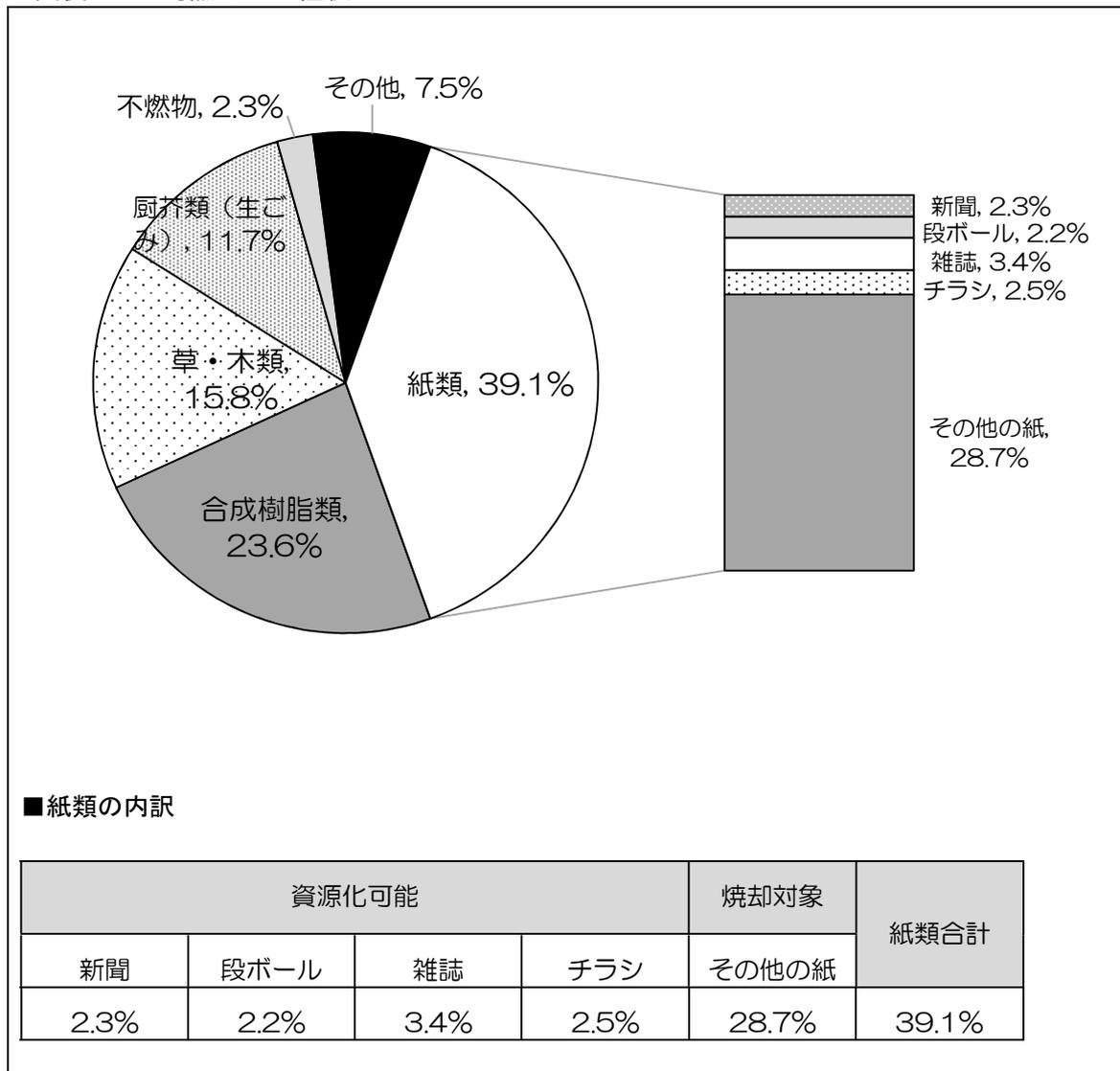
資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」（全国及び佐賀県）

### 3 ごみの性状

鳥栖・三養基西部溶融資源化センター（以下「溶融資源化センター」という。）において溶融処理を行う可燃ごみは、施設の安定稼働を維持するために年4回の頻度で定期的にごみ種類組成、三成分等のごみ質調査を実施している。

令和元年度に実施したごみ種類組成の調査結果(湿ベース)の構成比は、紙類が39.1%、合成樹脂類が23.6%と草・木類が15.8%、厨芥類(生ごみ)が11.7%、不燃物が2.3%、その他が7.5%となっている。

▼図表 3-6 可燃ごみの性状



#### ■紙類の内訳

資源化可能				焼却対象	紙類合計
新聞	段ボール	雑誌	チラシ	その他の紙	
2.3%	2.2%	3.4%	2.5%	28.7%	39.1%

## 4 ごみ処理システム

### 4-1 収集運搬に関する事項

本町のごみの収集頻度は、可燃ごみは、週2回、不燃ごみ及び資源ごみは、地区により月1～2回である。粗大ごみの収集頻度は、年4回である。

▼図表 3-7 ごみ排出方法（令和2年度）

ごみ種類		収集頻度及び収集場所	排出容器及び手数料
可燃ごみ		週2回 ステーション収集	指定袋 (大：40円/枚、小：25円/枚)
不燃ごみ		月1～2回 拠点回収	指定袋 (大：40円/枚、小：25円/枚)
資源 ご み	紙・布類	月1～2回 拠点回収	ひもで結ぶ
	ビン	月1～2回 拠点回収	コンテナ
	缶	月1～2回 拠点回収	コンテナ
	ペットボトル	月1～2回 拠点回収	ネット
	白色トレイ	月1～2回 拠点回収	ネット
	容器包装 プラスチック類	月1～2回 拠点回収	ネット
	発泡スチロール	月1～2回 拠点回収	ネット
	廃食用油	月1～2回 拠点回収	フタ付容器・コンテナ
有害ごみ		月1～2回 拠点回収	透明の袋、購入時の箱
粗大ごみ		年4回 集積場	シール (200円/枚)

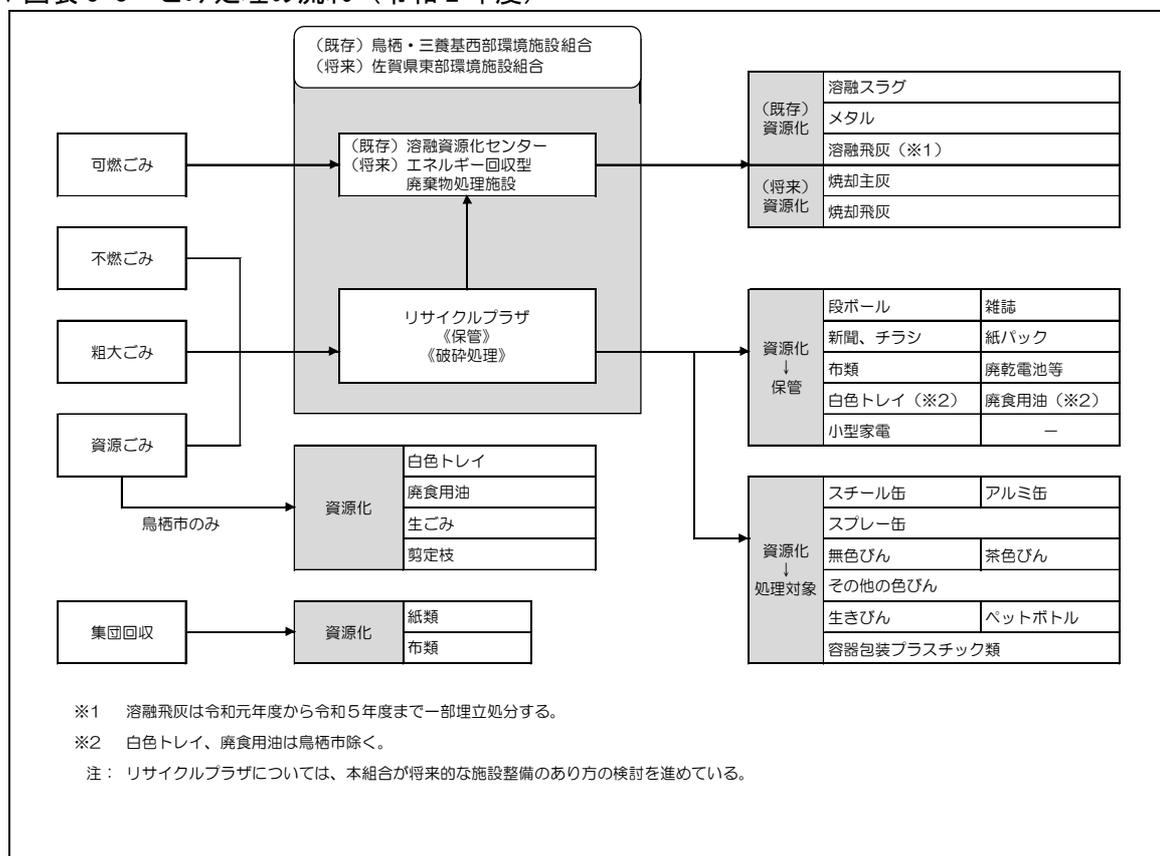
## 4-2 ごみ処理の流れ

現在、本町から排出された可燃ごみは、溶融資源化センターが管轄する溶融資源化センターで溶融処理を行っており、溶融処理により生成した溶融スラグ、メタル及び溶融飛灰は路盤材等の土木資材やセメント原料等として有効利用している。

不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみについても、鳥栖・三養基西部リサイクルプラザ（以下「リサイクルプラザ」という。）で破碎・選別・圧縮梱包等の処理を処理対象物の特性に合わせた方法で行っている。その際に回収した金属類等は資源化、その他処理過程で発生した可燃残渣及び不燃残渣は溶融資源化センターで溶融処理している。

なお、可燃ごみや破碎選別残渣については、令和6年度から供用開始となるエネルギー回収型廃棄物処理施設にて焼却処理を行う予定である。焼却処理に伴い発生する焼却残渣（焼却主灰、焼却飛灰）はセメント原料等として有効利用する。

▼図表 3-8 ごみ処理の流れ（令和2年度）



### 4-3 ごみ処理施設

現在、本町から排出されたごみは、溶融資源化センター、リサイクルプラにおいて処理を行っている。

溶融資源化センターでは、溶融処理後に発生する溶融スラグ、メタル及び溶融飛灰を土木資材やセメント原料等として有効利用している。また、処理時に発生する廃熱を回収した発電を行っており、施設内の電力として利用している。

リサイクルプラザでは、不燃ごみや粗大ごみを破碎処理・選別・圧縮、資源ごみは選別・圧縮・保管等を行い、資源化の促進を図っている。

令和 6 年度からは、溶融資源化センターに替わり、佐賀県東部環境施設組合が管轄するエネルギー回収型廃棄物処理施設においてごみの処理を行う。同施設では、焼却処理後に発生する焼却主灰、焼却飛灰は 100%有効利用の予定とする。

▼図表 3-9 溶融資源化センターの概要

施設	項目	概要
焼却施設	施設名	溶融資源化センター
	供用開始	平成 16 年 4 月
	処理対象	可燃ごみ、リサイクルプラザ破碎選別残渣
	処理能力	132t/日 (66t/日×2 炉)
	処理方式	全連続燃焼式シャフト炉型ガス化溶融炉

▼図表 3-10 リサイクルプラザの概要

施設	項目	概要
資源化施設	施設名	リサイクルプラザ
	供用開始	平成 16 年 4 月
	処理対象	不燃ごみ・粗大ごみ、缶類、ペットボトル・容器包装プラスチック、ビン類、紙類、白色トレイ・古布、乾電池・蛍光管
	処理能力	47 t/日 (5h)
	処理方式	破碎、選別、圧縮・梱包、その他

▼図表 3-11 エネルギー回収型廃棄物処理施設の概要

施設	項目	概要
焼却施設	施設名	エネルギー回収型廃棄物処理施設
	供用開始	令和6年4月（予定）
	処理対象	可燃ごみ、破碎選別残渣、災害廃棄物
	処理能力	172t/日（86t/日×2炉）
	処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉式焼却炉

## 5 排出抑制・再資源化への取組

### 5-1 啓発の実施

本町では、住民や事業者によるごみの排出抑制や再資源化を推進するため、広報紙やホームページ等で啓発を行っている。

### 5-2 集団回収

本町では、ごみの減量化を図るため、子供会や自治会などの住民団体による集団回収を行っている。集団回収量は年々減少しており、平成30年度は151t/年である。

▼図表 3-12 集団回収の実績

単位：t

項目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
集団回収量	272	280	277	260	246
項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
集団回収量	231	218	197	166	151

### 5-3 生ごみの堆肥化等による減量化

家庭から排出される生ごみの減量化を推進するため、住民を対象に生ごみ堆肥化容器等の購入に対する補助金の交付を実施している。

▼図表 3-13 生ごみ堆肥化容器等の設置補助件数

単位：件

項目	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
設置補助件数	22	20	8	25	24	13
項目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	-
設置補助件数	9	13	10	8	11	

## 6 中間処理・最終処分の実績

### 6-1 溶融資源化センター

溶融資源化センターにおける溶融処理量は平成 29 年度以後増加傾向となっている。

▼図表 3-14 溶融資源化センターの処理状況（町処理分）

単位：t

項目	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
溶融処理量	6,301	6,326	6,272	6,499	6,578
資源化量	907	828	862	868	872
溶融スラグ	559	488	486	479	537
メタル	24	22	22	30	28
溶融飛灰	324	318	354	359	307
埋立	-	-	-	-	30

注：1. 溶融処理量、資源化量は組合（鳥栖・三養基西部環境施設組合）合計値をみやき町の可燃ごみ搬入量割合で按分した値である。

2. 令和元年度から令和 5 年度まで溶融飛灰の約 10%を埋立処分している

### 6-2 リサイクルプラザ

リサイクルプラザにおける資源化の推移は、平成 21 年度から減少傾向となっている。特に、平成 21 年度から令和元年度にかけての古紙類の減少が顕著である。

▼図表 3-15 リサイクルプラザの処理状況

単位：t

項目	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
金属類	201	175	172	195	176	170
プラスチック類	61	60	56	61	63	71
古紙類	404	397	376	311	269	208
びん類	103	115	108	111	104	99
その他（布類を含む）	161	133	140	139	140	104
合計	930	880	852	817	752	652
項目	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	
金属類	175	203	154	200	169	
プラスチック類	35	78	48	47	43	
古紙類	199	194	166	166	142	
びん類	93	99	92	95	97	
その他（布類を含む）	148	86	171	127	107	
合計	650	660	631	635	558	

※組合（鳥栖・三養基西部環境施設組合）のデータでる。

プラスチック類はペットボトル、白色トレイ、容器包装プラの合計値。その他は布類、廃食品油、廃乾電池等を含む。

### 6-3 最終処分の実績

溶融資源化センターでは、鳥栖・三養基西部環境施設組合管内から排出された可燃ごみ及びリサイクルプラザにて処理を行った後に発生する可燃残渣及び不燃残渣を溶融処理し、全量を溶融スラグ・溶融メタル・溶融飛灰を資源化している。

ただし、災害等により溶融飛灰の受入施設への搬入が不能になった際の事業継続のためのバックアップ体制を整えるため、生成される溶融飛灰の約 10%を令和元年度から埋立処分している。

令和 6 年度から稼働するエネルギー回収型廃棄物処理施設については、焼却処理に伴い発生する焼却残渣（焼却主灰、焼却飛灰）をセメント原料等として有効利用する予定である。

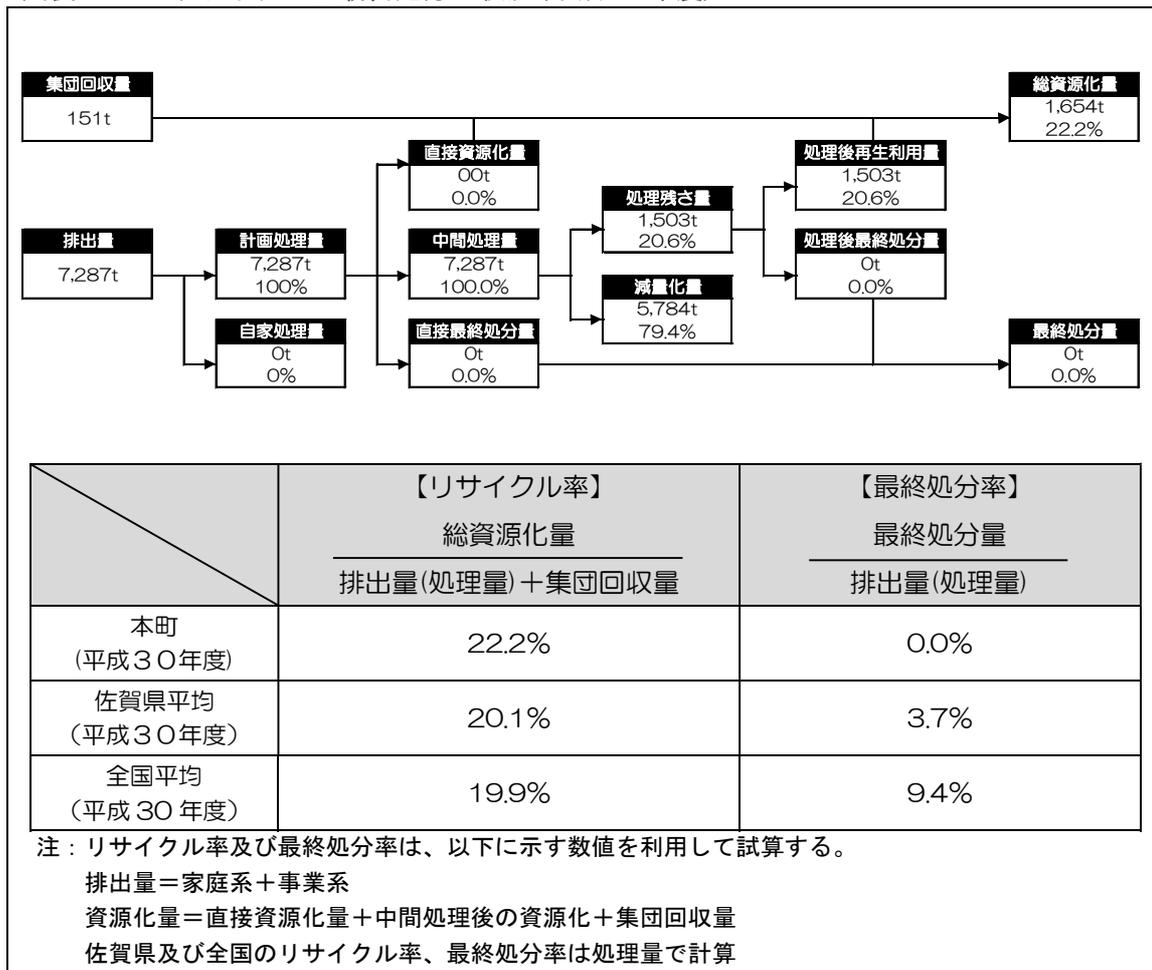
## 7 リサイクルと最終処分の状況

本町のリサイクルと最終処分の状況について、環境省が公表している「市町村一般廃棄物処理実態調査結果」を利用して、平成30年度実績を基に整理した。

本町の総資源化量は、平成30年度実績で1,654t/年となっており、リサイクル率は22.2%と佐賀県または全国の平均値より高い値となっている。

なお、最終処分量については、組合において熔融処理等の中間処理を実施し、全量再資源化を行っているため、最終処分は行っていない。

▼図表 3-16 リサイクルと最終処分の状況(平成30年度)



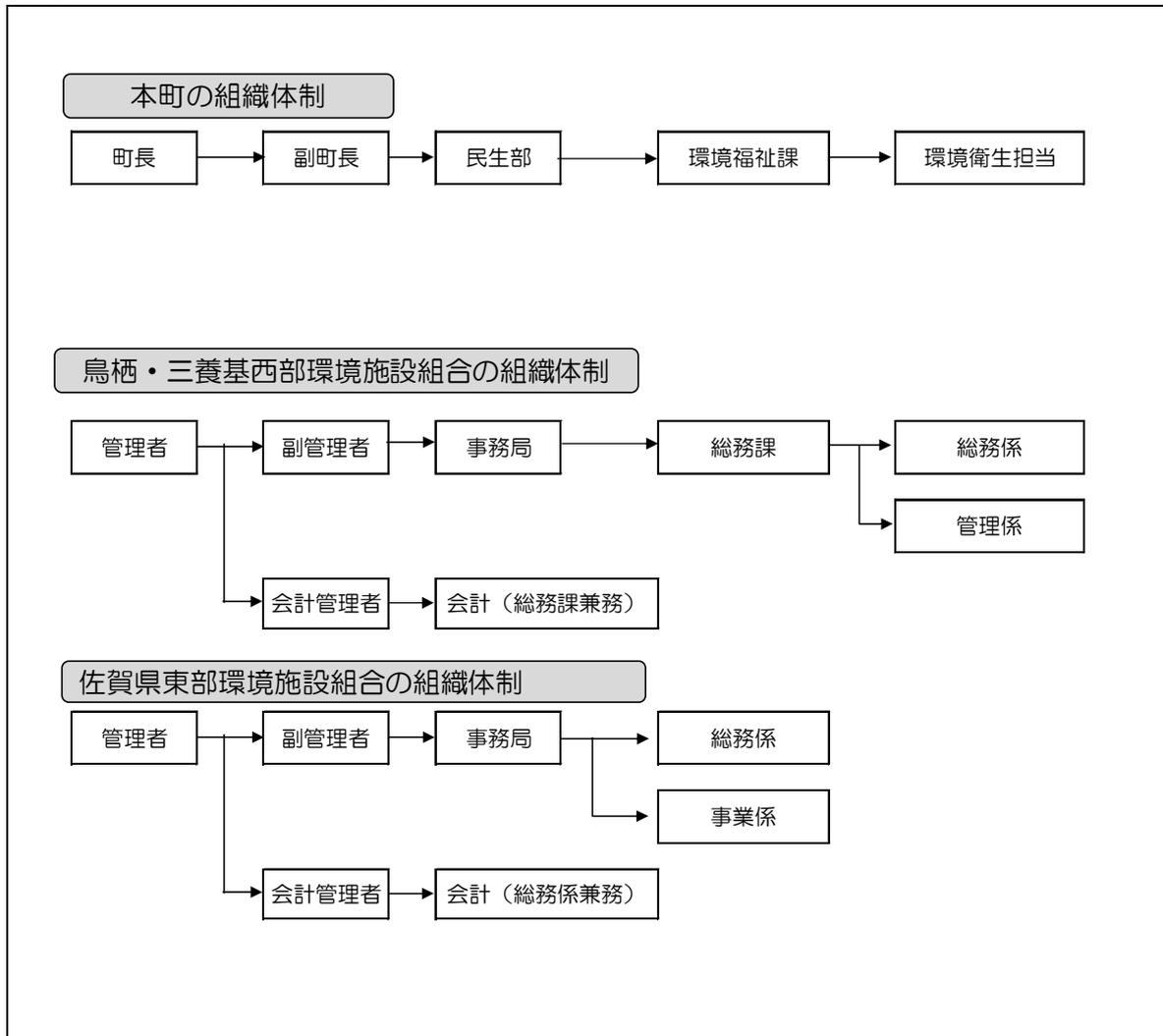
資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」（佐賀県及び全国）

## 8 ごみ処理に関する組織体制及び処理経費

### 8-1 ごみ処理の組織体制

ごみ処理の組織体制は、以下のとおりである。

▼図表 3-17 ごみ処理の行政組織体制



## 8-2 ごみ処理経費

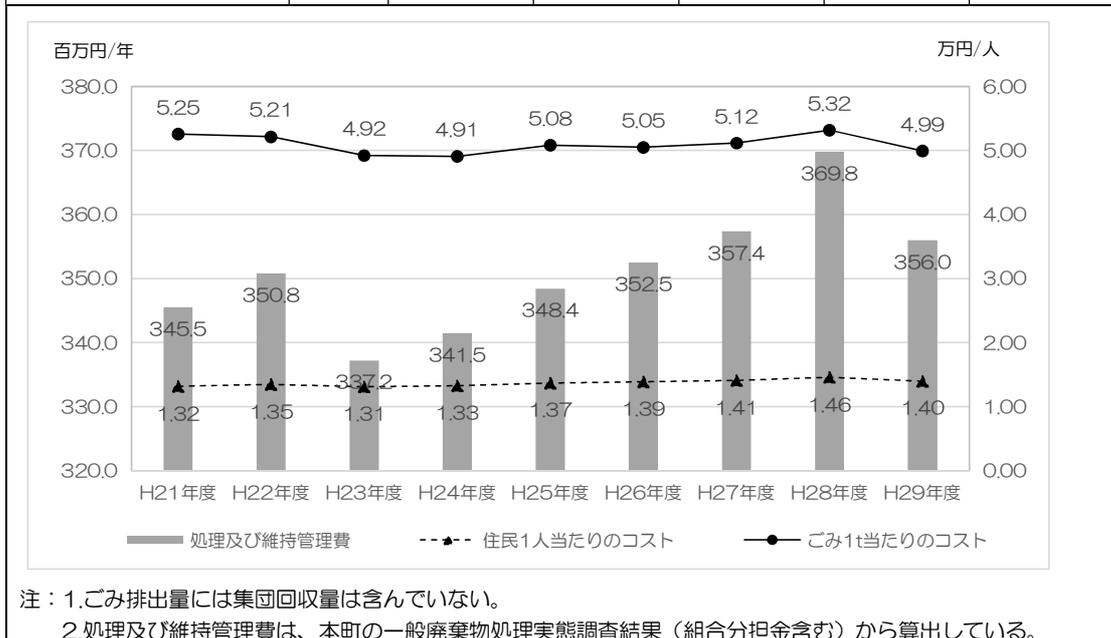
本町のごみ処理経費は、年々増加傾向となっている。住民1人当たりコストは横ばい、ごみ1t当たりコストも横ばいで推移している。

▼図表 3-18 ごみ処理経費の推移

項目	単位	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
人口(年度末)	人	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598
ごみ排出量	t	6,576	6,729	6,851	6,958	6,854
処理及び維持管理費	百万円	345.50	350.80	337.20	341.50	348.40
住民1人当たりのコスト	万円	1.32	1.35	1.31	1.33	1.37
ごみ1t当たりのコスト	万円	5.25	5.21	4.92	4.91	5.08

項目	単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
人口(年度末)	人	25,530	25,499	25,386	25,596
ごみ排出量	t	6,981	6,987	6,955	7,136
処理及び維持管理費	百万円	352.50	357.40	369.80	356.00
住民1人当たりのコスト	万円	1.39	1.41	1.46	1.40
ごみ1t当たりのコスト	万円	5.05	5.12	5.32	4.99



## 9 ごみ処理評価

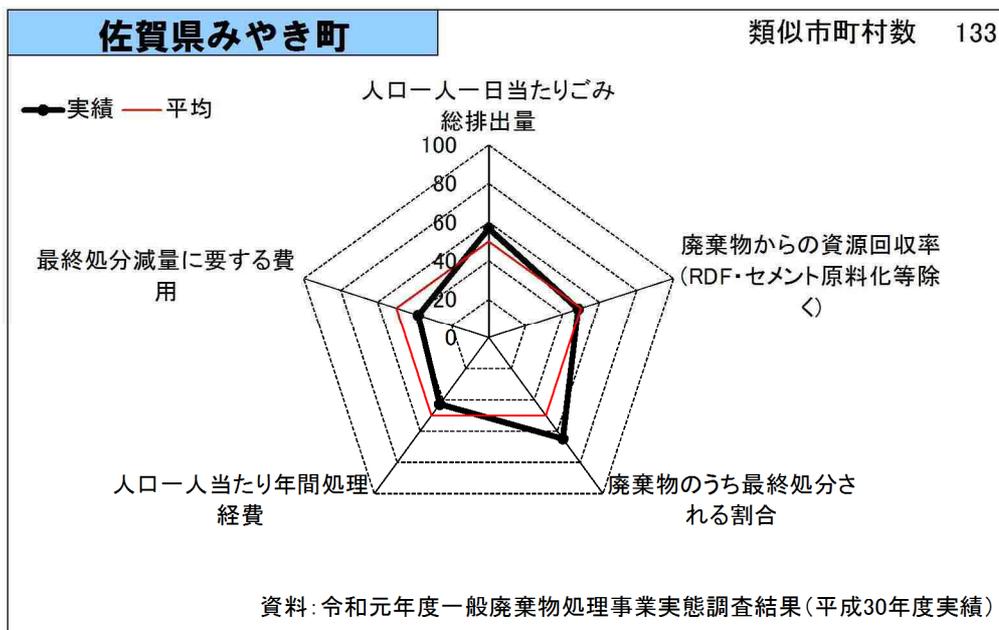
本町のごみ処理について、環境省が公表している「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」を利用して、平成30年度実績を基に、本町と同程度の人口規模の自治体との比較評価は次のとおりである。

人口1人1日当たりごみ総排出量は、標準偏差が50を下回っているため全国平均と比べてごみ排出量が多くなっている状態である。廃棄物からの資源回収率及び廃棄物のうち最終処分される割合は、標準偏差が60を上回っており、全国平均と比べて資源回収率が高く、最終処分量が少ない状態である。人口1人当たりの年間処理経費及び最終処分量に要する費用は、標準偏差が50を下回っているため、全国平均と比べて年間の処理経費や、溶融処理等による減量に要する費用が高くなっている状態である。

▼図表 3-19 ごみ処理の評価項目

指 標		指数の見方
循環型社会形成	人口1人1日当たりごみ総排出量	指数が大きいほど、ごみ排出量は少なくなる。
	廃棄物からの資源回収率 (RDF・セメント原料化等除く)	指数が大きいほど、資源回収率は高くなる。
	廃棄物のうち最終処分される割合	指数が大きいほど、最終処分される割合は小さくなる。
経済性	人口1人当たり年間処理経費	指数が大きいほど、1人当たりの年間処理経費が少なくなる。
	最終処分減量に要する費用	指数が大きいほど、費用対効果は高くなる。

▼図表 3-20 ごみ処理の評価



## 10 ごみ処理に関する課題

本町のごみ処理に関する問題点・課題は、以下のとおりである。

### 【ごみの排出に関する事項】

ごみの減量が必要
<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 30 年度の 1 人 1 日当たりごみ総排出量は 780g と、佐賀県平均や全国平均と比べ低い値であるが、今後ごみの減量化を継続する必要がある。</li><li>・家庭系の 1 人 1 日当たりのごみ排出量は減少傾向となっており、ごみの減量化や適正処理が必要となっている。</li><li>・事業系の 1 人 1 日当たりのごみ排出量は、増加していることから、事業者のごみの減量化や適正処理が必要となっている。</li></ul>
ごみの排出方法等の統一が必要
<ul style="list-style-type: none"><li>・可燃ごみ及び不燃ごみの指定袋の価格、粗大ごみシールの価格が地域間で異なっていることから、価格設定に対する検討が必要となっている。</li><li>・不燃ごみ及びスプレー缶等の取り扱いが地域間で異なっていることから、分別品目の取り扱いについて検討が必要となっている。</li></ul>

### 【再資源化に関する事項】

分別徹底が必要
<ul style="list-style-type: none"><li>・溶融資源化センターのごみ組成調査結果より可燃ごみには、資源ごみに分類される古紙が多く混入していることから、分別の徹底が必要となっている。</li></ul>

### 【中間処理に関する事項】

安定的かつ適正処理ができる施設維持が必要
<ul style="list-style-type: none"><li>・可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみの中間処理は、溶融資源化センターとリサイクルプラザで行っている。当施設では、新たな広域処理体制が整うまでは、現状の処理体制を継続することにより、当施設の効率的な運営及び安定的な処理を維持していく必要がある。</li></ul>

### 【最終処分に関する事項】

最終処分量の削減が必要
<ul style="list-style-type: none"><li>・本町及び組合では最終処分場を保有していないことから、今後ごみの減量化や資源化を行っていくことにより、最終処分量の削減をしていく必要がある。</li></ul>

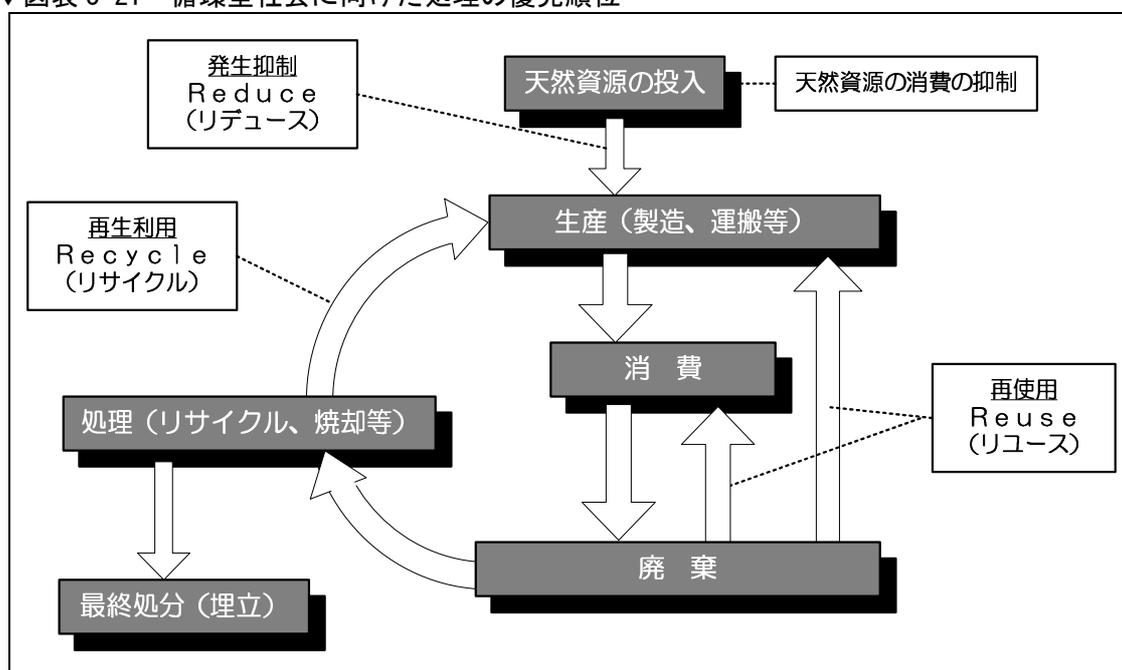
## 第2節 ごみ処理の目標

### 1 基本方針

本町では、循環型社会形成推進基本法で定められた処理の優先順位（図表 3-21）を踏まえて、ごみによる環境への負荷をできる限り低減するため、ごみの発生抑制 (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle) の 3R 活動を推進することで、限りある資源とエネルギーの使用量の削減と循環的な利用を促進していくものとする。

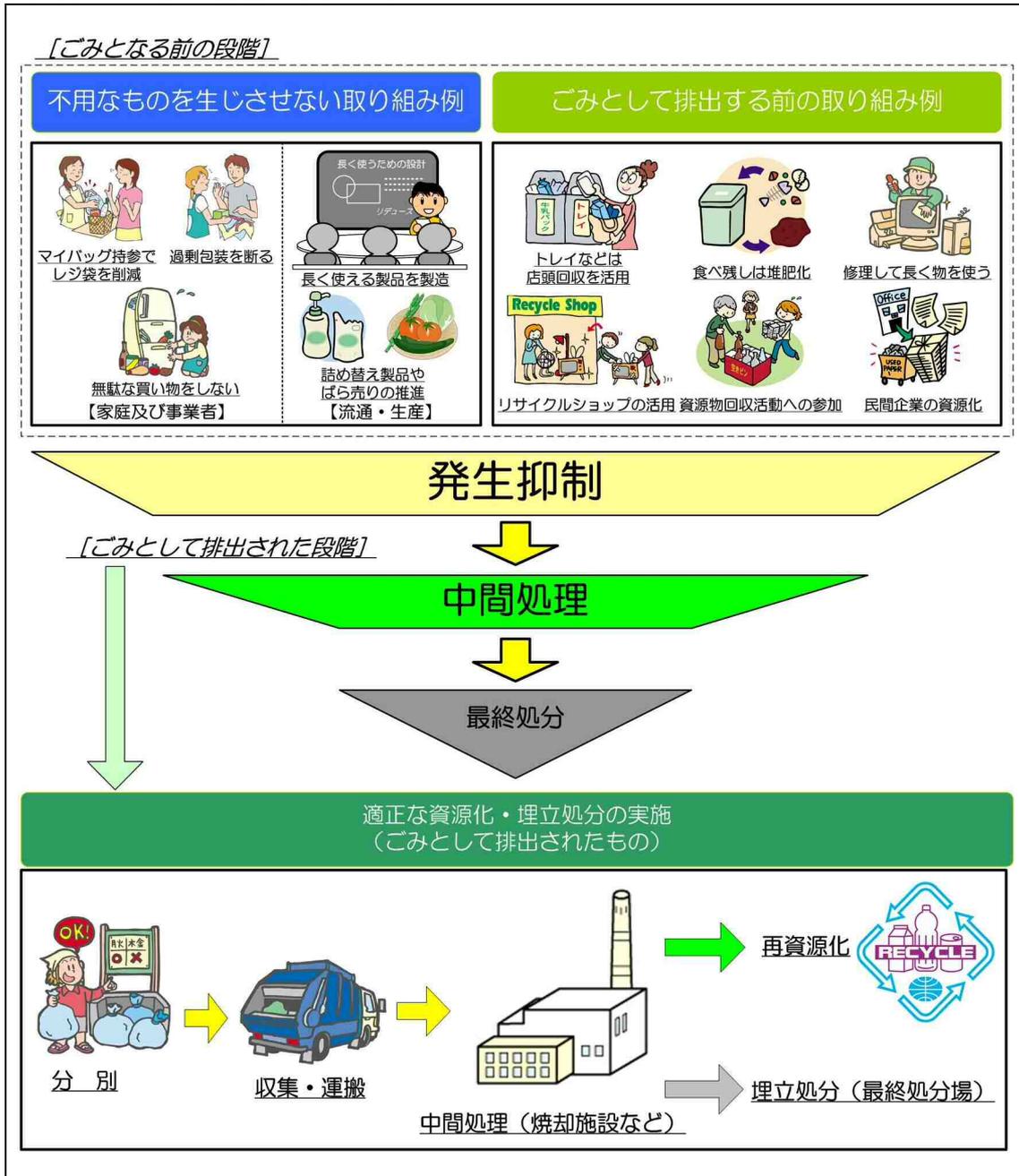
本計画では、既定計画と同様に「資源循環型社会の構築」を基本理念として、ごみの減量化及び資源化を進めていくものとする。

▼図表 3-21 循環型社会に向けた処理の優先順位



本計画では、ごみとなる可能性がある不用なものをなるべく出さないことや、不用になってしまったものについてはリユースすることで「ごみを出さない」ことを「発生抑制」として位置付けている。「発生抑制」のイメージは下図に示すとおりである。

▼図表 3-22 発生抑制に対する一般的なイメージ



本町では、「資源循環型社会の構築」を基本理念として、「住民・事業者・行政が連携した 3R 運動の推進」、「ごみ減量化及び資源化の推進」、「適正な収集・運搬・処理・処分の継続及び構築」の 3 つの基本方針を柱として、循環型社会の構築を目指すものとする。

### **基本方針 1：住民・事業者・行政が連携した 3R 運動の推進**

「発生抑制」を主体とする 3R 運動 (Reduce: リデュース、Reuse: リユース、Recycle: リサイクル) に取組、住民・事業者・行政の 3 者が連携して、一歩進んだ循環型社会の構築を目指す方針とする。

### **基本方針 2：ごみの減量化及び資源化の推進**

本町において、これまで行ってきた施策の推進とあわせて、適正分別を徹底することにより、一層のごみの減量化及び資源化を図っていく方針とする。

### **基本方針 3：適正な収集・運搬・処理・処分の継続及び構築**

安全かつ適正なごみの収集・運搬・処理・処분을継続する方針とする。

あわせて、現在供用している廃棄物処理施設においては、周辺環境に配慮した適切な運転管理及び施設の維持管理を継続して行っていく方針とする。

将来的にごみ処理施設の更新を行った場合は、更新する施設に応じた収集・運搬・処理・処분을構築する方針とする。

## 2 ごみ処理主体

本町管内から排出されたごみを処理する主体を排出段階から処理・処分に至る工程ごとに、さらに、ごみの種類ごとに明確化する。

### 2-1 排出段階

排出段階における再利用やごみの減量は、排出者である住民や事業者が自ら行うものとする。

なお、ごみの再生利用やごみの減量を実施するための周知・啓発等は本町が行うものとする。

### 2-2 収集運搬段階

家庭系ごみの収集運搬については、本町が行うものとする。なお、組合施設へごみを持ち込む場合は、住民自らが運搬、または町の施策に協力し、かつ許可を受けた団体（以下「協力団体」という。）が住民から依頼を受け運搬するものとする。

また、事業系ごみは事業者自ら組合施設に運搬、または一般廃棄物収集運搬許可業者（以下「許可業者」という。）へ委託するものとする。

### 2-3 処理処分段階

ごみの処理・処分は、組合で行うものとする。

なお、適正処理困難物や特別管理一般廃棄物は、製造者または排出者の責任において処理・処分を行うものとする。

▼図表 3-23 ごみ処理段階と処理主体

項目	排出	収集運搬	中間処理・最終処分
家庭系ごみ	住民	本町 又は協力団体	組合
事業系ごみ	事業者	事業者 又は許可業者	組合

注：処理主体は委託も含む。

### 3 ごみ排出量及び処理量の見込み

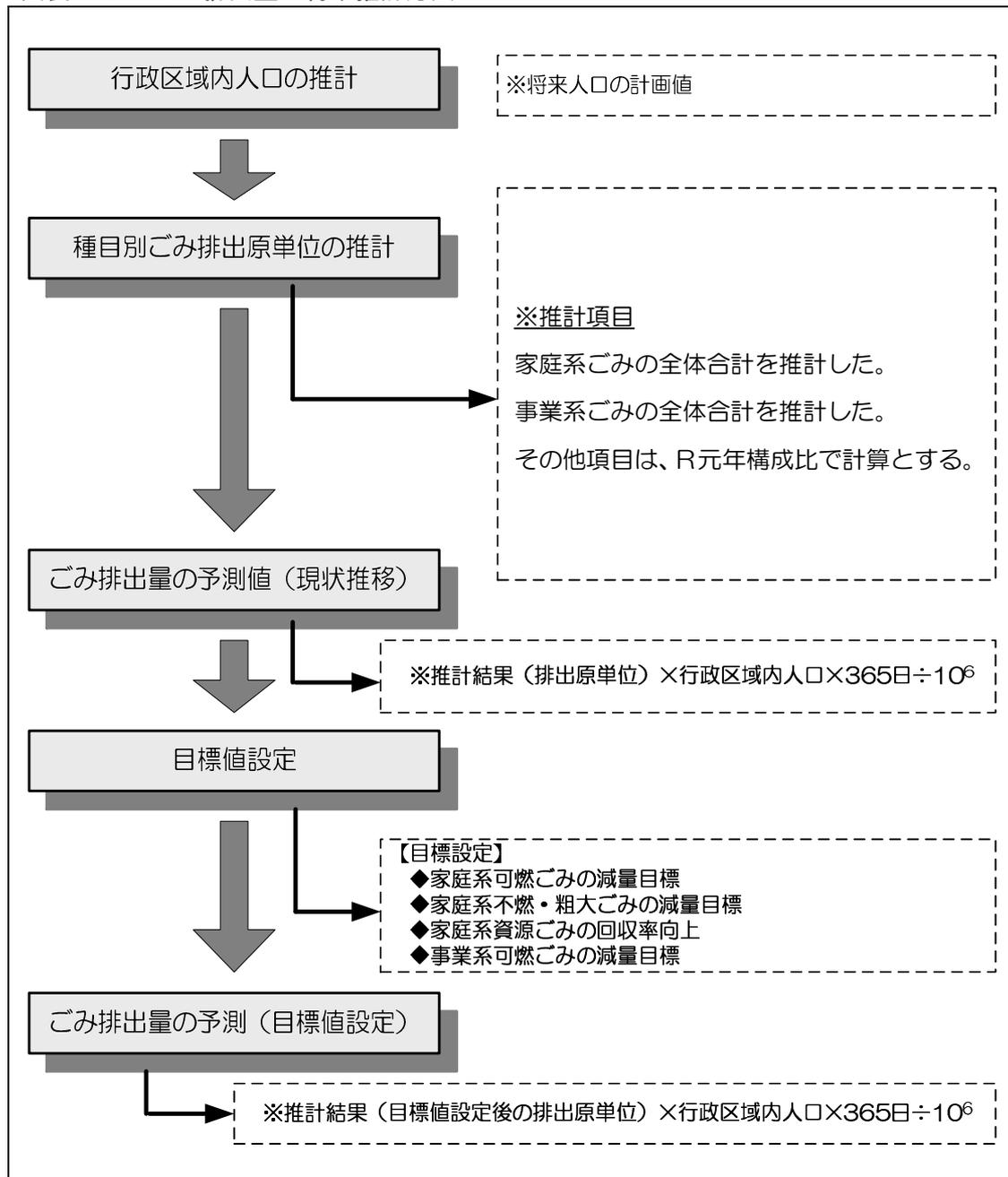
#### 3-1 将来計画の方法

人口及びごみ排出量の将来の推計方法は、「ごみ処理施設構造指針解説」をもとに推計を行っている。

なお、人口は本町の将来目標人口を採用し、ごみ排出量は過去 10 年間（平成 22 年度～令和元年度）の実績値を基本として推計した。

ごみ排出量等の将来推計方法は、以下に示すとおりである。

▼図表 3-24 ごみ排出量の将来推計方法



## 4 減量化及び資源化に関する目標値の設定

### 4-1 減量化の目標値

本町において、今後取り組むべき減量化の目安となる目標値を設定した。

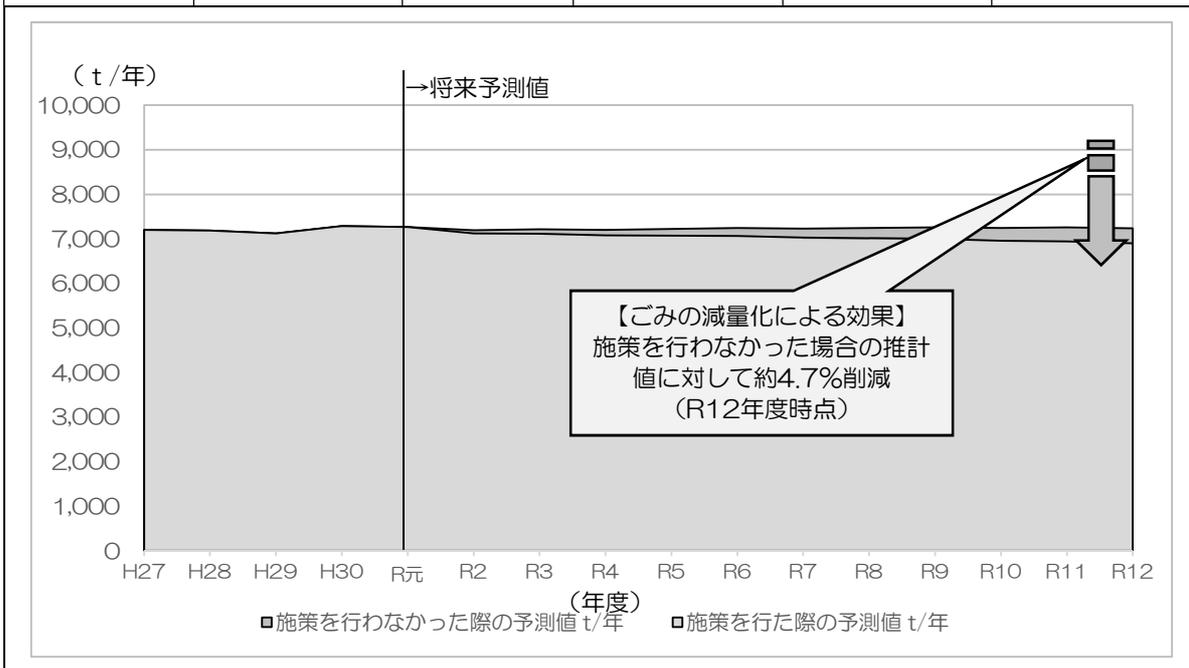
ごみの減量化の目標値は、家庭系の可燃ごみ、家庭系不燃ごみ・粗大ごみ、事業系可燃ごみに対して、減量目標値を設定しており、本計画はこの積み上げを表示している。

▼図表 3-25 ごみの減量化の目標値

項目	減量化の内容	目標年度における目標値の設定
家庭系可燃ごみ	管内で排出されたごみのうち約 19.7% (H26) → 11.7% (R1) が厨芥類であるため、生ごみの水切りを徹底することによりごみの減量化を図る。	水切り効果：10% 協力度：80% 削減目標：0.94%
	食品ロス等を少なくすることにより、ごみの減量化を図る。	食品ロス：40g/人日 削減目標：5%
家庭系不燃・粗大ごみ	目標を平成 27～28 年度の実績レベルの排出量に設定した。	削減目標：5%
事業系可燃ごみ	目標を令和元年度実績レベルの排出量に設定した。	削減目標：15%

▼図表 3-26 ごみの減量施策を実施した場合のごみ排出量の推移

項目		単位	R2年度	R7年度	R12年度
家庭系ごみ	現状推移	t/年	5,772	5,697	5,594
	施策実施	t/年	5,765	5,639	5,486
	減量分	t/年	▲7	▲58	▲108
事業系ごみ	現状推移	t/年	1,424	1,533	1,643
	施策実施	t/年	1,357	1,390	1,412
	減量分	t/年	▲67	▲143	▲231



※家庭系ごみ＝家庭系可燃ごみ＋家庭系不燃ごみ・粗大ごみ＋家庭系資源ごみ＋集団回収量

※事業系ごみ＝事業系可燃ごみ＋事業系不燃ごみ・粗大ごみ＋事業系資源ごみ

▼図表 3-27 ごみの減量施策を実施した場合の推移

項目		単位	R2 年度	R7 年度	R12 年度
家庭系ごみ	現状推移	g/人・日	629.6	631.2	632.6
	施策実施	g/人・日	628.9	624.7	620.3
	減量分	g/人・日	▲0.7	▲6.5	▲12.3
事業系ごみ	現状推移	t/日	3.9	4.2	4.5
	施策実施	t/日	3.7	3.8	3.9
	減量分	t/日	▲0.2	▲0.4	▲0.6

## 4-2 資源化の目標値

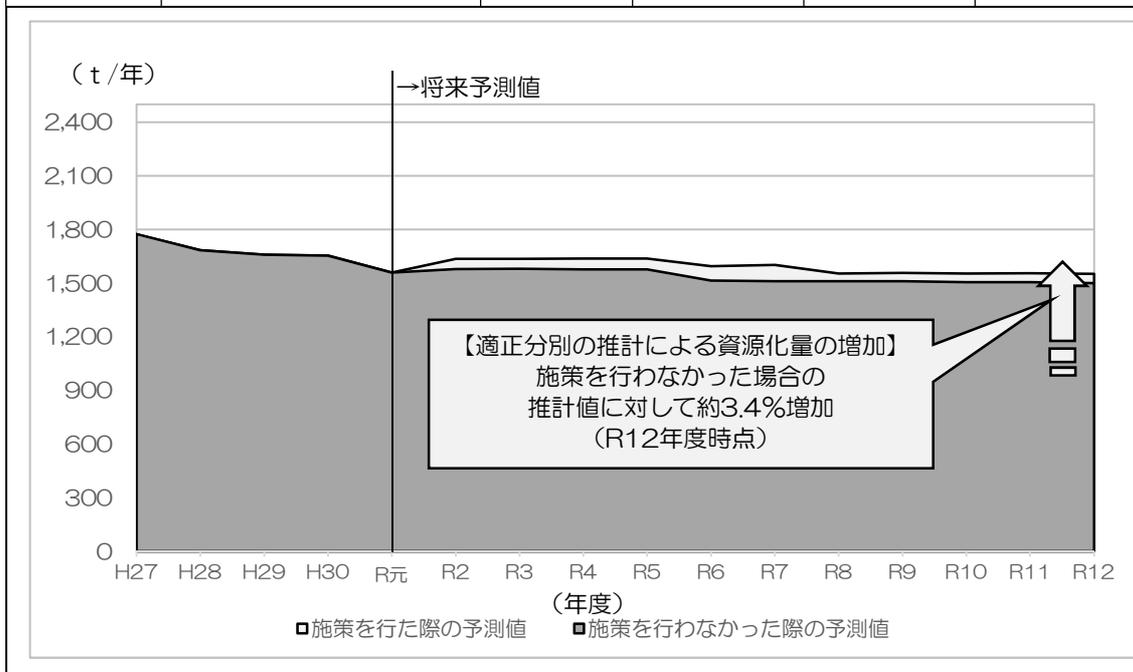
資源化の目標値については、現在、本町で分別を行っている家庭系の資源ごみの品目のうち、実施したごみ種類組成の調査結果（湿ベース）において適正分別が見込める紙類（段ボール、新聞・チラシ、雑誌）、容易に分別が可能なペットボトル及び白色トレイ、分別は容易ではないが資源化に貢献できる容器包装プラスチックの回収量を向上する目標値を設定した。

▼図表 3-28 資源化の目標値

項目	資源化の内容	目標年度における目標値の設定
段ボール	可燃ごみ中に 3.9%混入しているため、適正分別により資源化の向上を図る。	可燃ごみへの混入割合を現状より 16%削減し、資源として適正分別する。 段ボール：3.9%×16%≒0.6% 新聞・チラシ：9.0%×16%≒1.4% 雑誌：5.3%×16%≒0.9%
新聞・チラシ	可燃ごみ中に 9.0%混入しているため、適正分別により資源化の向上を図る。	
雑誌	可燃ごみ中に 5.3%混入しているため、適正分別により資源化の向上を図る。	
ペットボトル	適正分別を推進することにより、資源化の向上を図る。	潜在量に対する回収率を 55%とし、1 人 1 日当たりの資源化量を 4.8g とする。
容器包装プラスチック		潜在量に対する回収率を 20%とし、1 人 1 日当たりの資源化量を 5.8g とする
白色トレイ		潜在量に対する回収率を 35%とし、1 人 1 日当たりの資源化量を 0.1g とする。

▼図表 3-29 資源化施策を実施した場合の資源化量の推移

項目		単位	R2 年度	R7 年度	R12 年度
資源化量	現状推移	t/年	1,579	1,512	1,502
	施策実施	t/年	1,636	1,603	1,553
	適正分別による増加	t/年	+57	+91	+51



※ 資源化量＝資源化物＋集団回収量

▼図表 3-30 資源化品目の潜在量の設定根拠（参考値）

人口 (人)	ごみ発生量 (t/年)	容器包装潜在原単位 (g/人・日)								
		缶 1.3%	ビン 3.6%	紙パック 0.6%	段ボール 3.8%	その他紙 5.8%	PET 1.5%	トイレ 0.4%	その他プラ 6.8%	計 23.8%
71,813	19,108	95	262	4.4	27.7	423	109	2.9	496	173.5

資料：環境省「市町村分別収集手引き」（七訂版）

▼図表 3-31 資源化目標値の設定根拠

品目	潜在量	現況 (H30 年度)		目標 (R12 年度)	
	g/人・日	g/人・日	回収率	回収率	g/人・日
ペットボトル	10.9	3.4	31.2%	55%	6.0
その他容器包装プラスチック	49.6	4.9	7.5%	15%	7.4
白色トレイ	2.9	0.1	10.3%	35%	1.0

## 5 目標値のまとめ

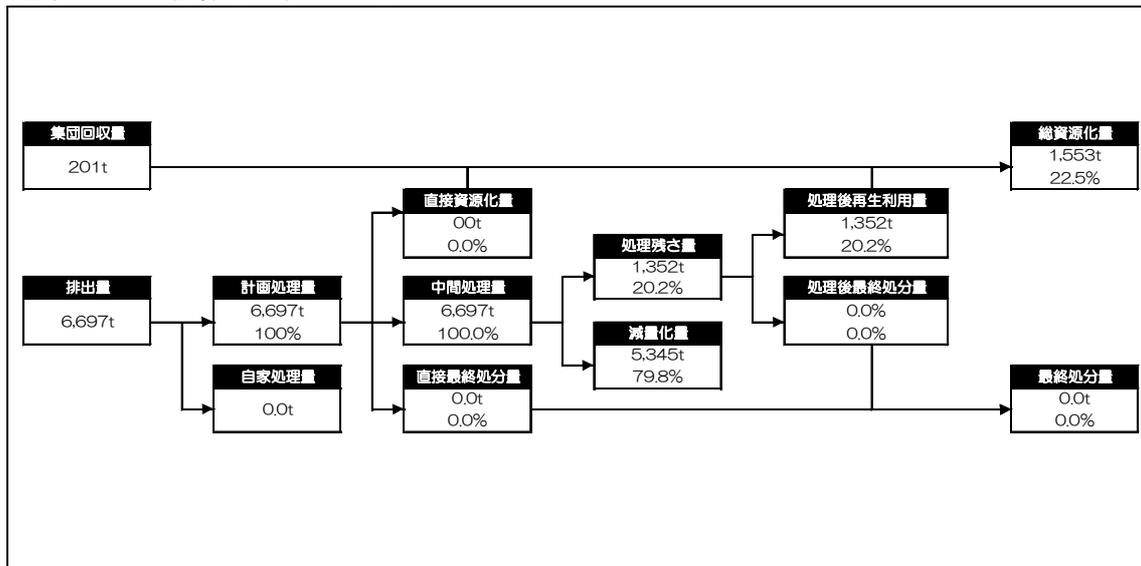
前述したごみの減量化及び資源化の目標達成後の姿は、図表 3-32 に示すとおりである。

本町では、令和 12 年度で 1 人 1 日当たり排出量を平成 26 年度実績に対し、12g 削減する方針とする。あわせて、適正分別等の推進により資源化率を 22.5%とする目標を設定した。

▼図表 3-32 目標値のまとめ

項目	単位	H26	R2 年度	R7 年度	R12 年度
行政区内人口	人	25,598	25,117	24,729	24,229
総排出量（資源ごみ等含む）	t/年	7,085	7,122	7,029	6,898
削減量（対 H26）	t/年	-	+37	▲56	▲187
施策実施時 削減率（対 26）	-	-	+0.5%	▲0.8%	▲2.6%
1 人 1 日当たり排出量原単位	g/人・日	792.0	776.9	778.7	780.0
（資源ごみ等含む） 削減量（対 H26）	g/人・日	-	▲15.1	▲13.3	▲12.0
施策実施時 削減率（対 26）	-	-	▲1.9%	▲1.7%	▲1.5%
資源化量	t/年	1,735	1,636	1,603	1,553
総排出量に対する資源化率	-	24.5%	23.0%	22.8%	22.5%

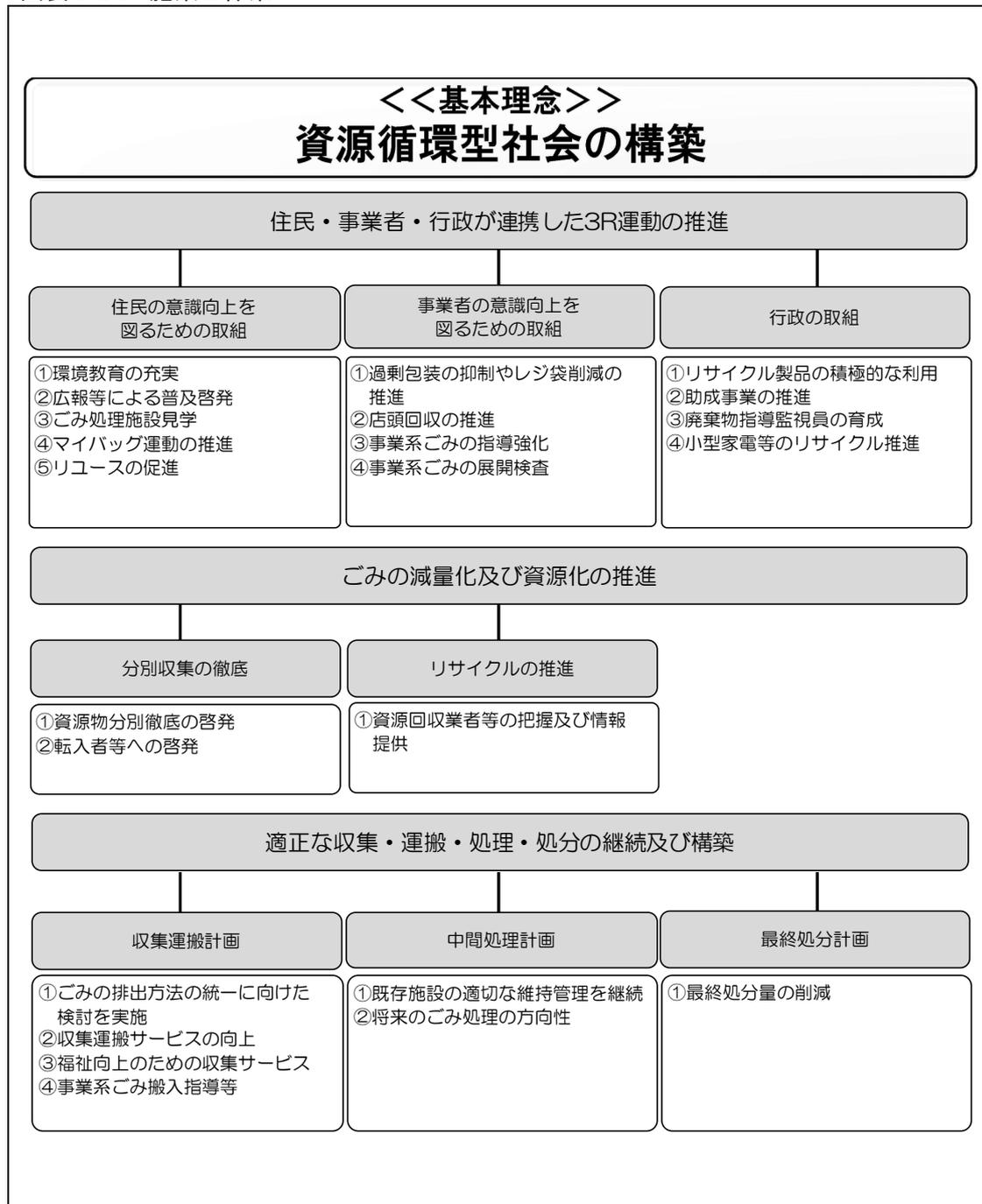
▼図表 3-33 目標達成後の処理フロー



### 第3節 施策の体系

前述したごみの減量化や資源化を進めていくために、今後実施または検討する施策の基本体系を示す。

▼図表 3-34 施策の体系



## 第4節 排出抑制計画

ごみの発生・排出抑制は、住民や事業者が積極的に取り組むことが必要である。

そのため、行政は住民や事業者の取組を積極的に支援する方針とする。

ごみ発生・排出抑制目標の達成に向けて、具体的に推進する施策は以下のとおりとする。

### 住民・事業者・行政が連携した3R運動の推進

#### 1 住民の意識向上を図るための取組

##### 施策1 環境教育の充実

ごみ問題等、地域の環境に対する意識を根付かせるためには、子供から大人まで広く啓発を行うことが必要であることから、お祭りなどを含めた各種のイベント時に環境ブースを出展するなどし、住民に環境問題に対して興味を持ってもらうと同時に、現在のライフスタイルの見直し、環境問題への積極的な取組協力を要請する。

また、小中学校や保育園へ出向き、ごみ問題に関する環境学習を実施する。

##### 施策2 広報等による普及啓発

地域の公民館などでリサイクルやごみ減量に関する講習会を開催し、住民へ「ごみ」に対する関心を高める機会を提供する施策を継続する。

適正な分別への協力やごみ減量に関する記事を、本町の広報等に掲載するなどして、住民へリサイクルやごみ減量に対する啓発や意識の向上を図る。同時に、構成市町や本町のホームページを活用して、住民が情報を得やすい環境を整える。

あわせて、生ごみの水切りの徹底、ダンボールコンポストを含めた生ごみ堆肥化の利用方法、集団回収への参加及び店頭回収を行っている店舗などについての情報を積極的に広報し、ごみの資源化や減量化に対する住民の意識向上を図る取組を行うものとする。



##### 施策3 ごみ処理施設見学

小・中学校を対象にごみ処理施設の施設見学等の推進や環境教育を普及することにより、環境に配慮した考え方のできる人づくりを進める。

##### 施策4 マイバッグ運動の推進

買い物袋（マイバッグ）の持参は、ごみとなるレジ袋の削減はもとより、買い物袋に入るだけの必要なものしか購入できないため、結果として食べ残し等に繋がるごみの発生を削減できることから、こうした住民の取組を推進する。



## 施策5 リユースの促進

不用品を交換し、再使用（リユース）を行うことは、ごみ排出削減につながるため、住民団体が行うフリーマーケット等に関する場所の提供や情報提供を行う。



住民参加のフリーマーケット

## 2 事業者の意識向上を図るための取組

### 施策1 過剰包装の抑制やレジ袋削減の推進

事業者に対して、過剰包装を控える取組に積極的に参加するよう要請する。  
本取組を積極的に推進する販売店等については、その活動を広報等により住民に紹介し、企業イメージの向上を手助けする方針とする。

また、佐賀県が推奨している「マイバッグ・ノーレジ袋推進店」と連携し、レジ袋削減に取り組む方針とする。



### 施策2 店頭回収の推進

スーパー等で実施されている食品トレイ、牛乳パック等の店頭回収を推進・拡大するように働きかけていく。

また、個別にごみの減量化や資源化に取り組んでいる企業については、活動内容を本町のホームページや広報などを活用し、住民へ啓発することを検討する。



### 施策3 事業系ごみの指導強化

町内の事業者を対象に、ごみの減量化や資源化に対する意識の向上を図るため、多量の事業系廃棄物を排出する事業者に対する指導を強化する。

### 施策4 事業系ごみの展開検査

収集運搬許可業者の収集車両に対して、組合にて抜き打ちで収集車のごみを一旦降ろさせ、不適物が混入していないか確認をする展開検査を実施している。本検査により、搬入されたごみに異物等の混入が認められた収集運搬許可業者に対して指導を行っていることから、こうした取組を継続する。



あわせて、必要に応じて展開検査の頻度を増やすことなども検討する。

### 3 行政の取組

#### 施策1 リサイクル製品の積極的な利用

本町を事業所と位置付けし、紙類や事務用品などは、グリーン購入法に基づいたリサイクル品を積極的に利用していく。また、住民・事業者に対しても積極的なリサイクル品の利用を啓発する。



#### 施策2 助成事業の推進

ごみの減量化や資源化に有効な施策の一環となる生ごみ堆肥化容器等や集団回収の助成事業を行っていることから、今後も継続して実施するものとする。



#### 施策3 廃棄物指導監視員の育成

地域住民に対し、ごみの出し方等の指導や助言が行え、同時に地域の声を取り入れる窓口となる廃棄物指導監視員の取組を継続するものとする。

あわせて、住民団体、事業者、行政が一体となってごみ問題について考えていくための協議会等を必要に応じて発足する。



#### 施策4 小型家電等のリサイクル推進

小型家電等のリサイクルについては、組合施設においてピックアップ方式で回収を行っており、レアメタルの回収を実施している。

本町においては、こうした取組について住民への広報等を行っていく。

## 第5節 再資源化計画

ごみ処理に関する目標を達成するため、基本方針のもと、具体的に取り組む施策は以下に示すとおりである。

### ごみの減量化及び資源化の推進

#### 1 分別収集の徹底

##### 施策1 資源物分別徹底の啓発

可燃ごみとして排出されたごみには、分別品目のリサイクル可能な古紙類が多く混入しているため、こうした状況を本町のホームページや広報等を活用して情報発信し、住民に対して分別の徹底を図る方針とする。

また、ごみステーションに出されたごみについては、分別が悪い場合は、ごみ袋の収集を行わないなどの措置についても今後検討を進めていく方針とする。

##### 施策2 転入者等への啓発

転入者や転居の方が多し賃貸住宅居住者等に対するごみの減量や資源物の分別方法を周知するため、転入時の窓口での啓発や、不動産業者や管理業者等を通じた分別の徹底を啓発する取組を進める方針とする。

また、介護業者は、住民に代わってごみ分別をする場合があるため、分別方法等について指導していく。

#### 2 リサイクルの推進

##### 施策1 資源回収業者等の把握及び情報提供

事業系ごみは、事業者自身で資源化を推進するなどの取組を行い、排出量の削減を図ることを原則とする。

本町では、事業者が自ら資源化を行うために必要となる古紙等を取り扱う資源回収業者などを把握すると同時に、こうした回収業者を事業者に紹介するための各種情報提供を行うシステムのあり方を検討する。

## 第6節 ごみ処理計画

### 適正な収集・運搬・処理・処分の継続及び構築

#### 1 収集運搬計画

##### 1-1 収集運搬量

家庭系ごみの収集運搬は、委託で行っている。ごみの減量化及び資源化の目標の達成によりごみ排出量は削減され、令和12年度において4,257t/年となる見込みである。

▼図表 3-35 収集運搬量（直接搬入ごみ除く）

項目	単位	R2年度	R7年度	R12年度
可燃ごみ	t/年	3,929	3,813	3,673
不燃ごみ・粗大ごみ	t/年	82	81	80
資源ごみ	t/年	428	465	504
合計	t/年	4,439	4,359	4,257

##### 1-2 収集運搬の施策

収集運搬に関する主な施策は、以下に示すとおりとする。

###### 施策1 ごみの排出方法の統一に向けた検討を実施

可燃ごみ及び不燃ごみの指定袋、粗大ごみシールの価格や、分別区分である「不燃ごみ」の取り扱い品目が、地域間で異なることから、将来的な統一に向けた各種検討を進めるものとする。

###### 施策2 収集運搬サービスの向上

ごみの収集・運搬に関する住民サービスの向上手段としては、収集頻度や収集ステーション数を多くすることなどが挙げられるが、これを実施した場合、収集・運搬に関する費用負担が増えることとなる。

そのため、収集頻度は、これまでと同様の頻度で収集を行う方針とする。

一方で、新たな収集ステーションの設置は、住民の要望、収集運搬に関する住民サービスの維持、収集運搬の行政負担のバランスを考慮した上で、判断するものとする。なお、新たに設置した収集ステーションは、地域住民により維持管理を行うものとする。

###### 施策3 福祉向上のための収集サービス

介護が必要な住民や障害のある住民は、通常のごみの排出が容易にできない場合もあることから、ごみ出しへの支援体制の構築が必要である。高齢者等を対象とした支援方法、支援体制の構築について検討する。



## 施策4 事業系ごみ搬入指導等

事業者が排出するごみは、廃棄物処理法第3条において「事業者自らの責任において適正に処理しなければならない」と規定されていることから、事業系ごみの搬入は事業者自らが行うか、あるいは町が許可する収集運搬許可業者により行われている。

本町及び組合は連携して、事業者に対して、ごみの発生・排出削減を指導すると共に、組合に搬入されたごみについては、必要に応じて展開検査などを行い、分別徹底を指導する方針とする。

また、ごみを多量に排出している事業者に対して、ごみの減量・再資源化等への意識向上を図ることを目的とした指導の強化のあり方を検討する方針とする。

なお、事業系ごみの収集運搬は、事業系ごみの排出状況と現存する許可業者の収集・運搬状況をもとに許可を認めている。そのため、収集運搬の許可については現状を維持する方針である。

## 2 中間処理計画

### 2-1 中間処理量

中間処理量は、ごみの排出抑制の達成により減少する見込みであり、年間排出量は令和12年度において7,776t/年とする。

▼図表 3-36 中間処理量（リサイクルプラザの可燃残渣を含む）

項目	単位	R2年度	R7年度	R12年度
可燃ごみ	t/年	6,341	6,232	6,058
不燃ごみ・粗大ごみ	t/年	1,292	1,255	1,214
資源ごみ	t/年	428	465	504
合計	t/年	8,061	7,952	7,776

### 2-2 中間処理の施策

中間処理に関する主な施策は、以下に示すとおりとする。

#### 施策1 既存施設の適切な維持管理を継続

可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみの中間処理は、溶融資源化センターとリサイクルプラザで行っている。

当施設では、新たな広域処理体制が整うまでは、現状の処理体制を継続することにより、当施設の効率的な運営及び安定的な処理を維持していくものとする。

## **施策2 将来のごみ処理の方向性**

組合のごみ処理施設は供用後16年以上が経過していることから、当施設の更新を視野に入れた検討を進めていく。

そのため、組合の将来的なごみ処理の方向性を定めるために、周辺自治体の動向調査や新技術の動向調査に対して協力していくものとする。

県の広域化計画や近隣自治体の動向も踏まえた上で、組合を構成する2市3町にとって最も適した処理体制の構築を図る方針とする。

## **3 最終処分計画**

最終処分に関する主な施策は、以下に示すとおりとする。

### **施策1 最終処分量の削減**

本町及び組合では最終処分場を保有していないことから、今後のごみの減量化や資源化を行っていくことにより、最終処分量の削減を図る方針とする。

## 第7節 ごみ処理施設整備

### 1 処理対象物

溶融資源化センター及びリサイクルプラザについては、将来的に更新する予定となっている。

今後整備する施設における処理対象物は、以下に示すとおりとする。

▼図表 3-37 処理対象物

施設区分	処理対象物
エネルギー回収型廃棄物処理施設	可燃ごみ 破碎選別残渣 災害廃棄物
マテリアルリサイクル推進施設	不燃ごみ 粗大ごみ 資源ごみ (紙類、白色トレイ、布類、廃食用油、乾電池、缶類、 ビン類、ペットボトル、容器包装プラスチック等)

### 2 施設整備計画目標年度

施設規模を算定するための処理量として採用する計画目標年次は、「廃棄物処理施設整備国庫補助事業に係る施設の構造に関する基準について（環整第 107 号厚生省環境衛生局水道環境部長通知）」において、『稼動予定年の 7 年後を超えない範囲内で将来予測の確度、施設の耐用年数、投資効率及び今後の施設の整備計画等を勘案して定めること。』とされているため、計画施設が供用を開始する令和 6 年度から 7 年後の令和 12 年度までの間で、最も処理量が多い令和 6 年度の値を採用した。

なお、平成 28 年度から令和 5 年度までの 8 年間は、施設整備に向けた各種調査・計画期間であるため施設規模の設定年度の対象とならない。また、ごみ排出量が最も少なくなる令和 12 年度の処理量で施設規模を設定した場合、令和 6 年度のごみを処理することができなくなるため、こうした値は採用していない。

### 3 施設整備基本方針

今後の施設整備基本方針は、以下に示すとおりとする。

- ・エネルギー回収型廃棄物処理施設の処理方式は、全連続燃焼式ストーカ炉式焼却炉とする。（令和 6 年度稼働の予定）
- ・マテリアルリサイクル推進施設（検討中）

## 第8節 その他

---

### 1 環境美化

環境にやさしいまちづくりを進めるため、住民等による散乱ごみの回収活動の活性化が必要であることから清掃ボランティアに対するごみ袋等の用具の提供及び清掃ごみの回収等、その活動を積極的に支援するものとする。

### 2 不法投棄の防止

空き缶やたばこのポイ捨て、不法投棄等の問題に対する住民・事業者・行政の3者による情報ネットワークの構築が必要となっていることから、情報共有のあり方について検討を行う方針とする。不法投棄対策としては、自治会や警察等の関連機関と連携し、パトロール等を継続して行う方針とする。

### 3 在宅医療系廃棄物対策等

在宅医療の普及に伴い、在宅医療廃棄物が一般家庭から排出されるようになったことから、町として、在宅医療廃棄物の処理の在り方については、今後も引き続き検討していく必要がある。

また、新型コロナウイルスなど感染症対策として、ウイルス等が付着している可能性がある廃棄物の排出方法についても周知していく必要がある。

### 4 災害廃棄物対策

大規模な震災や水害等の災害時においては、大量のがれきや家屋の廃材等の廃棄物や、道路網の損壊等によって収集が困難となる家庭ごみ、避難所から排出されるごみ等に対応していく必要がある。

具体的な対応方策については、「みやき町災害廃棄物処理計画（平成31年3月）」において示すものとする。

なお、今後、被害想定の見直しや、国が示す指針の改定などがあった場合には、適宜見直しを行う。

## ごみ排出量等の推計

みやき町



## ごみ排出量の推計方法

推計方法は図1に示すとおりです。人口は人口ビジョンを採用します。

ごみ量は過去の実績を基に、基本的に家庭系ごみ原単位（1人1日当たり排出量）及び事業系ごみ量（1日当たり排出量）を推計します。

家庭系ごみ量は、家庭系ごみ原単位に人口を乗じて算出し、この家庭系ごみ量と事業系ごみ量との和をごみ発生量とします。

さらに、ごみの発生・排出抑制等による減量目標、資源化目標を設定し、ごみ発生量から目標である減量化量・資源化量を加味してごみ排出量とします。

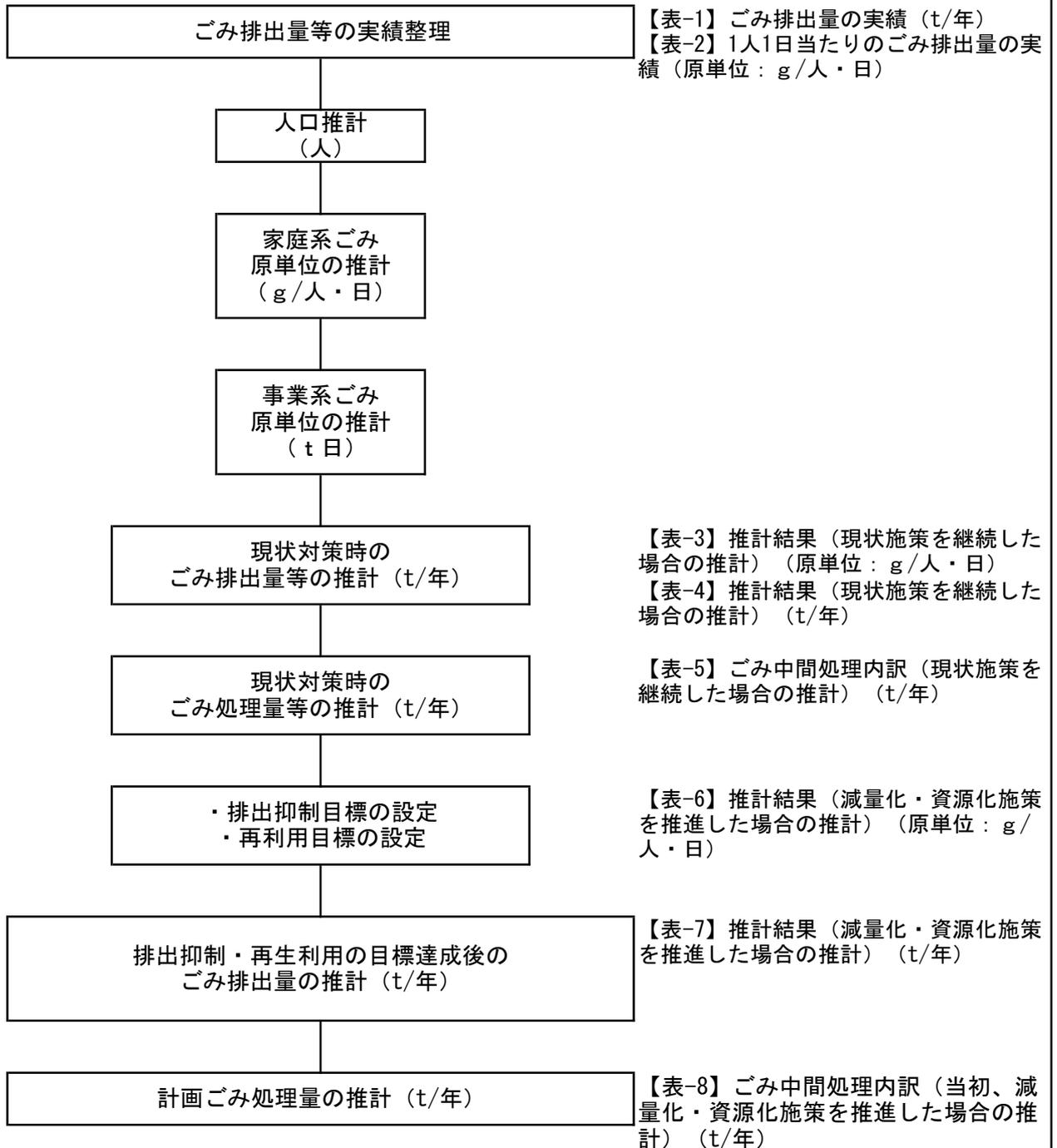


図 1



## 推計方法

ごみ量について、過去の実績値の推移から時系列トレンド推計方式により推計を行います。

時系列トレンド推計方法とは、時間の計画に従って変化する現象を、一定の規則性を持つ傾向線として近似的に一次関数、指数関数等によってモデル化し、これを延長することにより、将来の一定期間内における変化の状態を数量的に把握する予測手法であり、最もよく用いられています。

推計式は、「ごみ処理施設構造指針解説」に基づき図2に示す5式を用います。5式の推計結果より、これまでのごみ量の推移や今後の情勢等から、採用式を選ぶものとします。

推計方法	考え方	
推計式より選択 (5方法) { 一次 指数 べき乗 対数 二次 }	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5つのトレンド法の中から、もっとも実績値の傾向を反映していると判断できる推計式を採用する。              一次: <math>y = a \cdot x + b</math>              指数: <math>y = a \cdot \exp(b \cdot x)</math>              べき乗: <math>y = a \cdot X^b</math>              対数: <math>y = a \cdot \ln(x) + b</math>              二次: <math>y = a \cdot X^2 + b \cdot x + c</math>              x: 年度、y: 指定年度の推計値、a、b、c: 係数</li> <li>○ 推計式は、推計値が最新年の実績と整合するよう補正する。</li> </ul>	
推計結果の平均	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実績値の傾向を反映していると判断できる推計式が複数ある場合、それぞれの推計結果を平均した値を採用する。その際、実績値の傾向とかけ離れた推計式は除外する。</li> <li>○ 推計式は、推計値が最新年の実績と整合するよう補正する。</li> </ul>	
実績の平均	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多少の変動はあるもののおおむね横ばい傾向で推移しており、推計結果の平均等では実績値を反映して推計できない場合に採用する。</li> </ul>	
指定年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 過去の実績がない、あるいは将来的な推計において参考とならない場合に採用する。</li> <li>○ 参考となる実績が無い場合は、類似事例を参考に値を設定する。</li> </ul>	

図 2



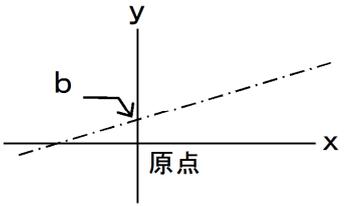
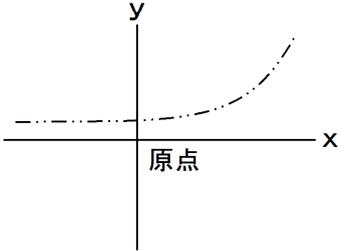
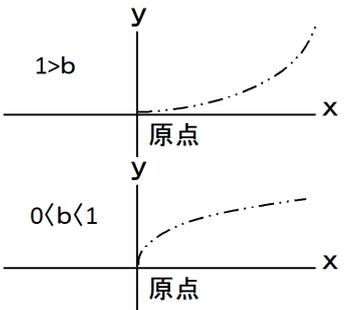
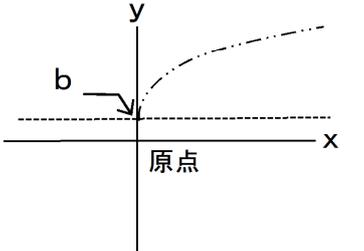
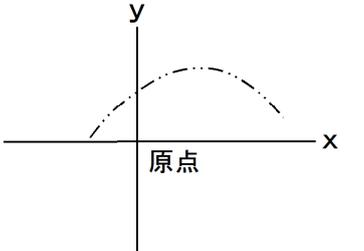
推計式	特徴・基本式	
① 一次	<p>○ 直線的に増加(減少)する場合に採用する。</p> <p>(基本式)</p> $y = a \cdot x + b$ <p>y: 指定年度の推計値、x: 指定年度 a: 直線の傾き、b: 切片(x=0の値)</p>	
② 指数	<p>○ 過去の実績が等比級数的に増加(減少)する場合に採用する。</p> <p>(基本式)</p> $y = a \cdot \exp(b \cdot x) \text{ 又は } a \cdot e^{(b \cdot x)}$ <p>Y: 指定年度の推計値、x: 指定年度 exp(*): e(自然対数の底数)の*乗 a: 曲線の位置を決める値 b: 曲線の立ち上がる傾斜の大きさ</p>	
③ べき乗	<p>○ 過去の実績が直線的ではなく、増加(減少)傾向が急または緩やかになっていくことが予想される場合に採用する。</p> <p>(基本式)</p> $y = a \cdot x^b$ <p>y: 指定年度の推計値、x: 指定年度 a: 曲線が立ち上がる傾向の大きさ b: 曲線の凹凸</p>	
④ 対数	<p>○ 過去の実績が直線的ではなく、増加(減少)傾向が緩やかになることが予測される場合に採用する。</p> <p>(基本式)</p> $y = a \cdot \ln(X) + b$ <p>y: 指定年度の推計値、x: 指定年度 a: 曲線が立ち上がる傾向の大きさ b: 式の始まり</p>	
⑤ 二次	<p>○ 実績が緩やかな曲線を描く場合は、ある程度正確な傾向を示すが、増減を繰り返す場合や、増加の後に減少する場合などは極端な傾向を示す。</p> <p>(基本式)</p> $y = a \cdot X^2 + b \cdot X + c$ <p>y: 指定年度の推計値、x: 指定年度 abc: 最小二乗法で求められる定数</p>	

図 3



## 1. ごみ排出量の実績

表-1 みやき町ごみ排出量の実績

項目	記号	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	備考
行政区域内人口	a	人	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	みやき町実績 (3月末)
家庭系ごみ	b	t/年	6,046	5,886	5,922	5,956	6,016	5,868	5,931	5,872	5,749	5,903	5,892	c+f+m+ak+ay
可燃ごみ	c	t/年	4,253	4,079	4,095	4,128	4,186	4,083	4,097	4,058	4,003	4,048	4,148	組合データ
収集ごみ量	d	t/年	4,253	4,079	4,095	4,128	4,186	4,083	4,097	4,058	4,003	4,048	4,148	実態調査票データ
直接搬入ごみ	e	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	実態調査票データ
不燃ごみ・粗大ごみ	f	t/年	817	837	881	970	1,056	1,067	1,141	1,160	1,103	1,269	1,225	g+j
不燃ごみ	g	t/年	123	119	108	97	92	80	83	76	71	71	71	組合データ
収集ごみ量	h	t/年	123	119	108	97	92	80	83	76	71	71	71	実態調査票データ
直接搬入ごみ	i	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	実態調査票データ
粗大ごみ	j	t/年	694	718	773	873	964	987	1,058	1,084	1,032	1,198	1,154	組合データ
収集ごみ量	k	t/年	28	24	21	19	18	15	13	12	10	11	13	実態調査票データ
直接搬入ごみ	l	t/年	666	694	752	854	946	972	1,045	1,072	1,022	1,187	1,141	実態調査票データ
資源化物	m	t/年	704	690	669	598	528	487	475	457	477	435	389	n+r+v+aa+ab+af+ag+aj
紙類	n	t/年	379	362	347	282	231	189	199	194	166	166	141	o+p+q
段ボール	o	t/年	54	52	55	45	36	32	30	31	28	33	26	組合データ
新聞・チラシ	p	t/年	219	215	201	160	131	103	108	103	85	82	69	組合データ
雑誌・その他	q	t/年	106	95	91	77	64	54	61	60	53	51	46	組合データ
缶類	r	t/年	33	32	29	30	33	32	23	24	22	24	23	s+t
スチール缶	s	t/年	23	22	21	22	23	22	14	15	12	13	12	組合データ
アルミ缶	t	t/年	10	10	8	8	10	10	9	9	10	11	11	組合データ
スプレー缶	u	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
びん類	v	t/年	146	159	144	139	130	124	93	99	92	95	97	w+x+y+z
生きビン	w	t/年	5	4	5	5	7	8	7	8	7	8	8	組合データ
無色ビン	x	t/年	55	60	63	59	54	51	40	40	39	39	38	組合データ
茶色ビン	y	t/年	69	76	61	59	54	48	32	37	32	34	35	組合データ
その他色ビン	z	t/年	17	19	15	16	15	17	14	14	14	14	16	組合データ
ペットボトル	aa	t/年	31	29	27	31	29	34	32	33	34	32	29	組合データ
プラスチック類	ab	t/年	48	44	41	42	42	50	40	46	46	47	46	ac+ad
容器包装プラスチック	ac	t/年	43	39	37	38	38	45	40	44	45	46	45	組合データ
白色トレイ	ad	t/年	5	5	4	4	4	5	0	2	1	1	1	組合データ
古布	ae	t/年	46	48	58	44	37	32	37	34	31	26	25	組合データ
食用油	af	t/年	4	4	5	6	5	5	5	4	4	3	4	みやき町データ
廃乾電池等	ag	t/年	8	9	14	15	13	9	13	12	12	12	12	ah+ai
蛍光管	ah	t/年	6	7	11	11	10	2	3	3	3	3	3	組合データ
乾電池	ai	t/年	2	2	3	4	3	3	10	9	9	9	9	組合データ
その他	aj	t/年	9	3	4	9	8	12	33	11	70	30	12	補正
集団回収量	ak	t/年	272	280	277	260	246	231	218	197	166	151	130	
紙類	al	t/年	242	252	254	239	226	212	200	181	148	135	114	-
新聞紙	am	t/年	171	170	155	142	141	130	125	106	87	79	59	-
雑誌	an	t/年	46	50	48	47	43	42	38	41	32	28	25	-
ダンボール	ao	t/年	25	32	51	50	42	40	37	34	29	28	30	-
紙パック	ap	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
金属類	aq	t/年	22	20	16	14	13	12	12	11	12	12	12	-
スチール缶	ar	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-
アルミ缶	as	t/年	22	20	16	14	13	12	12	11	12	11	11	-
生きビン	at	t/年	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	-
古繊維	au	t/年	6	6	5	6	5	5	5	4	5	3	3	-
ペットボトル	av	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
プラスチック類	aw	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	ax	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
事業系ごみ	ay	t/年	956	970	1,084	1,155	1,188	1,217	1,268	1,312	1,372	1,384	1,376	実態調査票データ
可燃ごみ	az	t/年	862	899	981	1,078	1,104	1,127	1,144	1,198	1,261	1,328	1,287	実態調査票データ
不燃ごみ・粗大ごみ	ba	t/年	94	71	103	77	84	90	124	114	111	56	89	実態調査票データ
資源ごみ	bb	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	実態調査票データ
ごみ総排出量	bc	t/年	7,002	6,856	7,006	7,111	7,204	7,085	7,199	7,184	7,121	7,287	7,268	b+ay
可燃ごみ	bd	t/年	5,115	4,978	5,076	5,206	5,290	5,210	5,241	5,256	5,264	5,376	5,435	c+az
不燃ごみ・粗大ごみ	be	t/年	911	908	984	1,047	1,140	1,157	1,265	1,274	1,214	1,325	1,314	f+ba
資源ごみ	bf	t/年	704	690	669	598	528	487	475	457	477	435	389	m+bb
集団回収	bg	t/年	272	280	277	260	246	231	218	197	166	151	130	ak



表-2 みやき町1人1日当たりのごみ排出量の実績

項目	記号	単位	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	備考
行政区域内人口	a	人	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	みやき町実績(3月末)
家庭系ごみ	b	g/人・日	624.5	613.5	622.6	630.3	641.0	627.7	636.5	630.9	620.4	631.8	629.7	c+f+m+ak
可燃ごみ	c	g/人・日	439.3	425.1	430.5	436.8	446.0	437.0	439.7	436.0	432.0	433.3	443.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
収集ごみ量	d	g/人・日	439.3	425.1	430.5	436.8	446.0	437.0	439.7	436.0	432.0	433.3	443.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
直接搬入ごみ	e	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
不燃ごみ・粗大ごみ	f	g/人・日	84.4	87.2	92.6	102.6	112.5	114.2	122.4	124.6	119.0	135.8	130.9	g+j
不燃ごみ	g	g/人・日	12.7	12.4	11.4	10.3	9.8	8.6	8.9	8.2	7.7	7.6	7.6	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
収集ごみ量	h	g/人・日	12.7	12.4	11.4	10.3	9.8	8.6	8.9	8.2	7.7	7.6	7.6	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
直接搬入ごみ	i	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
粗大ごみ	j	g/人・日	71.7	74.8	81.3	92.4	102.7	105.6	113.5	116.5	111.4	128.2	123.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
収集ごみ量	k	g/人・日	2.9	2.5	2.2	2.0	1.9	1.6	1.4	1.3	1.1	1.2	1.4	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
直接搬入ごみ	l	g/人・日	68.8	72.3	79.1	90.4	100.8	104.0	112.1	115.2	110.3	127.1	121.9	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
資源化物	m	g/人・日	72.7	71.9	70.3	63.3	56.3	51.7	51.0	49.1	51.5	46.6	41.6	n+r+v+aa+ab+ae+af+ag+aj
紙類	n	g/人・日	39.1	37.7	36.5	29.8	24.6	20.2	21.4	20.8	17.9	17.8	15.1	o+p+q
段ボール	o	g/人・日	5.6	5.4	5.8	4.8	3.8	3.4	3.2	3.3	3.0	3.5	2.8	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
新聞・チラシ	p	g/人・日	22.6	22.4	21.1	16.9	14.0	11.0	11.6	11.1	9.2	8.8	7.4	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
雑誌・その他	q	g/人・日	10.9	9.9	9.6	8.1	6.8	5.8	6.5	6.4	5.7	5.5	4.9	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
缶類	r	g/人・日	3.4	3.3	3.0	3.2	3.5	3.4	2.5	2.6	2.4	2.6	2.5	s+t
スチール缶	s	g/人・日	2.4	2.3	2.2	2.3	2.5	2.4	1.5	1.6	1.3	1.4	1.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
アルミ缶	t	g/人・日	1.0	1.0	0.8	0.8	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
スプレー缶	u	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
びん類	v	g/人・日	15.1	16.6	15.1	14.7	13.9	13.3	10.0	10.6	9.9	10.2	10.4	w+x+y+z
生きビン	w	g/人・日	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7	0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
無色ビン	x	g/人・日	5.7	6.3	6.6	6.2	5.8	5.5	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
茶色ビン	y	g/人・日	7.1	7.9	6.4	6.2	5.8	5.1	3.4	4.0	3.5	3.6	3.7	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
その他色ビン	z	g/人・日	1.8	2.0	1.6	1.7	1.6	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
ペットボトル	aa	g/人・日	3	3	3	3	3	4	3	4	4	3	3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
プラスチック類	ab	g/人・日	5.0	4.6	4.3	4.4	4.5	5.4	4.3	4.9	5.0	5.0	4.9	ac+ad
容器包装プラスチック	ac	g/人・日	4.4	4.1	3.9	4.0	4.0	4.8	4.3	4.7	4.9	4.9	4.8	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
白色トレイ	ad	g/人・日	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
古布	ae	g/人・日	4.8	5.0	6.1	4.7	3.9	3.4	4.0	3.7	3.3	2.8	2.7	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
食用品油	af	g/人・日	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
廃乾電池等	ag	g/人・日	0.8	0.9	1.5	1.6	1.4	0.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	ah+ai
蛍光管	ah	g/人・日	0.6	0.7	1.2	1.2	1.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
乾電池	ai	g/人・日	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
その他	aj	g/人・日	0.9	0.3	0.4	1.0	0.9	1.3	3.5	1.2	7.6	3.2	1.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
集団回収量	ak	g/人・日	28.1	29.2	29.1	27.5	26.2	24.8	23.4	21.2	17.9	16.2	13.9	al+ap+aq+at+au+av+aw+ax
紙類	al	g/人・日	25.0	26.3	26.7	25.3	24.1	22.7	21.5	19.4	16.0	14.5	12.2	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
新聞紙	am	g/人・日	17.7	17.7	16.3	15.0	15.0	13.9	13.4	11.4	9.4	8.5	6.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
雑誌	an	g/人・日	4.8	5.2	5.0	5.0	4.6	4.5	4.1	4.4	3.5	3.0	2.7	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
ダンボール	ao	g/人・日	2.6	3.3	5.4	5.3	4.5	4.3	4.0	3.7	3.1	3.0	3.2	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
紙パック	ap	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
金属類	aq	g/人・日	2.3	2.1	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
スチール缶	ar	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
アルミ缶	as	g/人・日	2.3	2.1	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
生きビン	at	g/人・日	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
古繊維	au	g/人・日	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
ペットボトル	av	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
プラスチック類	aw	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
その他	ax	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365÷a×10 <sup>6</sup>
事業系ごみ	ay	t/日	2.6	2.7	3.0	3.2	3.3	3.3	3.5	3.6	3.8	3.8	3.8	az+ba+bb
可燃ごみ	az	t/日	2.4	2.5	2.7	3.0	3.0	3.1	3.1	3.3	3.5	3.6	3.5	実績÷365
不燃ごみ・粗大ごみ	ba	t/日	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	実績÷365
資源ごみ	bb	t/日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	実績÷365

## 採用値の考え方

### 1. 行政区域内人口

行政区域内人口は人口ビジョンを採用します。

採用値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
人口ビジョン	25,117	-	-	-	-	24,729	-	-	-	-	24,229
補完	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229
採用値	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229

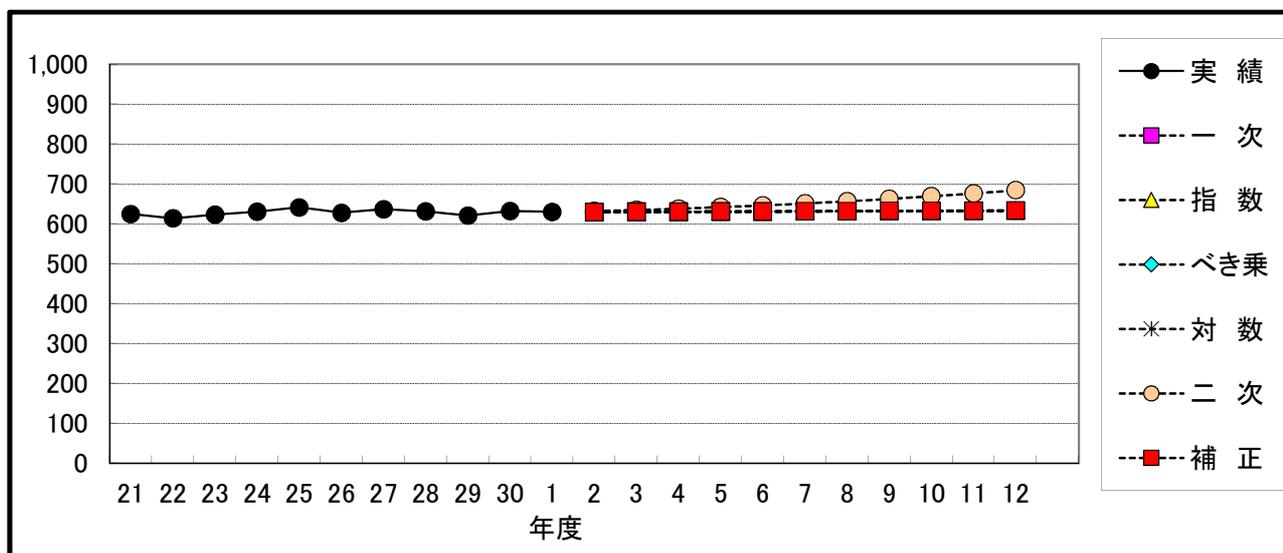
※人口ビジョン：みやき町人口ビジョン令和2年（2020年）の将来推計値パターン2（R7年度24,729人、R12年度24,229人）を採用します。

補完：R3年度～R11年度の年度間の将来人口は直線補完としました。

### 2. 家庭系ごみ（原単位）

実績は、近年横這いを示しています。将来は、変動の最もない「べき乗」の推計を採用します。

推計式	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 一次	630	630	631	631	631	632	632	633	633	633	634
② 指数	630	630	631	631	631	632	632	633	633	633	634
③ べき乗	630	630	630	631	631	631	632	632	632	632	633
④ 対数	630	630	630	631	631	631	632	632	632	632	633
⑤ 二次	632	635	638	642	646	651	657	663	669	677	684
採用値	630	630	630	631	631	631	632	632	632	632	633

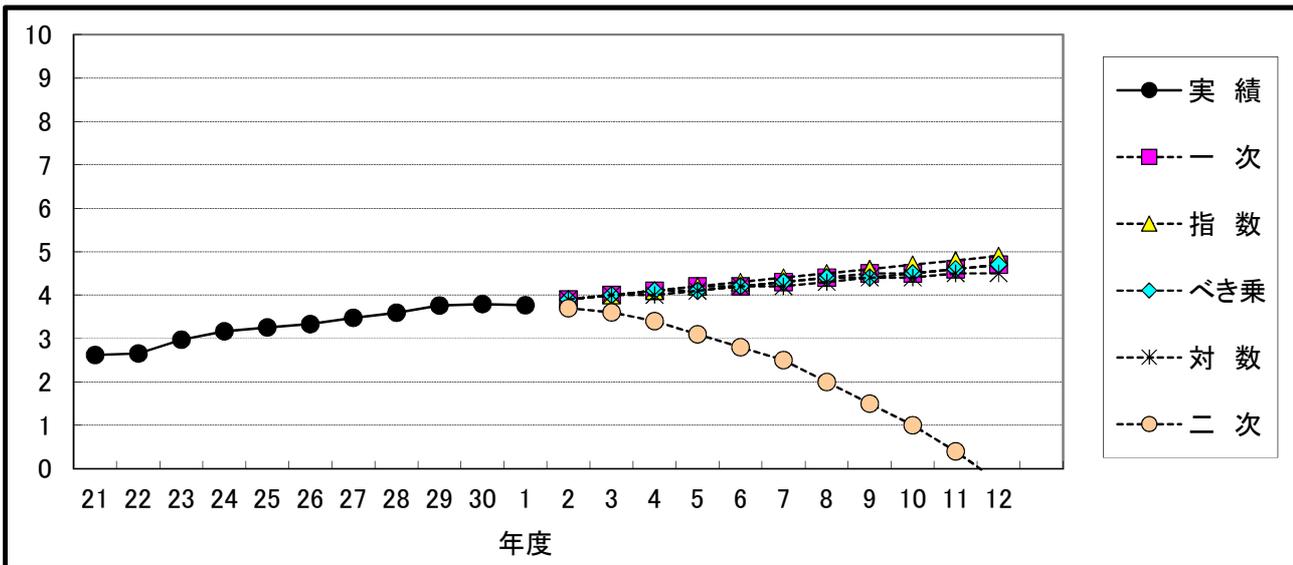




### 3. 事業系ごみ（原単位）

実績は、増加傾向を示しています。将来は、大きく増加し続けるとも考え難く、増加率が小さい「対数」の推計値を採用します。

推計式	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 一次	3.9	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6	4.7
② 指数	3.9	4.0	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9
③ べき乗	3.9	4.0	4.1	4.1	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7
④ 対数	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5
⑤ 二次	3.7	3.6	3.4	3.1	2.8	2.5	2.0	1.5	1.0	0.4	-0.3
採用値	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5



### 4. 上記以外の項目

上記以外の項目は、構成比で計算しました。



## 2. ごみ排出量の推計 (現状を継続した場合)

表-3 みやき町推計結果（現状施策を継続した場合の推計）

1人1日当たりのごみ排出量の推計結果

項目	記号	単位	←実績											推計→						目標年度					備考	構成比
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	中間目標	R2	R3	R4	R5	R6	中間目標	R7	R8	R9	R10		
行政区域内人口	a	人	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	人口ビジョン	-
家庭系ごみ	b	g/人・日	624.5	613.5	622.6	630.3	641.0	627.7	636.5	630.9	620.4	631.8	629.7	629.6	629.9	630.3	630.6	630.9	631.2	631.5	631.8	632.1	632.4	632.4	推計値	-
可燃ごみ	c	g/人・日	439.3	425.1	430.5	436.8	446.0	437.0	439.7	436.0	432.0	433.3	443.3	434.5	434.7	435.0	435.2	435.4	435.6	435.8	436.0	436.3	436.5	436.5	b-f-m-ak	-
収集ごみ量	d	g/人・日	439.3	425.1	430.5	436.8	446.0	437.0	439.7	436.0	432.0	433.3	443.3	434.5	434.7	435.0	435.2	435.4	435.6	435.8	436.0	436.3	436.5	436.5	c-e	-
直接搬入ごみ	e	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
不燃ごみ・粗大ごみ	f	g/人・日	84.4	87.2	92.6	102.6	112.5	114.2	122.4	124.6	119.0	135.8	130.9	130.9	131.0	131.0	131.0	131.1	131.2	131.2	131.3	131.4	131.4	131.4	b×R1構成比	20.8%
不燃ごみ	g	g/人・日	12.7	12.4	11.4	10.3	9.8	8.6	8.9	8.2	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	f×R1構成比	5.8%
収集ごみ量	h	g/人・日	12.7	12.4	11.4	10.3	9.8	8.6	8.9	8.2	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	f×R1構成比	5.8%
直接搬入ごみ	i	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	f×R1構成比	0.0%
粗大ごみ	j	g/人・日	71.7	74.8	81.3	92.4	102.7	105.6	113.5	116.5	111.4	128.2	123.3	123.3	123.4	123.4	123.4	123.5	123.6	123.7	123.7	123.8	123.8	f×R1構成比	94.2%	
収集ごみ量	k	g/人・日	2.9	2.5	2.2	2.0	1.9	1.6	1.4	1.3	1.1	1.2	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	f×R1構成比	1.1%
直接搬入ごみ	l	g/人・日	68.8	72.3	79.1	90.4	100.8	104.0	112.1	115.2	110.3	127.1	121.9	121.9	122.0	122.0	122.1	122.1	122.2	122.2	122.3	122.3	122.4	122.5	f×R1構成比	93.1%
資源化物	m	g/人・日	72.7	71.9	70.3	63.3	56.3	51.7	51.0	49.1	51.5	46.6	41.6	41.6	41.6	41.6	41.7	41.7	41.7	41.7	41.7	41.7	41.8	41.8	b×R1構成比	6.6%
紙類	n	g/人・日	39.1	37.7	36.5	29.8	24.6	20.2	21.4	20.8	17.9	17.8	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	15.1	m×R1構成比	36.2%
段ボール	o	g/人・日	5.6	5.4	5.8	4.8	3.8	3.4	3.2	3.3	3.0	3.5	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	m×R1構成比	6.7%
新聞・チラシ	p	g/人・日	22.6	22.4	21.1	16.9	14.0	11.0	11.6	11.1	9.2	8.8	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	m×R1構成比	17.7%
雑誌・その他	q	g/人・日	10.9	9.9	9.6	8.1	6.8	5.8	6.5	6.4	5.7	5.5	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	m×R1構成比	11.8%
缶類	r	g/人・日	3.4	3.3	3.0	3.2	3.5	3.4	2.5	2.6	2.4	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	m×R1構成比	5.9%
スチール缶	s	g/人・日	2.4	2.3	2.2	2.3	2.5	2.4	1.5	1.6	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	m×R1構成比	3.1%
アルミ缶	t	g/人・日	1.0	1.0	0.8	0.8	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	m×R1構成比	2.8%
スプレー缶	u	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
びん類	v	g/人・日	15.1	16.6	15.1	14.7	13.9	13.3	10.0	10.6	9.9	10.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	m×R1構成比	24.9%
生きビン	w	g/人・日	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7	0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	m×R1構成比	2.1%
無色ビン	x	g/人・日	5.7	6.3	6.6	6.2	5.8	5.5	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	m×R1構成比	9.8%
茶色ビン	y	g/人・日	7.1	7.9	6.4	6.2	5.8	5.1	3.4	4.0	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	m×R1構成比	9.0%
その他色ビン	z	g/人・日	1.8	2.0	1.6	1.7	1.6	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	m×R1構成比	4.1%
ペットボトル	aa	g/人・日	3.2	3.0	2.8	3.3	3.1	3.6	3.4	3.5	3.7	3.4	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	m×R1構成比	7.5%
プラスチック類	ab	g/人・日	5.0	4.6	4.3	4.4	4.5	5.4	4.3	4.9	5.0	5.0	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	m×R1構成比	11.8%
容器包装プラスチック	ac	g/人・日	4.4	4.1	3.9	4.0	4.0	4.8	4.3	4.7	4.9	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	m×R1構成比	11.6%
白色トレイ	ad	g/人・日	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	m×R1構成比	0.3%
古布	ae	g/人・日	4.8	5.0	6.1	4.7	3.9	3.4	4.0	3.7	3.3	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	m×R1構成比	6.4%
食用品油	af	g/人・日	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	m×R1構成比	1.0%
廃乾電池等	ag	g/人・日	0.8	0.9	1.5	1.6	1.4	0.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	m×R1構成比	3.1%
蛍光管	ah	g/人・日	0.6	0.7	1.2	1.2	1.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	m×R1構成比	0.8%
乾電池	ai	g/人・日	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	m×R1構成比	2.3%
その他	aj	g/人・日	0.9	0.3	0.4	1.0	0.9	1.3	3.5	1.2	7.6	3.2	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	m×R1構成比	3.1%
集団回収量	ak	g/人・日	28.1	29.2	29.1	27.5	26.2	24.8	23.4	21.2	17.9	16.2	13.9	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7	22.7	22.8	22.8	22.8	実績横ばい	3.6%
紙類	al	g/人・日	25.0	26.3	26.7	25.3	24.1	22.7	21.5	19.4	16.0	14.5	12.2	19.9	19.9	19.9	19.9	19.9	19.9	19.9	19.9	20.0	20.0	20.0	ak×R1構成比	87.7%
新聞紙	am	g/人・日	17.7	17.7	16.3	15.0	15.0	13.9	13.4	11.4	9.4	8.5	6.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	ak×R1構成比	45.4%
雑誌	an	g/人・日	4.8	5.2	5.0	5.0	4.6	4.5	4.1	4.4	3.5	3.0	2.7	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	ak×R1構成比	19.2%
ダンボール	ao	g/人・日	2.6	3.3	5.4	5.3	4.5	4.3	4.0	3.7	3.1	3.0	3.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	5.3	ak×R1構成比	23.1%	
紙パック	ap	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ak×R1構成比	0.0%
金属類	aq	g/人・日	2.3	2.1	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.3	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	ak×R1構成比	9.2%
スチール缶	ar	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	ak×R1構成比	0.8%
アルミ缶	as	g/人・日	2.3	2.1	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	ak×R1構成比	8.5%
生きビン	at	g/人・日	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	ak×R1構成比	0.8%
古繊維	au	g/人・日	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	ak×R1構成比	2.3%
ペットボトル	av	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ak×R1構成比	0.0%
プラスチック類	aw	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ak×R1構成比	0.0%
その他	ax	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ak×R1構成比	0.0%
事業系ごみ	ay	t/日																								



表-4 みやき町推計結果（現状施策を継続した場合の推計）

項目	記号	単位	実績											推計						中間目標					目標年度					備考
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12						
行政区内人口	a	人	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	人口ピジョン					
家庭系ごみ	b	t/年	6,046	5,886	5,922	5,956	6,016	5,868	5,931	5,872	5,749	5,903	5,892	5,772	5,757	5,743	5,728	5,712	5,697	5,677	5,657	5,636	5,616	5,594	(表-3:b) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
可燃ごみ	c	t/年	4,253	4,079	4,095	4,128	4,186	4,083	4,097	4,058	4,003	4,048	4,148	3,983	3,973	3,964	3,953	3,943	3,932	3,918	3,904	3,890	3,876	3,861	(表-3:c) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
収集ごみ量	d	t/年	4,253	4,079	4,095	4,128	4,186	4,083	4,097	4,058	4,003	4,048	4,148	3,983	3,973	3,964	3,953	3,943	3,932	3,918	3,904	3,890	3,876	3,861	(表-3:d) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
直接搬入ごみ	e	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:e) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
不燃ごみ・粗大ごみ	f	t/年	817	837	881	970	1,056	1,067	1,141	1,160	1,103	1,269	1,225	1,200	1,197	1,193	1,190	1,187	1,184	1,180	1,175	1,171	1,167	1,163	(表-3:f) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
不燃ごみ	g	t/年	123	119	108	97	92	80	83	76	71	71	71	70	69	69	69	69	69	68	68	68	68	67	(表-3:g) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
収集ごみ量	h	t/年	123	119	108	97	92	80	83	76	71	71	71	70	69	69	69	69	69	68	68	68	68	67	(表-3:h) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
直接搬入ごみ	i	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:i) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
粗大ごみ	j	t/年	694	718	773	873	964	987	1,058	1,084	1,032	1,198	1,154	1,130	1,128	1,124	1,121	1,118	1,115	1,111	1,107	1,103	1,099	1,095	(表-3:j) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
収集ごみ量	k	t/年	28	24	21	19	18	15	13	12	10	11	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	(表-3:k) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
直接搬入ごみ	l	t/年	666	694	752	854	946	972	1,045	1,072	1,022	1,187	1,141	1,118	1,115	1,111	1,109	1,106	1,103	1,099	1,095	1,091	1,087	1,083	(表-3:l) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
資源化物	m	t/年	704	690	669	598	528	487	475	457	477	435	389	381	380	379	378	377	376	375	373	372	371	369	(表-3:m) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
紙類	n	t/年	379	362	347	282	231	189	199	194	166	166	141	138	138	137	137	137	136	136	135	135	134	134	(表-3:n) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
段ボール	o	t/年	54	52	55	45	36	32	30	31	28	33	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	(表-3:o) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
新聞・チラシ	p	t/年	219	215	201	160	131	103	108	103	85	82	69	68	67	67	67	67	67	66	66	66	66	66	(表-3:p) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
雑誌・その他	q	t/年	106	95	91	77	64	54	61	60	53	51	46	45	45	45	45	45	44	44	44	44	44	44	(表-3:q) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
缶類	r	t/年	33	32	29	30	33	32	23	24	22	24	23	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	(表-3:r) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
スチール缶	s	t/年	23	22	21	22	23	22	14	15	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	(表-3:s) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
アルミ缶	t	t/年	10	10	8	8	10	10	9	9	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	(表-3:t) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
スプレー缶	u	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
びん類	v	t/年	146	159	144	139	130	124	93	99	92	95	97	95	95	95	94	94	94	93	93	93	92	92	(表-3:v) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
生きビン	w	t/年	5	4	5	5	7	8	7	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	(表-3:w) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
無色ビン	x	t/年	55	60	63	59	54	51	40	40	39	39	38	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36	36	(表-3:x) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
茶色ビン	y	t/年	69	76	61	59	54	48	32	37	32	34	35	34	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33	(表-3:y) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
その他ビン	z	t/年	17	19	15	16	15	17	14	14	14	14	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	(表-3:z) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
ペットボトル	aa	t/年	31	29	27	31	29	34	32	33	34	32	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	(表-3:aa) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
プラスチック類	ab	t/年	48	44	41	42	42	50	40	46	46	47	46	45	45	45	45	45	44	44	44	44	44	44	(表-3:ab) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
容器包装プラスチック	ac	t/年	43	39	37	38	38	45	40	44	45	46	45	44	44	44	44	44	44	43	43	43	43	43	(表-3:ac) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
白色トレイ	ad	t/年	5	5	4	4	4	5	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(表-3:ad) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
古布	ae	t/年	46	48	58	44	37	32	37	34	31	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	(表-3:ae) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
食用油	af	t/年	4	4	5	6	5	5	5	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	(表-3:af) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
廃乾電池等	ag	t/年	8	9	14	15	13	9	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	(表-3:ag) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
蛍光灯	ah	t/年	6	7	11	11	10	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(表-3:ah) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
乾電池	ai	t/年	2	2	3	4	3	3	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	(表-3:ai) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
その他	aj	t/年	9	3	4	9	8	12	33	11	70	30	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	(表-3:aj) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
集団回収量	ak	t/年	272	280	277	260	246	231	218	197	166	151	130	208	207	207	206	206	205	204	204	203	202	201	(表-3:ak) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
紙類	al	t/年	242	252	254	239	226	212	200	181	148	135	114	182	182	181	181	180	180	179	179	178	177	177	(表-3:al) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
新聞紙	am	t/年	171	170	155	142	141	130	125	106	87	79	59	94	94	94	94	93	93	93	92	92	92	91	(表-3:am) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
雑誌	an	t/年	46	50	48	47	43	42	38	41	32	28	25	40	40	40	40	40	39	39	39	39	39	39	(表-3:an) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
ダンボール	ao	t/年	25	32	51	50	42	40	37	34	29	28	30	48	48	48	48	47	47	47	47	47	47	46	(表-3:ao) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
紙パック	ap	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:ap) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
金属類	aq	t/年	22	20	16	14	13	12	12	11	12	12	12	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	(表-3:aq) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
スチール缶	ar	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(表-3:ar) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
アルミ缶	as	t/年	22	20	16	14	13	12	12	11	12	11	11	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	(表-3:as) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
生きビン	at	t/年	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(表-3:at) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
古繊維	au	t/年	6	6	5	6	5	5	5	4	5	3	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	(表-3:au) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
ペットボトル	av	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:av) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
プラスチック類	aw	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:aw) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
その他	ax	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:ax) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>					
事業系ごみ	ay	t/年	956	970	1,084	1,155	1,188	1,217	1,268	1,312	1,372	1,384	1,376	1,424	1,460	1,460	1,497	1,533	1,533	1,570	1,606	1,606	1,643	1,643	(表-3:ay) × 365					
可燃ごみ	az	t/年	862	899	981	1,078	1,104	1,127	1,144	1,198	1,261	1,328	1,287	1,331	1,366	1,366	1,400	1,434	1,434	1,468	1,502	1,502	1,536	1,536	(表-3:az) × 365					
不燃ごみ・粗大ごみ	ba	t/年	94	71	103	77	84	90	124	114	111	56	89	92	94	94	97	99	99	102	104	104	106	106	(表-3:ba) × 365					
資源ごみ	bb	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-3:bb) × 365					
ごみ総排出量	bc	t/年	7,002	6,856	7,006	7,111	7,204	7,085	7,199	7,184	7,121	7,287	7,268	7,195	7,217	7,203	7,224	7,245	7,230</											





**3. ごみ排出量の推計  
(減量化・資源化施策を行う場合)**



## 施策の考え方

### 1. 減量化に関する目標値の設定

#### H28年度施策 R2年度施策

項目	目標値の設定			減量化内容
家庭系可燃ごみ	水切り効果	10%	10%	管内で排出されたごみのうち約19.7% (H26) → 11.7% (R1) が厨芥類であるため、生ごみの水切りを徹底することによりごみの減食品ロス等を少なくすることや、生ごみの堆肥化等を行い、ごみの減量化を図る。
	協力度	50%	80%	
	努力目標	0.99%	0.94%	
	食品ロス	40g/人日	—	
	努力目標	5.0%	5.0%	
家庭系不燃ごみ・粗大ごみ 粗大ごみ	努力目標	10%	5%	目標を平成27～28年度の実績レベルの排出量に設定した。

項目	目標値の設定			減量化内容
事業系ごみ	努力目標	15%	15%	目標を令和元年度実績レベルの排出量に設定した。

### 2. 資源化に関する目標値の設定

#### H28年度施策 R2年度施策

項目	目標値の設定			資源化内容
資源ごみ (段ボール)	適正分別	10%	16%	管内で排出された燃えるごみのうち約3.9% が紙類であるため、適正分別 (16%) を徹底することにより資源化を図る。
	努力目標	0.40%	0.58%	

項目	目標値の設定			資源化内容
資源ごみ (新聞・チラシ)	適正分別	10%	16%	管内で排出された燃えるごみのうち約9.0% が紙類であるため、適正分別 (16%) を徹底することにより資源化を図る。
	努力目標	0.9%	1.4%	

項目	目標値の設定			資源化内容
資源ごみ (雑誌・その他)	適正分別	10%	16%	管内で排出された燃えるごみのうち約5.3% が紙類であるため、適正分別 (16%) を徹底することにより資源化を図る。
	努力目標	0.50%	0.85%	

項目	目標値の設定			資源化内容
資源ごみ (ペットボトル)	努力目標	40%	55%	適正分別 (55%相当) を徹底することにより資源化を図る。

項目	目標値の設定			資源化内容
資源ごみ (容器包装プラスチック)	努力目標	20%	20%	適正分別 (20%相当) を徹底することにより資源化を図る。

項目	目標値の設定			資源化内容
資源ごみ (白色トレイ)	努力目標	30%	35%	適正分別 (35%相当) を徹底することにより資源化を図る。

表-6 みやき町推計結果（減量化・資源化施策を推進した場合の推計）

1人1日当たりのごみ排出量の推計結果

項目	記号	単位	実績													推計												備考
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	中間目標	R2	R3	R4	R5	R6	中間目標	R7	R8	R9	R10	R11	目標年度	R12	
行政区内人口	a	人	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	人口ビジョン			
家庭系ごみ	b	g/人・日	624.5	613.5	622.6	630.3	641.0	627.7	636.5	630.9	620.4	631.8	629.7	628.9	628.0	627.3	626.4	625.6	624.7	623.8	623.0	622.2	621.3	620.3	c+k+t+bd			
可燃ごみ	c	g/人・日	439.3	425.1	430.5	436.8	446.0	437.0	439.7	436.0	432.0	433.3	443.3	428.6	427.8	426.6	425.2	423.8	422.4	421.0	419.6	418.2	416.8	415.3	d+j			
収集ごみ量	d	g/人・日	439.3	425.1	430.5	436.8	446.0	437.0	439.7	436.0	432.0	433.3	443.3	428.6	427.8	426.6	425.2	423.8	422.4	421.0	419.6	418.2	416.8	415.3	(表-3:c)-e-f-h			
適正分別による減量化	e	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▽5.2	▽5.6	▽6.7	▽7.7	▽8.8	▽9.9	▽10.9	▽12.0	▽13.1	▽14.1	▽15.2	x+z+ac+ao+at+aw			
水切り施策により減量化分	f	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▽0.0	▽0.4	▽0.8	▽1.3	▽1.7	▽2.1	▽2.5	▽2.9	▽3.3	▽3.7	▽4.1	(表-3:c)×g			
減量化目標	g	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01%	0.10%	0.20%	0.29%	0.38%	0.47%	0.57%	0.66%	0.75%	0.84%	0.94%	厨芥11.7%×水切り10%×協力50%→80%			
生ごみの減量化分	h	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▽0.7	▽0.8	▽0.9	▽1.1	▽1.2	▽1.3	▽1.5	▽1.6	▽1.7	▽1.9	▽2.0	食品ロス40g/人・日			
減量化目標	i	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7%	2.0%	2.3%	2.7%	3.0%	3.3%	3.7%	4.0%	4.3%	4.7%	5.0%	食品ロスの削減目標			
直接搬入ごみ	j	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
不燃ごみ・粗大ごみ	k	g/人・日	84.4	87.2	92.6	102.6	112.5	114.2	122.4	124.6	119.0	135.8	130.9	130.9	130.3	129.7	129.2	128.6	128.1	127.5	127.0	126.4	125.8	125.3	l+o			
不燃ごみ	l	g/人・日	12.7	12.4	11.4	10.3	9.8	8.6	8.9	8.2	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	m+n			
収集ごみ量	m	g/人・日	12.7	12.4	11.4	10.3	9.8	8.6	8.9	8.2	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	表-3:h			
直接搬入ごみ	n	g/人・日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	表-3:i			
粗大ごみ	o	g/人・日	71.7	74.8	81.3	92.4	102.7	105.6	113.5	116.5	111.4	128.2	123.3	123.3	122.8	122.1	121.6	121.0	120.5	119.9	119.4	118.8	118.2	117.7	表-3:j)-p			
減量化分	p	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▽0.0	▽0.6	▽1.2	▽1.9	▽2.5	▽3.1	▽3.7	▽4.3	▽4.9	▽5.6	▽6.2	(表-3:j)×q			
減量化目標	q	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	4.5%	5.0%	努力目標:10%			
収集ごみ量	r	g/人・日	2.9	2.5	2.2	2.0	1.9	1.6	1.4	1.3	1.1	1.2	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	表-3:k			
直接搬入ごみ	s	g/人・日	68.8	72.3	79.1	90.4	100.8	104.0	112.1	115.2	110.3	127.1	121.9	121.9	122.0	122.0	122.1	122.1	122.2	122.2	122.3	122.3	122.4	122.5	表-3:l			
資源化物	t	g/人・日	72.7	71.9	70.3	63.3	56.3	51.7	51.0	49.1	51.5	46.6	41.6	46.7	47.2	48.3	49.4	50.4	51.5	52.6	53.7	54.8	55.9	57.0	u+ae+ai+an+aq+ax+ay+az+bc			
紙類	u	g/人・日	39.1	37.7	36.5	29.8	24.6	20.2	21.4	20.8	17.9	17.8	15.1	17.7	18.7	19.7	20.7	21.7	22.7	23.6	24.6	25.6	26.6	27.6	v+y+ab			
段ボール	v	g/人・日	5.6	5.4	5.8	4.8	3.8	3.4	3.2	3.3	3.0	3.5	2.8	3.2	3.4	3.6	3.8	4.0	4.3	4.5	4.7	4.9	5.1	5.3	(表-3:o)+x			
目標回収率	w	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.6%	可燃中3.9%×適正分別10%→16%			
追加原単位	x	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+0.4	+0.6	+0.8	+1.1	+1.3	+1.5	+1.7	+1.9	+2.1	+2.3	+2.5	(表-3:c)×w			
新聞・チラシ	y	g/人・日	22.6	22.4	21.1	16.9	14.0	11.0	11.6	11.1	9.2	8.8	7.4	8.7	9.2	9.7	10.2	10.7	11.2	11.7	12.2	12.7	13.2	13.7	(表-3:p)+aa			
目標回収率	z	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	0.4%	0.5%	0.6%	0.8%	0.9%	1.0%	1.1%	1.2%	1.3%	1.4%	可燃中9.0%×適正分別10%→16%			
追加原単位	aa	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+1.3	+1.8	+2.3	+2.8	+3.3	+3.8	+4.3	+4.8	+5.3	+5.8	+6.3	(表-3:c)×z			
雑誌・その他	ab	g/人・日	10.9	9.9	9.6	8.1	6.8	5.8	6.5	6.4	5.7	5.5	4.9	5.8	6.1	6.4	6.6	6.9	7.2	7.5	7.8	8.1	8.4	8.6	(表-3:q)+ad			
目標回収率	ac	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	可燃中5.3%×適正分別10%→16%			
追加原単位	ad	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+0.9	+1.2	+1.4	+1.7	+2.0	+2.3	+2.6	+2.9	+3.1	+3.4	+3.7	(表-3:c)×ac			
缶類	ae	g/人・日	3.4	3.3	3.0	3.2	3.5	3.4	2.5	2.6	2.4	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	表-3:r			
スチール缶	af	g/人・日	2.4	2.3	2.2	2.3	2.5	2.4	1.5	1.6	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	表-3:s			
アルミ缶	ag	g/人・日	1.0	1.0	0.8	0.8	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	表-3:t			
スプレー缶	ah	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	表-3:u			
びん類	ai	g/人・日	15.1	16.6	15.1	14.7	13.9	13.3	10.0	10.6	9.9	10.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	表-3:v			
生きビン	aj	g/人・日	0.5	0.4	0.5	0.5	0.7	0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	表-3:w			
無色ビン	ak	g/人・日	5.7	6.3	6.6	6.2	5.8	5.5	4.3	4.3	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	表-3:x			
茶色ビン	al	g/人・日	7.1	7.9	6.4	6.2	5.8	5.1	3.4	4.0	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	表-3:y			
その他色ビン	am	g/人・日	1.8	2.0	1.6	1.7	1.6	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	表-3:z			
ペットボトル	an	g/人・日	3.2	3.0	2.8	3.3	3.1	3.6	3.4	3.5	3.7	3.4	3.1	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8	4.8	(表-3:aa)+ap			
目標回収率	ao	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38.7%	40.3%	42.0%	43.6%	45.2%	46.9%	48.5%	50.1%	51.7%	53.4%	55.0%	潜在量10.9g/人・日、努力目標40%→55%			
追加原単位	ap	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+1.2	+1.3	+1.3	+1.4	+1.4	+1.5	+1.5	+1.6	+1.6	+1.7	+1.7	(表-3:aa)×ao			
プラスチック類	aq	g/人・日	5.0	4.6	4.3	4.4	4.5	5.4	4.3	4.9	5.0	5.0	4.9	6.3	5.7	5.7	5.7	5.8	5.8	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	ar+av			
容器包装プラスチック	ar	g/人・日	4.4	4.1	3.9	4.0	4.0	4.8	4.3	4.7	4.9	4.9	4.8	5.5	5.5	5.6	5.6	5.6	5.7	5.7	5.7	5.7	5.8	5.8	(表-3:ac)+at			
目標回収率	as	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.5%	15.1%	15.6%	16.2%	16.7%	17.3%	17.8%	18.4%	18.9%	19.5%	20.0%	潜在量49.6g/人・日、努力目標20%			
追加原単位	at	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+0.7	+0.7	+0.8	+0.8	+0.8	+0.8	+0.9	+0.9	+0.9	+0.9	+1.0	(表-3:ac)×as			
白色トレイ	au	g/人・日	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	(表-3:ad)+aw			
目標回収率	av	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.3%	27.2%	28.0%	28.9%	29.8%	30.7%	31.5%	32.4%	33.3%	34.1%	35.0%	潜在量2.9g/人・日、努力目標30%→35%			
追加原単位	aw	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+0.7	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	(表-3:ad)×av			
古布	ax	g/人・日	4.8	5.0	6.1	4.7	3.9	3.4	4.0	3.7	3.3	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	表-3:ae			
食用油	ay	g/人・日	0.4	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	表-3:af			
廃乾電池等	az	g/人・日	0.8	0.9	1.5	1.6	1.4	0.5	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	表-3:ag			
蛍光灯	ba	g/人・日	0.6	0.7	1.2	1.2	1.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	表-3:ah			
乾電池	bb	g/人・日	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	表-3:ai			
その他	bc	g/人・日	0.9	0.3	0.4	1.0	0.9	1.3	3.5	1.2	7.6	3.2	1.3	1.3	1.3													



表-7 みやき町推計結果（減量化・資源化施策を推進した場合の推計）

ごみ排出量の推計結果

項目	記号	単位	←実績												推計←						中間目標				目標年度		備考
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12			
行政区域内人口	a	人	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	人口比	29	
家庭系ごみ	b	t/年	6,046	5,886	5,922	5,956	6,016	5,868	5,931	5,872	5,749	5,903	5,892	5,765	5,740	5,716	5,690	5,664	5,639	5,608	5,578	5,548	5,517	5,486	(表-6:b) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
可燃ごみ	c	t/年	4,253	4,079	4,095	4,128	4,186	4,083	4,097	4,058	4,003	4,048	4,148	3,929	3,910	3,887	3,862	3,837	3,813	3,784	3,756	3,729	3,701	3,673	(表-6:c) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
収集ごみ量	d	t/年	4,253	4,079	4,095	4,128	4,186	4,083	4,097	4,058	4,003	4,048	4,148	3,929	3,910	3,887	3,862	3,837	3,813	3,784	3,756	3,729	3,701	3,673	(表-6:d) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
直接搬入ごみ	e	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-6:j) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
不燃ごみ・粗大ごみ	f	t/年	817	837	881	970	1,056	1,067	1,141	1,160	1,103	1,269	1,225	1,200	1,191	1,182	1,173	1,165	1,156	1,146	1,137	1,127	1,118	1,108	(表-6:k) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
不燃ごみ	g	t/年	123	119	108	97	92	80	83	76	71	71	71	70	69	69	69	69	69	68	68	68	68	67	(表-6:l) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
収集ごみ量	h	t/年	123	119	108	97	92	80	83	76	71	71	71	70	69	69	69	69	69	68	68	68	68	67	(表-6:m) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
直接搬入ごみ	i	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-6:n) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
粗大ごみ	j	t/年	694	718	773	873	964	987	1,058	1,084	1,032	1,198	1,154	1,130	1,122	1,113	1,104	1,096	1,087	1,078	1,069	1,059	1,050	1,041	(表-6:o) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
収集ごみ量	k	t/年	28	24	21	19	18	15	13	12	10	11	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	(表-6:r) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
直接搬入ごみ	l	t/年	666	694	752	854	946	972	1,045	1,072	1,022	1,187	1,141	1,118	1,115	1,111	1,109	1,106	1,103	1,099	1,095	1,091	1,087	1,083	(表-6:s) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
資源化物	m	t/年	704	690	669	598	528	487	475	457	477	435	389	428	431	440	448	457	465	473	481	489	496	504	(表-6:t) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
紙類	n	t/年	379	362	347	282	231	189	199	194	166	166	141	162	171	179	188	196	204	213	221	229	237	244	(表-6:u) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
段ボール	o	t/年	54	52	55	45	36	32	30	31	28	33	26	29	31	33	35	37	38	40	42	44	45	47	(表-6:v) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
新聞・チラシ	p	t/年	219	215	201	160	131	103	108	103	85	82	69	80	84	88	92	97	101	105	109	113	117	121	(表-6:y) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
雑誌・その他	q	t/年	106	95	91	77	64	54	61	60	53	51	46	53	55	58	60	63	65	67	70	72	74	76	(表-6:ab) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
缶類	r	t/年	33	32	29	30	33	32	23	24	22	24	23	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	(表-6:ae) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
スチール缶	s	t/年	23	22	21	22	23	22	14	15	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	(表-6:ag) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
アルミ缶	t	t/年	10	10	8	8	10	10	9	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	(表-6:ah) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
スプレー缶	u	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	
びん類	v	t/年	146	159	144	139	130	124	93	99	92	95	97	95	95	94	94	94	94	93	93	93	92	92	(表-6:ai) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
生きビン	w	t/年	5	4	5	5	7	8	7	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	(表-6:aj) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
無色ビン	x	t/年	55	60	63	59	54	51	40	40	39	39	38	37	37	37	37	37	37	37	36	36	36	36	(表-6:ak) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
茶色ビン	y	t/年	69	76	61	59	54	48	32	37	32	34	35	34	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33	(表-6:al) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
その他色ビン	z	t/年	17	19	15	16	15	17	14	14	14	14	16	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	(表-6:am) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
ペットボトル	aa	t/年	31	29	27	31	29	34	32	33	34	32	29	39	40	40	40	41	41	42	42	42	42	43	(表-6:an) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
プラスチック類	ab	t/年	48	44	41	42	42	50	40	46	46	47	46	57	52	52	52	52	52	52	52	52	53	53	(表-6:aq) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
容器包装プラスチック	ac	t/年	43	39	37	38	38	45	40	44	45	46	45	50	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	(表-6:ar) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
白色トレイ	ad	t/年	5	5	4	4	4	5	0	2	1	1	1	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	(表-6:au) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
古布	ae	t/年	46	48	58	44	37	32	37	34	31	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	(表-6:ax) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
食用品油	af	t/年	4	4	5	6	5	5	5	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	(表-6:ay) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
廃乾電池等	ag	t/年	8	9	14	15	13	9	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	(表-6:az) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
蛍光灯	ah	t/年	6	7	11	11	10	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	(表-6:ba) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
乾電池	ai	t/年	2	2	3	4	3	3	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	(表-6:bb) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
その他	aj	t/年	9	3	4	9	8	12	33	11	70	30	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	(表-6:bc) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
集団回収量	ak	t/年	272	280	277	260	246	231	218	197	166	151	130	208	207	207	206	206	205	204	204	203	202	201	(表-6:bd) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
紙類	al	t/年	242	252	254	239	226	212	200	181	148	135	114	182	182	181	181	180	180	179	179	178	177	177	(表-6:be) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
新聞紙	am	t/年	171	170	155	142	141	130	125	106	87	79	59	94	94	94	94	93	93	93	92	92	92	91	(表-6:bf) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
雑誌	an	t/年	46	50	48	47	43	42	38	41	32	28	25	40	40	40	40	40	39	39	39	39	39	39	(表-6:bg) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
ダンボール	ao	t/年	25	32	51	50	42	40	37	34	29	28	30	48	48	48	48	47	47	47	47	47	47	46	(表-6:bh) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
紙パック	ap	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-6:bi) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
金属類	aq	t/年	22	20	16	14	13	12	12	11	12	12	12	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	(表-6:bj) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
スチール缶	ar	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(表-6:bk) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
アルミ缶	as	t/年	22	20	16	14	13	12	12	11	12	11	11	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	(表-6:bl) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
生きビン	at	t/年	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(表-6:bm) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
古繊維	au	t/年	6	6	5	6	5	5	5	4	5	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	(表-6:bn) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
ペットボトル	av	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-6:bo) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
プラスチック類	aw	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-6:bp) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
その他	ax	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(表-6:bq) × a × 365 ÷ 10 <sup>6</sup>	29	
事業系ごみ	ay	t/年	956	970	1,084	1,155	1,188	1,217	1,268	1,312	1,372	1,384	1,376	1,357	1,378	1,364	1,385	1,404	1,390	1,408	1,426	1,411	1,427	1,412	(表-6:br) × 365	29	
可燃ごみ	az	t/年	862	899	981	1,078	1,104	1,127	1,144	1,198	1,261	1,328	1,287	1,265	1,284	1,270	1,288	1,305	1,291	1,307	1,322	1,307	1,321	1,306	(表-6:bs) × 365	29	
不燃ごみ・粗大ごみ	ba	t/年	94	71	103	77	84	90	124	114	111	56	89														



表-8 みやき町ごみ中間処理内訳（減量化・資源化施策を推進した場合の推計）

項目	R1構成比	記号	単位	←実績					推計→					中間目標					目標年度					備考
				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12					
行政区域内人口		a	人	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	人口ビジョン				
焼却対象ごみ		b	t/年	6,301	6,326	6,272	6,499	6,578	6,341	6,334	6,290	6,274	6,272	6,232	6,201	6,184	6,136	6,118	6,069	c+d、c+dⅡ				
溶融施設（溶融処理量）		c	t/年	5,241	5,256	5,264	5,376	5,435	5,194	5,194	5,157	5,150	-	-	-	-	-	-	-	表-7:bd				
破碎対象可燃残渣分（溶融処理量）		d	t/年	1,060	1,070	1,008	1,123	1,143	1,147	1,140	1,133	1,124	-	-	-	-	-	-	-	-				
処理後 溶融スラグ	8.2%	e	t/年	559	488	486	479	537	518	517	513	512	-	-	-	-	-	-	-	b×構成比				
処理後 メタル	0.4%	f	t/年	24	22	22	30	28	27	27	27	27	-	-	-	-	-	-	-	b×構成比				
処理後 溶融飛灰	4.7%	g	t/年	324	318	354	359	307	266	266	264	264	-	-	-	-	-	-	-	b×構成比				
埋立（溶融飛灰の10%）		h	t/年	0	0	0	0	30	30	30	29	29	-	-	-	-	-	-	-	溶融飛灰の10%				
（将来ストーカ施設）焼却処理量		oⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,142	5,104	5,091	5,078	5,036	5,022	4,979	表-7:bd				
破碎対象可燃残渣分		dⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,130	1,128	1,110	1,106	1,100	1,096	1,090	k				
処理後 焼却主灰（100%資源化見込み）	8.8%	eⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	552	548	546	544	540	538	534	b×8.8%				
処理後 焼却飛灰（100%資源化見込み）	3.0%	fⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	188	187	186	186	184	184	182	b×3.0%				
埋立		hⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	埋立0（残渣は100%資源化組合確認済み）				
破碎対象ごみ		i	t/年	1,265	1,274	1,214	1,325	1,314	1,292	1,285	1,276	1,270	1,264	1,255	1,248	1,241	1,231	1,224	1,214	表-7:be				
不燃ごみ・粗大ごみ		j	t/年	1,265	1,274	1,214	1,325	1,314	1,293	1,286	1,277	1,271	1,265	1,256	1,249	1,242	1,232	1,225	1,215	1,215	k+l+p+t			
可燃残渣	87.0%	k	t/年	1,060	1,070	1,008	1,123	1,143	1,124	1,118	1,110	1,105	1,100	1,092	1,086	1,080	1,071	1,065	1,056	1,056	j×構成比			
資源化物	12.90%	l	t/年	175	203	154	200	169	166	166	165	164	163	162	161	160	159	158	157	157	j×構成比			
破碎鉄	4.00%	m	t/年	43	43	32	39	52	52	51	51	51	51	50	50	50	49	49	49	49	j×構成比			
破碎アルミ	0.50%	n	t/年	6	7	5	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	j×構成比			
その他	8.37%	o	t/年	126	153	117	154	110	108	108	107	106	106	105	104	104	103	102	102	102	j×構成比			
再生工房	0.20%	p	t/年	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	j×構成比			
処理後 可燃残渣		q	t/年	1,060	1,070	1,008	1,123	1,143	1,124	1,118	1,110	1,105	1,100	1,092	1,086	1,080	1,071	1,065	1,056	1,056	k			
処理後 資源化物		r	t/年	175	203	154	200	169	166	166	165	164	163	162	161	160	159	158	157	157	l			
処理後 再生工房		s	t/年	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	j×構成比			
処理後 減少量	0.0%	t	t/年	29	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
資源化対象ごみ		u	t/年	475	457	477	435	389	428	431	440	448	457	465	473	481	489	496	504	504	表-7:bf			
資源ごみ（組合）		v	t/年	475	457	477	435	389	451	453	462	467	487	501	449	454	460	465	470	470	w+x+y+z+aa+ab+ac+ad+ae+af+ag+ah+ai+aj+ak			
紙類	36.5%	w	t/年	199	194	166	166	142	156	157	161	164	167	170	173	176	179	181	184	184	u×構成比			
白色トレイ	0.5%	x	t/年	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	u×構成比			
布類	6.4%	y	t/年	37	34	31	26	25	28	28	28	29	29	30	30	31	31	32	32	32	u×構成比			
廃食品油	1.0%	z	t/年	5	4	4	3	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	u×構成比			
燃料	0.0%	aa	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比			
肥料	0.0%	ab	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比			
廃乾電池	0.5%	ac	t/年	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	u×構成比			
その他	16.5%	ad	t/年	90	35	123	85	64	105	106	110	110	125	135	78	79	80	82	83	83	u×構成比			
金属類	0.0%	ae	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
スプレー缶	0.0%	af	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
ガラス類	24.9%	ag	t/年	93	99	92	95	97	95	95	95	94	94	94	93	93	93	92	92	92	u×構成比			
ペットボトル	7.5%	ah	t/年	32	33	34	32	29	32	32	33	33	34	35	35	36	36	37	38	38	u×構成比			
容器包装プラスチック類	3.1%	ai	t/年	1	43	13	13	12	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15	16	16	u×構成比			
有害ごみ	3.1%	aj	t/年	15	12	12	12	12	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15	16	16	u×構成比			
木くず等	0.0%	ak	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比			
処理後 可燃残渣		al	t/年	0	0	0	0	0	23	22	22	19	30	36	24	27	29	31	34	34	-			
処理後 資源化物		am	t/年	475	457	477	435	389	451	453	462	467	487	501	449	454	460	465	470	470	v			
処理後 減少量	0.0%	an	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比			
独自資源化		ao	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	aj+ak+al+am+an+ao			
処理後 可燃残渣		ap	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
処理後 資源化物		aq	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
処理後 減少量	0.0%	ar	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
集団回収対象ごみ		as	t/年	218	197	166	151	130	208	207	207	206	206	205	204	204	203	202	201	201	表-7:bg			
資源化量		at	t/年	1,775	1,685	1,659	1,654	1,560	1,636	1,636	1,638	1,639	1,596	1,603	1,545	1,548	1,546	1,547	1,544	1,544	au+av+aw+ax+ay			
溶融資源化センター		au	t/年	907	828	862	868	872	811	810	804	802	-	-	-	-	-	-	-	-	e+f+g			
リサイクルプラザ		av	t/年	650	660	631	635	558	617	619	627	631	650	663	610	614	619	623	627	627	r+am			
ストーカ焼却施設（予定）		aw	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	740	735	732	730	724	722	716	716	eⅡ+fⅡ+gⅡ			
独自資源化		ax	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ao			
集団回収		ay	t/年	218	197	166	151	130	208	207	207	206	206	205	204	204	203	202	201	201	as			
最終処分量		az	t/年	0	0	0	0	0	30	30	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	h、hⅡ			
現行	ごみ総排出量	ba	t/年	7,199	7,184	7,121	7,287	7,268	7,195	7,217	7,203	7,224	7,245	7,230	7,246	7,263	7,242	7,258	7,237	7,237	表-5:ba			
	資源ごみ	bb	t/年	1,775	1,685	1,659	1,654	1,560	1,579	1,580	1,577	1,578	1,515	1,512	1,512	1,511	1,507	1,507	1,502	1,502	表-5:at			
	1人1日あたりごみ排出量（資源ごみ集団回収含む）	bc	g/人・日	773	772	769	780	777	785	790	791	795	800	801	806	811	812	817	817	818	818	表-4:bh		
	1人1日あたりごみ排出量（資源ごみ集団回収除く）	bd	g/人・日	698	702	699	717	721	721	725	726	731	736	737	742	747	748	753	754	754	754	表-4:bi		
	1人1日あたり家庭系ごみ排出量（資源ごみ集団回収除く）	be	g/人・日	562	561	551	569	574	565	566	566	566	567	567	567	567	568	568	568	568	568	表-4:bj		
リサイクル率	bf	%	24.7%	23.5%	23.3%	22.7%	21.5%	21.9%	21.9%	21.9%	21.8%	20.9%	20.9%	20.9%	20.8%	20.8%	20.8%	20.8%	20.7%					

ごみ減量化の予測値と目標値

国	区分	全国の実績値 平成30年度	-	国の基本方針 令和7年度目標
	リサイクル率	19.9%	-	約28.0%
	1人1日当たり家庭系 ごみ排出量（資源等除く）	505g	-	約440g
	1人1日当たり ごみ排出量（資源等含む）	918g	-	約850g

県	区分	県の実績値 平成30年度	県の予測値 令和7年度	県の目標値 令和7年度	差
	リサイクル率	20.1%	20.3%	22.1%	1.8%
	1人1日当たり家庭系 ごみ排出量（資源等除く）	542g	524g	502g	▲22.0g
	1人1日当たり ごみ排出量（資源等含む）	889g	865g	829g	▲36.0g

町	区分	町の実績値 令和30年度	町の予測値 令和7年度	町の目標値 令和7年度	差
	リサイクル率	21.9%	20.9%	22.8%	1.9%
	1人1日当たり家庭系 ごみ排出量（資源等除く）	565.4g	566.8g	550.5g	16.3g
	1人1日当たり ごみ排出量（資源等含む）	784.9g	801.0g	778.7g	22.3g



## 4. 参考資料

表-8 みやき町ごみ中間処理内訳（減量化・資源化施策を継続した場合の推計）

【参考】 既存溶融施設を継続する場合

項目	R1構成比	記号	単位	←実績					推計→					目標年度					備考		
				H27	H28	H29	H30	R1	中間目標	R2	R3	R4	R5	R6	中間目標	R7	R8	R9		R10	R11
行政区域内人口		a	人	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	人口ビジョン	
焼却対象ごみ		b	t/年	6,301	6,326	6,272	6,499	6,578	6,318	6,312	6,267	6,255	6,242	6,196	6,177	6,158	6,107	6,087	6,035	c+d、c+dⅡ	
（溶融施設）溶融処理量		c	t/年	5,241	5,256	5,264	5,376	5,435	5,194	5,194	5,157	5,150	5,142	5,104	5,091	5,078	5,036	5,022	4,979	表-7:bd	
焼却対象残渣分		d	t/年	1,060	1,070	1,008	1,123	1,143	1,124	1,118	1,110	1,105	1,100	1,092	1,086	1,080	1,071	1,065	1,056		
処理後 溶融スラグ	8.2%	e	t/年	559	488	486	479	537	516	515	512	511	510	506	504	503	499	497	493	b×構成比	
処理後 メタル	0.4%	f	t/年	24	22	22	30	28	27	27	27	27	27	26	26	26	26	26	26	b×構成比	
処理後 溶融飛灰	4.7%	g	t/年	324	318	354	359	307	265	265	263	263	262	260	259	259	257	256	253	b×構成比	
埋立（溶融飛灰の10%）		h	t/年	0	0	0	0	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	溶融飛灰の10%	
（将来ストーカ施設）溶融処理量		cⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	表-7:bd	
焼却対象残渣分		dⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	k	
処理後 焼却主灰(100%資源化見込み)	8.8%	eⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b×8.8%	
処理後 焼却飛灰(100%資源化見込み)	3.0%	fⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b×3.0%	
埋立		hⅡ	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	埋立0（残渣は100%資源化組合確認済み）	
破碎対象ごみ		i	t/年	1,265	1,274	1,214	1,325	1,314	1,292	1,285	1,276	1,270	1,264	1,255	1,248	1,241	1,231	1,224	1,214	表-7:be	
不燃ごみ・粗大ごみ		j	t/年	1,110	1,121	1,046	1,173	1,210	1,190	1,183	1,175	1,169	1,164	1,156	1,149	1,143	1,134	1,127	1,118	k+l+p+t	
可燃残渣	87.0%	k	t/年	1,060	1,070	1,008	1,123	1,143	1,124	1,118	1,110	1,105	1,100	1,092	1,086	1,080	1,071	1,065	1,056	j×構成比	
資源化物	4.95%	l	t/年	49	50	37	48	65	64	64	63	63	63	62	62	61	61	61	61	j×構成比	
破碎鉄	3.96%	m	t/年	43	43	32	39	52	51	51	50	50	50	50	49	49	49	48	48	j×構成比	
破碎アルミ	0.53%	n	t/年	6	7	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	j×構成比	
その他	0.46%	o	t/年	0	0	0	2	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	j×構成比	
再生工房	0.15%	p	t/年	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	j×構成比	
処理後 可燃残渣		q	t/年	1,060	1,070	1,008	1,123	1,143	1,124	1,118	1,110	1,105	1,100	1,092	1,086	1,080	1,071	1,065	1,056	k	
処理後 資源化物		r	t/年	49	50	37	48	65	64	64	63	63	63	62	62	61	61	61	61	l	
処理後 再生工房		s	t/年	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	j×構成比	
処理後 減少量	0.0%	t	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
資源化対象ごみ		u	t/年	475	457	477	435	389	428	431	440	448	457	465	473	481	489	496	504	表-7:bf	
資源ごみ（組合）	147.0%	v	t/年	601	646	594	612	572	629	634	647	659	672	684	696	707	719	729	741	w+x+y+z+aa+ab+ac+ad+ae+af+ag+ah+ai+aj+ak	
紙類	36.5%	w	t/年	199	194	166	166	142	156	157	161	164	167	170	173	176	179	181	181	184	u×構成比
白色トレイ	0.5%	x	t/年	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	u×構成比	
布類	6.4%	y	t/年	37	34	31	26	25	28	28	28	29	29	30	30	31	31	32	32	u×構成比	
廃食品油	1.0%	z	t/年	5	4	4	3	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	u×構成比	
燃料	0.0%	aa	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比	
肥料	0.0%	ab	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比	
廃乾電池	0.8%	ac	t/年	1	1	1	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	u×構成比	
その他	28.8%	ad	t/年	93	97	116	120	112	123	124	127	129	132	134	136	138	141	143	145	u×構成比	
金属類	34.4%	ae	t/年	123	127	124	140	134	147	148	152	154	157	160	163	166	168	171	174	-	
スプレー缶	0.0%	af	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
ガラス類	24.9%	ag	t/年	93	99	92	95	97	107	107	110	112	114	116	118	120	122	124	126	u×構成比	
ペットボトル	7.5%	ah	t/年	32	33	34	32	29	32	32	33	33	34	35	35	36	36	37	38	u×構成比	
容器包装プラスチック類	3.1%	ai	t/年	1	43	13	13	12	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15	16	u×構成比	
有害ごみ	3.1%	aj	t/年	15	12	12	12	12	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15	16	u×構成比	
木くず等	0.0%	ak	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比	
処理後 可燃残渣		al	t/年	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	
処理後 資源化物		am	t/年	601	646	594	612	572	629	634	647	659	672	684	696	707	719	729	741	v	
処理後 減少量	0.0%	an	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	u×構成比	
独自資源化		ao	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	aj+ak+al+am+an+ao	
処理後 可燃残渣		ap	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
処理後 資源化物		aq	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
処理後 減少量	0.0%	ar	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
集団回収対象ごみ		as	t/年	218	197	166	151	130	208	207	207	206	206	205	204	204	203	202	201	表-7:bg	
資源化量		at	t/年	1,775	1,721	1,659	1,679	1,639	1,709	1,712	1,719	1,728	1,739	1,743	1,751	1,760	1,764	1,770	1,774	au+av+aw+ax+ay	
溶融資源化センター		au	t/年	907	828	862	868	872	808	807	802	800	798	792	790	788	781	778	772	e+f+g	
リサイクルプラザ		av	t/年	650	696	631	660	637	693	697	710	722	735	746	757	769	780	790	801	r+am	
ストーカ焼却施設（予定）		aw	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	eⅡ+fⅡ+gⅡ	
独自資源化		ax	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ao	
集団回収		ay	t/年	218	197	166	151	130	208	207	207	206	206	205	204	204	203	202	201	as	
最終処分量		az	t/年	0	0	0	0	30	29	29	29	29	0	0	0	0	0	0	0	h、hⅡ	
施策前	ごみ総排出量	ba	t/年	7,199	7,184	7,121	7,287	7,268	7,195	7,217	7,203	7,224	7,245	7,230	7,246	7,263	7,242	7,258	7,237	表-5:ba	
	資源ごみ	bb	t/年	1,775	1,685	1,659	1,654	1,560	1,579	1,580	1,577	1,578	1,515	1,512	1,512	1,511	1,507	1,507	1,502	表-5:at	
	1人1日あたりごみ排出量（資源ごみ集団回収含む）	bc	g/人・日	773	772	769	780	777	785	790	791	795	800	801	806	811	817	817	818	表-4:bh	
	1人1日あたりごみ排出量（資源ごみ集団回収除く）	bd	g/人・日	698	702	699	717	721	721	725	726	731	736	737	742	747	748	753	754	表-4:bi	
	1人1日あたり家庭系ごみ排出量（資源ごみ集団回収除く）	be	g/人・日	562	561	551	569	574	565	566	566	566	567	567	567	567	568	568	568	表-4:bj	
リサイクル率	bf	%	24.7%	23.5%	23.3%	22.7%	21.5%	21.9%	21.9%	21.9%	21.8%	20.9%	20.9%	20.9%	20.8%	20.8%	20.8%	20.7%	bb÷ba		
施策後	ごみ総排出量	bg	t/年	7,199	7,184	7,121	7,287	7,268	7,122	7,118	7,080	7,075	7,068	7,029	7,016	7,004	6,959	6,944	6,898	表-7:bc	
	資源ごみ	bh	t/年	1,775	1,721	1,659	1,679	1,639	1,709	1,712	1,719	1,728	1,739	1,743	1,751	1,760	1,764	1,770	1,774	at	
	1人1日あたりごみ排出量（資源ごみ集団回収含む）	bi</																			

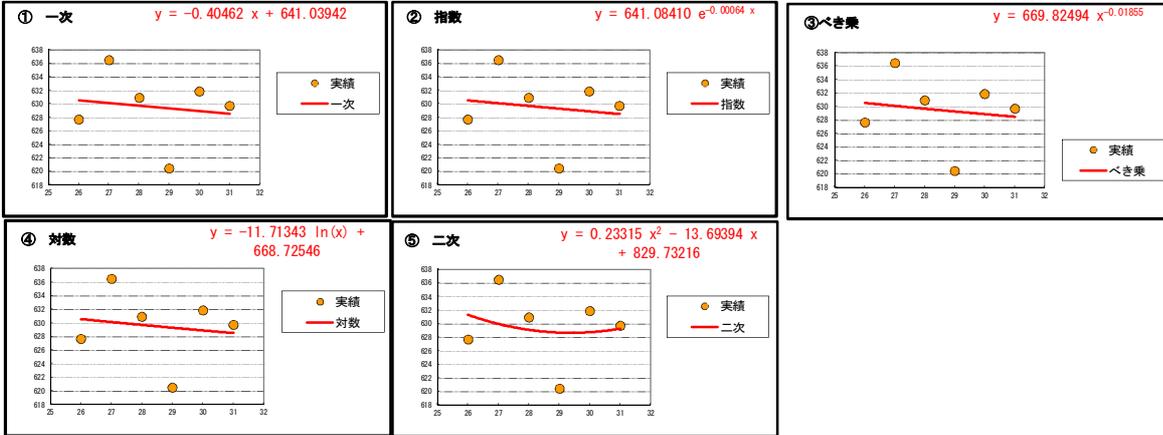
資料 家庭系ごみの原単位の推計

◇◆家庭系ごみの原単位の推計（みやき町）◆◇

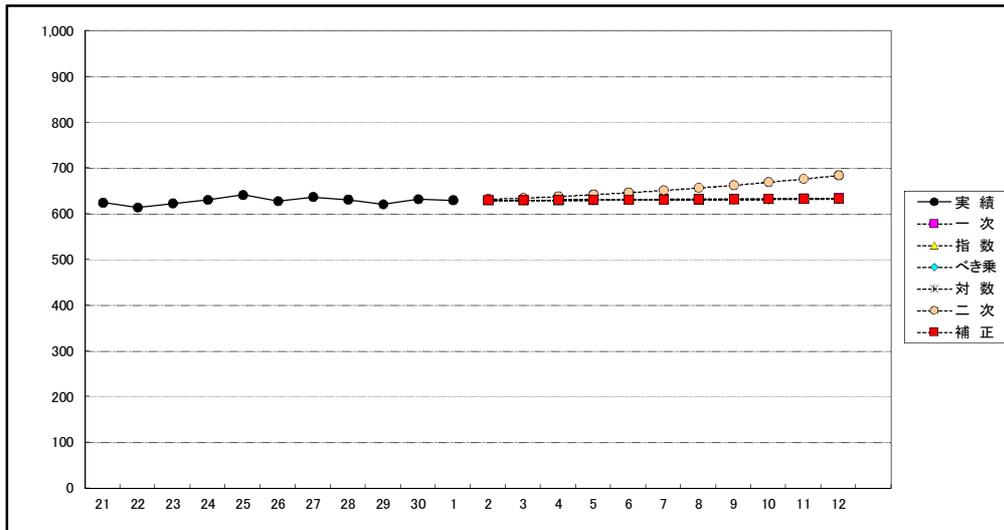
単位：g/人・日

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
実績	624.5	613.5	622.6	630.3	641.0	627.7	636.5	630.9	620.4	631.8	629.7
前年差	—	-11	9	8	11	-13	9	-6	-10	11	-2
前年比	—	0.98233	1.01492	1.01228	1.01707	0.97913	1.01405	0.99126	0.98341	1.01836	0.99662
採用年度						○	○	○	○	○	○

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
実績	625	613	623	630	641	628	636	631	620	632	630



推計式	基本式	a	b	c	推計式	相関係数
① 一次	$Y = aX + b$	0.40099	616.88794	—	$Y = 0.40099X + 616.88794$	0.35378
② 指数	$Y = a \times \exp(bX)$	616.96266	0.00064	—	$Y = 616.96266 \times \exp(0.00064X)$	0.35378
③べき乗	$Y = aX^b$	592.10164	0.01772	—	$Y = 592.10164X^{(0.01772)}$	0.38658
④ 対数	$Y = a \times \ln(X) + b$	11.13474	591.03603	—	$Y = 11.13474 \times \ln(X) + 591.03603$	0.37421
⑤ 二次	$Y = aX^2 - bX + c$	0.28175	15.65852	844.91423	$Y = 0.28175X^2 - 15.65852X + 844.91423$	-0.54383



計算結果

推計式	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
① 一次	625.3	625.7	626.1	626.5	626.9	627.3	627.7	628.1	628.5	628.9	629.3		
② 指数	625.3	625.7	626.1	626.5	626.9	627.3	627.7	628.1	628.5	628.9	629.3		
③べき乗	624.9	625.4	625.9	626.4	626.9	627.3	627.7	628.1	628.5	628.9	629.2	○	○
④ 対数	624.9	625.5	625.9	626.4	626.9	627.3	627.7	628.1	628.5	628.9	629.3		
⑤ 二次	640.3	636.8	633.8	631.4	629.5	628.3	627.5	627.4	627.8	628.7	630.3		
⑥ 補正	628.1	627.8	627.6	627.4	627.4	627.5	627.7	628.0	628.4	628.9	629.5		
	FALSE												

推計式	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	採用式
① 一次	629.7	630.1	630.5	630.9	631.3	631.7	632.1	632.5	632.9	633.3	633.7	
② 指数	629.7	630.1	630.5	630.9	631.3	631.7	632.2	632.6	633.0	633.4	633.8	
③べき乗	629.6	629.9	630.3	630.6	630.9	631.2	631.5	631.8	632.1	632.4	632.6	○
④ 対数	629.6	630.0	630.3	630.6	630.9	631.2	631.5	631.8	632.1	632.4	632.7	
⑤ 二次	632.4	635.0	638.2	642.0	646.4	651.3	656.7	662.8	669.4	676.5	684.3	
⑥ 補正	629.7	630.0	630.4	630.8	631.1	631.5	631.8	632.2	632.5	632.9	633.2	
採用値	629.6	629.9	630.3	630.6	630.9	631.2	631.5	631.8	632.1	632.4	632.6	



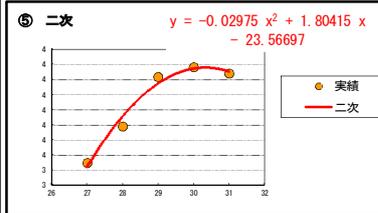
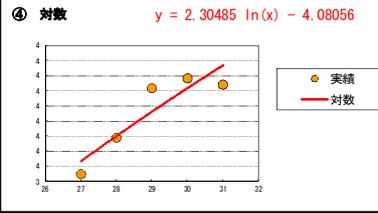
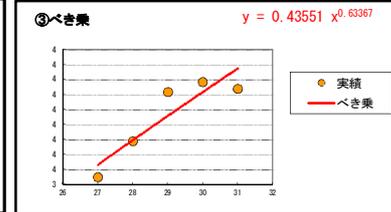
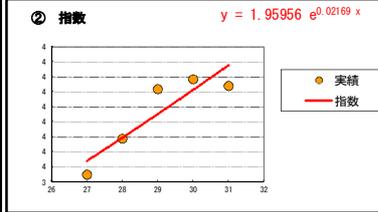
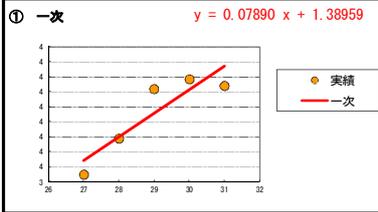
資料 事業系ごみの原単位の推計

◆◆事業系ごみの原単位の推計（みやき町）◆◆

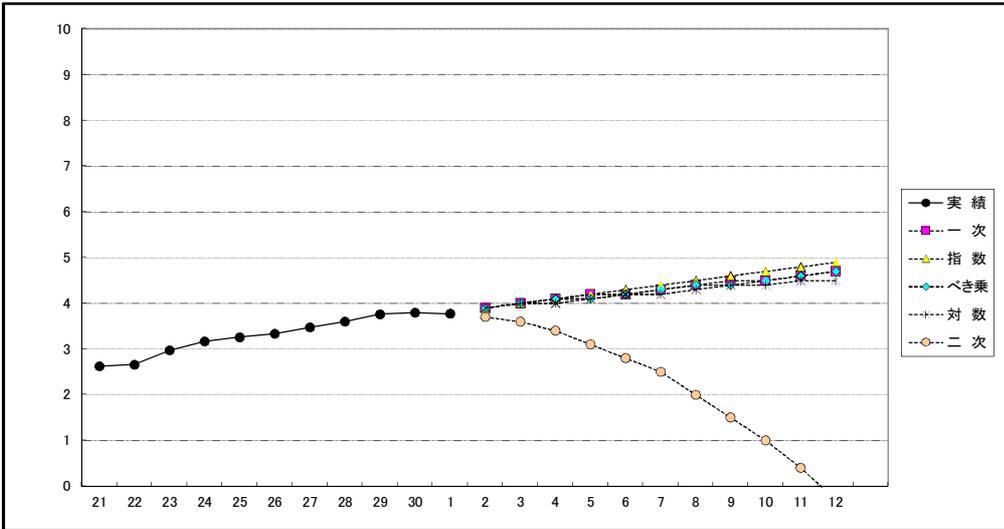
単位：t/日

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
実績	2.6	2.7	3.0	3.2	3.3	3.3	3.5	3.6	3.8	3.8	3.8
前年差	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-0
前年比	—	1.01464	1.11753	1.0655	1.02857	1.02441	1.04191	1.0347	1.04573	1.00875	0.99422
採用年度							○	○	○	○	○

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
実績	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4



推計式	基本式	a	b	c	推計式	相関係数
① 一次	$Y = aX + b$	0.07890	1.38959	—	$Y = 0.07890X + 1.38959$	0.98518
② 指数	$Y = a \times \exp(bX)$	1.95956	0.02169	—	$Y = 1.95956 \times \exp(0.02169X)$	0.96328
③べき乗	$Y = aX^b$	0.43551	0.63367	—	$Y = 0.43551X^{(0.63367)}$	0.97909
④ 対数	$Y = a \times \ln(X) - b$	2.30485	4.08056	—	$Y = 2.30485 \times \ln(X) - 4.08056$	0.98600
⑤ 二次	$Y = aX^2 + bX - c$	-0.02975	1.80415	23.56697	$Y = -0.02975X^2 + 1.80415X - 23.56697$	0.98327



計算結果

推計式	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
① 一次	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8		
② 指数	3.1	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8		
③べき乗	3.0	3.1	3.2	3.3	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8		
④ 対数	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8	○	○
⑤ 二次	1.2	1.7	2.2	2.6	2.9	3.2	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8		
	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.8		

推計式	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	採用式
① 一次	3.9	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.5	4.5	4.6	4.7	
② 指数	3.9	4.0	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	
③べき乗	3.9	4.0	4.1	4.1	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7	
④ 対数	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5	○
⑤ 二次	3.7	3.6	3.4	3.1	2.8	2.5	2.0	1.5	1.0	0.4	-0.3	
採用値	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5	



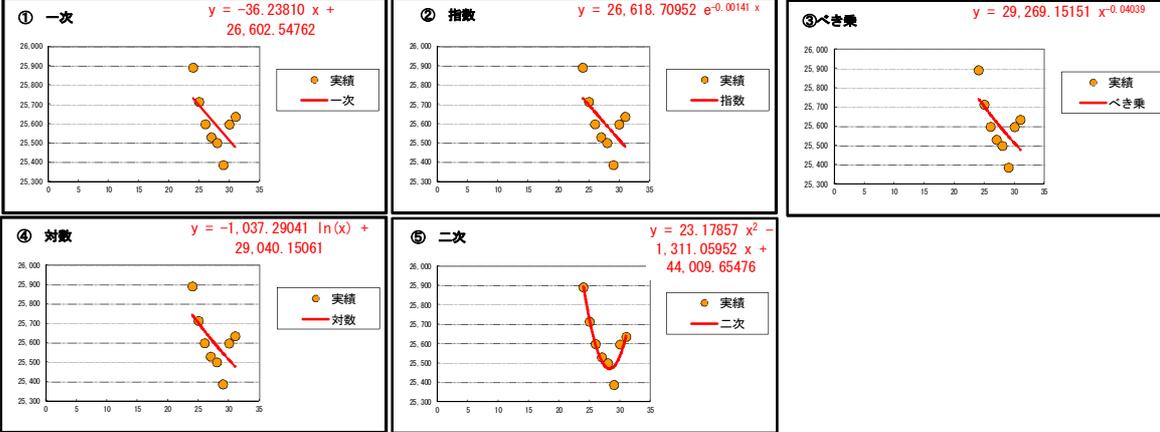
資料 人口推計

◇◆行政区域内人口（みやき町）◆◇

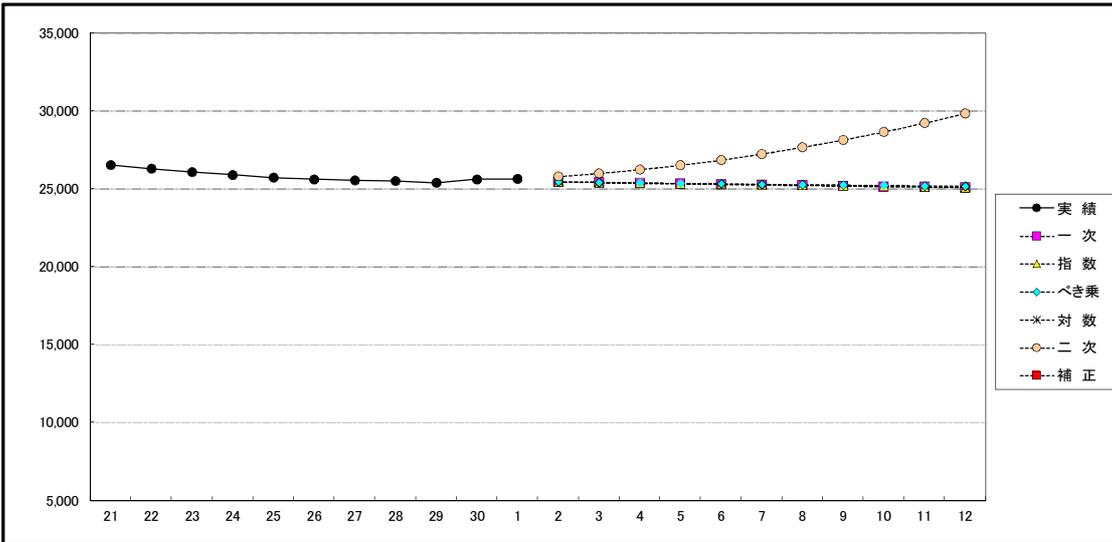
単位：人

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
実績	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635
前年差	-	-238	-228	-167	-178	-115	-68	-31	-113	210	39
前年比	-	0.99103	0.99133	0.99359	0.99313	0.99553	0.99734	0.99879	0.99557	1.00827	1.00152
採用年度				○	○	○	○	○	○	○	○

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
実績	26,524	26,286	26,058	25,891	25,713	25,598	25,530	25,499	25,386	25,596	25,635



推計式	基本式	a	b	c	推計式	相関係数
① 一次	$Y = aX + b$	-36,23810	26,602,54762	-	$Y = -36,23810X + 26,602,54762$	0.85615
② 指数	$Y = a \times \exp(bX)$	26,618,70952	-0,00141	-	$Y = 26,618,70952 \times \exp(-0,00141X)$	0.85710
③ べき乗	$Y = aX^b$	29,269,15151	-0,04039	-	$Y = 29,269,15151X^{-0,04039}$	0.88336
④ 対数	$Y = a \times \ln(X) + b$	-1,037,29041	290,450,15061	-	$Y = -1,037,29041 \times \ln(X) + 290,450,15061$	0.88203
⑤ 二次	$Y = aX^2 - bX + c$	23,17857	1,311,05952	44,009,65476	$Y = 23,17857X^2 - 1,311,05952X + 44,009,65476$	0.99323



計算結果

推計式	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
① 一次	25,842	25,805	25,769	25,733	25,697	25,660	25,624	25,588	25,552	25,515	25,479
② 指数	25,842	25,806	25,769	25,733	25,697	25,661	25,624	25,588	25,552	25,516	25,480
③ べき乗	25,882	25,834	25,788	25,743	25,701	25,660	25,621	25,583	25,547	25,512	25,479
④ 対数	287,292	287,244	287,198	287,154	287,111	287,071	287,031	286,994	286,957	286,922	286,888
⑤ 二次	26,699	26,385	26,117	25,895	25,720	25,591	25,508	25,472	25,482	25,539	25,641
⑥ 補正	156,587	156,539	156,493	156,449	156,406	156,366	156,326	156,289	156,252	156,217	156,184
	156,587	156,539	156,493	156,449	156,406	156,366	156,326	156,289	156,252	156,217	156,184

推計式	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	-
① 一次	25,443	25,407	25,370	25,334	25,298	25,262	25,225	25,189	25,153	25,117	25,081	
② 指数	25,444	25,409	25,373	25,337	25,301	25,266	25,230	25,194	25,159	25,124	25,088	
③ べき乗	25,446	25,414	25,384	25,354	25,325	25,297	25,270	25,243	25,218	25,192	25,168	
④ 対数	286,855	286,823	286,792	286,762	286,733	286,705	286,677	286,650	286,624	286,598	286,573	
⑤ 二次	25,791	25,986	26,228	26,516	26,851	27,232	27,659	28,133	28,653	29,219	29,832	
⑥ 補正	156,151	156,119	156,088	156,058	156,029	156,001	155,974	155,947	155,921	155,895	155,871	
推計値	156,151	156,119	156,088	156,058	156,029	156,001	155,974	155,947	155,921	155,895	155,871	
人口ビジョン	25,117	-	-	-	-	24,729	-	-	-	-	24,229	
補完	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	
採用値	25,117	25,039	24,962	24,884	24,807	24,729	24,629	24,529	24,429	24,329	24,229	

※人口ビジョン：みやき町人口ビジョン平成27年（2019年）の将来推計値（R7年度（2025年）24,729人、R12年度（2030年）24,229人）を採用する。  
補完：H32年度（R2年度）～H42年度（R7年度）の年度間の将来人口は直線補完とした。